

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（概要）

1 全国

（1）体力合計点の結果

- ・体力合計点は、令和元年度に比べ、小中男女ともに低下した

【原因】

- ①運動時間の減少
- ②学習以外のスクリーンタイムの増加
- ③肥満である児童生徒の増加
- ④新型コロナウイルス感染症の影響（学校の活動の制限、体育の授業以外での体力向上の取組の減少

・種目別

- ①「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「持久走」について大きく低下。
 - ②「長座体前屈」は概ね向上。
 - ③「握力」「50m走」「立ち幅とび」「ボール投げ」については、中学男子以外は低下傾向。
- ※②の「長座体前屈」の向上の要因として準備運動やストレッチ等の柔軟性を重視した活動が増えたことが要因の一つと考察

（2）運動習慣等調査の結果

- ・児童生徒の1週間の総運動時間が420分以上の割合は、減少しており、特に男子が顕著
- ・学習以外のスクリーンタイムは、視聴時間が2時間以上の割合が増加しており、特に男子が長時間化している。
 - ☞スクリーンタイムが長時間になると、体力合計点が低下する傾向
 - 小中学生の男女ともに肥満の割合が増加。特に小学生男女、中学生男子は過去最大の数値
 - ☞肥満児童生徒は、その他の児童生徒と比較すると体力合計点が低い傾向

2 滋賀

（1）体力合計点の結果

- ・小5男女、中2男女共に令和元年度の体力合計点よりも低い。（小5男子は過去最低値）
 - ☞全国的な低下と同様の傾向

・種目別

- ・20mシャトルラン、持久走（中学生男子）の数値は過去最低値となった。
- ・小5男女に共通して握力・ボール投げが過去最低値となった。（2年連続）
- ・全体的に令和元年度よりも各種目の数値は低い。
 - ☞握力・ボール投げ・20mシャトルラン・持久走は特に
- ・小5男女の県の体力合計点は全国の体力合計点よりも低いが、中2男女の体力合計点は全国の体力合計点よりも高い。
 - ☞運動部活動や地域のスポーツクラブへの所属の割合が全国の割合よりも高い
 - 1週間の総運動時間が全国よりも長い

（2）運動習慣等調査の結果

- ・児童生徒の1週間の総運動時間が420分以上の割合は減少しているが、小5男子、中2男女ともに全国平均を上回っている。
- ・スクリーンタイムの2時間以上の割合が全国平均よりも上回っている。全体の6割以上を占める。
- ・「体育の学習が楽しい」の割合は、小中全てにおいて全国よりも低い。
- ・「運動、スポーツが好き」の割合は小5男女では全国よりも高いが、中2男女では全国よりも低い。
- ・ICT機器の活用では、自分の動きを撮影し、友だち同士で動きの確認や以前の自分の動画との比較など、自他の動きを可視化した活用が多い。

3 調査結果から見える成果と課題<滋賀>

(1) 小学校

- ・男子の1週間の総運動時間は全国平均を上回っている。これは、平日の運動時間は全国平均よりも短いが、土日の運動時間が平均より長いことによるものである。
- ・「運動やスポーツをすることが好き」、「体育の授業が楽しい」や「体育の時間にたくさん動いている」と回答した割合が、男女ともに全国平均を下回っている。
- ・「運動やスポーツは大切」「コロナ禍前より運動をする時間が増えた」と回答した割合は男女ともに全国平均より高いものの、一週間の総運動時間は令和元年度よりも減少している。
- ・コロナ禍で学校の休み時間や家庭などの過ごし方に制限がかかっていることも要因の一つと考えられる。
- ・スクリーンタイムに2時間以上費やしている児童の割合が令和元年度よりも高く、全体の6割以上を占めていることから、運動時間の減少に影響していると考えられる。
- ☞「運動やスポーツへの愛好的態度や主体的に取り組む態度」と体力向上には相関関係があるため、引き続き主たる課題としてそれらの態度の育成に取り組む必要がある。
- ☞コロナ禍において「感染対策を講じてもお感染のリスクが高い学習」を含む体育科は、学習活動（対話的な学習や接触を伴う学習、教材の共用等）の制限があることも要因の一つであり、今後も工夫した取組が必要である。

<本県小学校の取組・実績>

- ・「新体力テスト 新・分析支援システム」
新体力テストの結果から個人・学級・学校の課題を捉えられるようにしたシステム。
体育学習に関する参考資料・動画などを収録。
- ・体育の宿題
体育の学習につながる基本的な運動を宿題として実施。
- ・チャレンジランキング（学校でもチャレンジ・お家でもチャレンジ）
体育外の時間（始業前、中休み、昼休み、放課後、下校後等）においても運動遊びとして継続的に行い、児童の運動（遊び）習慣を確立し、体力の向上を図る。
※学校でもチャレンジ・・・クラス対抗リレー・なわ跳び（個人・ペア・クラス対抗）
※お家でもチャレンジ・・・家でも・一人でもできる運動内容に取り組む
- ・元気アップチャンネル
家庭における運動習慣の定着を図るため・新体力テストを意識した運動を動画配信にして取り組めるように動画配信をしている。

(2) 中学校

- 男女ともに体力合計点が全国平均値を上回っており、一週間の総運動時間、運動部活動の加入率が全国平均値を上回っていることが要因の一つとして考えられる。
- 一週間の総運動時間は、男女ともに令和元年度よりも減少しているが、全国平均を上回っている。特に平日において全国平均を上回る曜日が多く、運動部活動や地域のスポーツクラブへの加入率が全国平均よりも高いことが要因の一つであると考えられる。
- スクリーンタイムに2時間以上費やしている生徒の割合は、男女ともに全体の7割以上を占めており、令和元年度よりも高く、全国平均よりも高い。
- ☞「保健体育の授業が楽しい」「保健体育の時間にたくさん動いている」と答えた生徒の割合は全国平均よりも低いことから、目標設定や学習したことの振り返りの徹底、授業展開の変更等の授業改善が必要である。
- ☞女子においては、「保健体育の授業があまり楽しくない」と答えた生徒が男子と比べて多いことから、授業改善を図る中で様々な要因を分析し、活動に反映させる必要がある。

本県中学校の取組・実績

・滋賀モデル

授業改善（体育分野）も共通の枠組みを取り入れた授業展開。中学校保健体育科教員が実践することで、運動やスポーツの愛好的態度を育成する。

「全ての生徒の「わかる」のために」

- ・単元計画の作成
- ・主運動につながるスキルアップタイムの設定
- ・課題発見と合理的な解決のための学習ツールの開発
- ・効果的な板書の活用
- ・効果的な振り返りシートの活用

※今年度、2月に滋賀モデル公開予定

4 課題に対する今後の改善への取組

(1) 運動・スポーツへの愛好的態度を育てる取組

- 県教育委員会で取り組んでいる内容について学校・保護者へ周知を行う。
学校・・・小学校体育科主任研修会や学校訪問、新体力テストの通知の時に児童のタブレットに入れるなどして家庭で取り組められるようにする。
家庭・・・「教育しが」や「県ホームページ」にて掲載し、気軽に活用できるようにする。
- 「体育が苦手な児童生徒のための授業づくり」だけでなく、どの児童生徒にも体育の授業をきっかけに運動への愛好的態度を育むことをより重視し、タブレットを活用した効果的な学習の方法を取り入れた授業改善など、教員の指導力向上を目的とした研修会を実施する。
- 学習に使用するタブレットで自分の動きを録画し、自ら確認することで、家庭での効率的・効果的な予習、復習につなげる。
また、その動画を家庭で共有し、保護者等からの声掛けにより児童生徒の自己有能感を高め、運動への意欲向上につながるよう協力・連携を依頼する。
- 「運動やスポーツをすることが好き」や「体育の授業は楽しい」と回答した児童生徒は、体力の合計得点が高いことから、より多くの児童生徒に運動やスポーツへの愛好的態度を育てよう、外部人材を活用した校内研修会の実施や授業について推進する。また、各学校の分析シートを作成・配布し、児童生徒の実態に合わせた活動につなげる。
- 小学校においては、感染症対策を実施しつつ、体育科学習だけではなく、児童が学校生活において自主的に運動に取り組めるような活動や環境づくりについて、各校で設置している「子どもの体力向上委員会」を中心に「健やかタイムプラン」を計画・実践していく。

(2) カリキュラムマネジメントの取組

- 中学校では「本調査を踏まえた年間指導計画の改善」に「反映した」と回答する割合が全国と比較して低いことから、各学校の実態に応じて「PDCAシート」を活用し、中・長期的な体力向上を図る。
- また、生徒自身が「できる」もしくは「わかる」ようになったと実感できたり、多様な運動やスポーツの楽しみ方を学べたりできるように、先進地の授業実践事例を研究し、授業改善のモデル（滋賀モデル）を学校へ提供し、実践するための研修会をする。
- 小学校では、各学校の実態を踏まえた具体的な目標を設定し、年間を通して「新体力テスト 新・分析支援システム」の活用やチャレンジランキングの推進、体育の宿題、元気アップチャンネルなどの活用を行うよう周知し、運動量の確保を図る。
- 小学校の女子においては、1週間の総運動時間が420分（1日60分）を下回ることから、学校と家庭における運動時間の確保を促す。

- コロナ禍での生活がまだ続くことからさらに健康への意識がより重要となるため、健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）については、体育科、保健体育科の学習だけでなく、学校全体として取り組むよう各校種の主任研修会で周知する。

（３）体育科・保健体育科の授業改善に向けた取組

- 小中学校において、「体育の授業が楽しい」と回答する児童生徒は、「やや楽しい」までを含めると９割程度の児童生徒が体育の授業に好意的である。その中でも「体育の授業が楽しい」と回答する児童生徒は体力合計点が高いことから、より多くの児童生徒が「楽しい」と回答するような授業改善を図るため、主任研修会や外部講師、県教育委員会指導主事の訪問による指導助言を行う。
- 体育科・保健体育科の授業において、十分に体を動かしていると回答している児童生徒の割合が、全国平均値と比較して低く、体力低下に影響があると考えられるため、単元全体の中で運動量を確保できる体育の授業の組み立てを図る。

（４）家庭・地域と連携した取組

- 体力維持・向上対策として授業以外での活動も重要であるが、特に小学校においては、学校生活だけではなく家庭における運動機会も必要である。そのため保護者用情報誌「教育しが」において本調査結果を掲載して現状を共有するとともに、本課が作成した運動紹介等の関連情報を各学校の通信等で保護者、地域へ発信し、家庭や地域での運動遊びの推進に努める。
- スクリーンタイムの長時間化と体力合計点の低下に相関関係があることから、市町教委、保護者等と連携を図って、いろいろな視点で運動の必要性・有用性を共有し、運動時間の確保に努める。

2 調査結果の概要

(1) 体力・運動能力調査

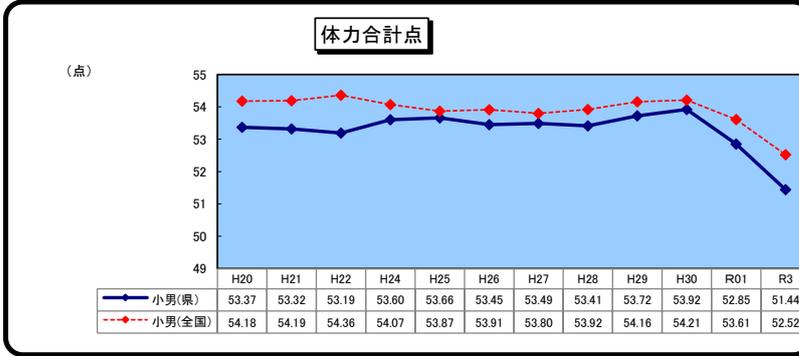
○調査結果のポイント

- ア 小学校5年男女の体力合計点は、全国平均値を下回っている。また令和元年度よりも下がっている。
- イ 中学校2年男女の体力合計点は、全国平均値を上回っている。
- ウ 小中男女全てにおいて令和元年度よりも体力合計点が下がっている。

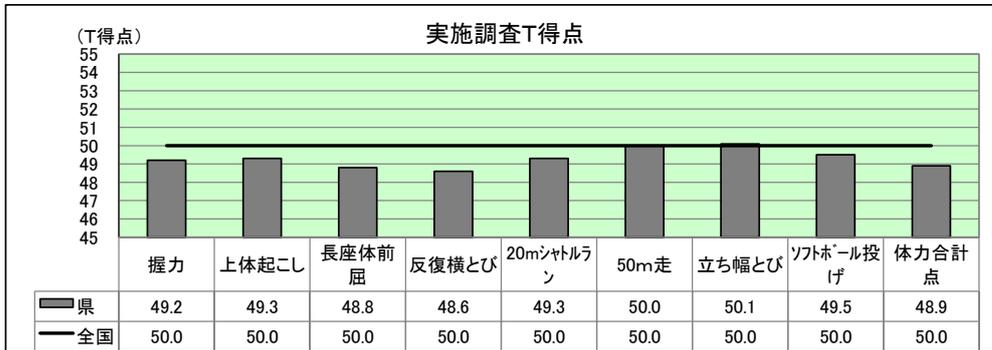
①県の体力合計点の推移(全国公立学校との比較)

【小学校5年男子 体力合計点】

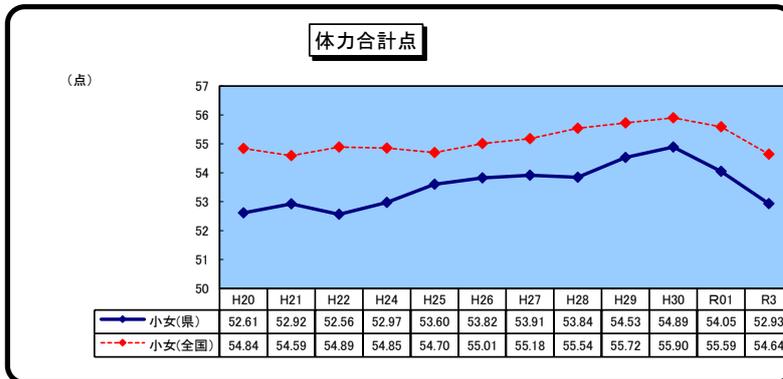
T得点 全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較するもの。平均値50点。



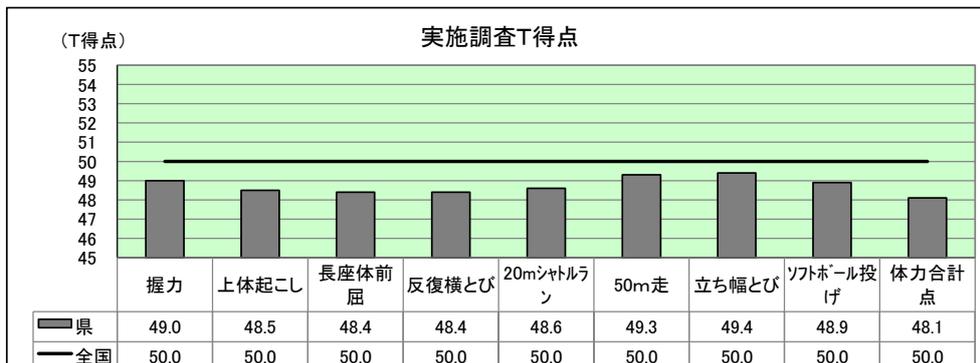
○体力合計点は、全国平均値を1.08点下回った。立ち幅跳びは全国平均値を0.31cm上回った。20mシャトルランでは全国平均値と1.43回の差が生じた。



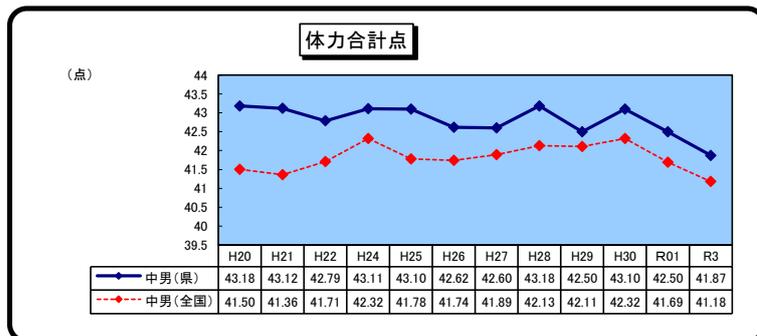
【小学校5年女子 体力合計点】



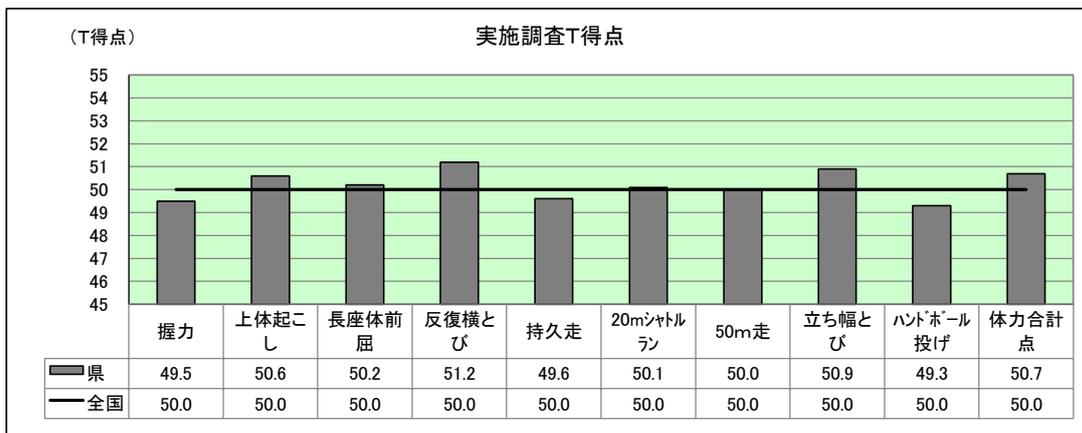
○体力合計点は、全国平均値を1.71点下回った。全種目、全国平均値を下回った。長座体前屈や20mシャトルランにおいて全国平均値との差が大きい。



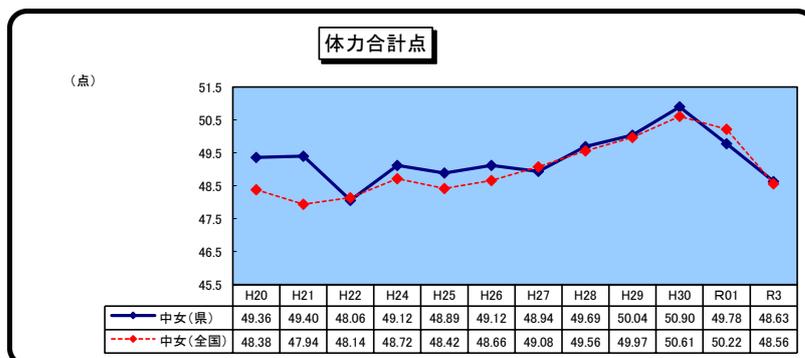
【中学校2年男子 体力合計点】



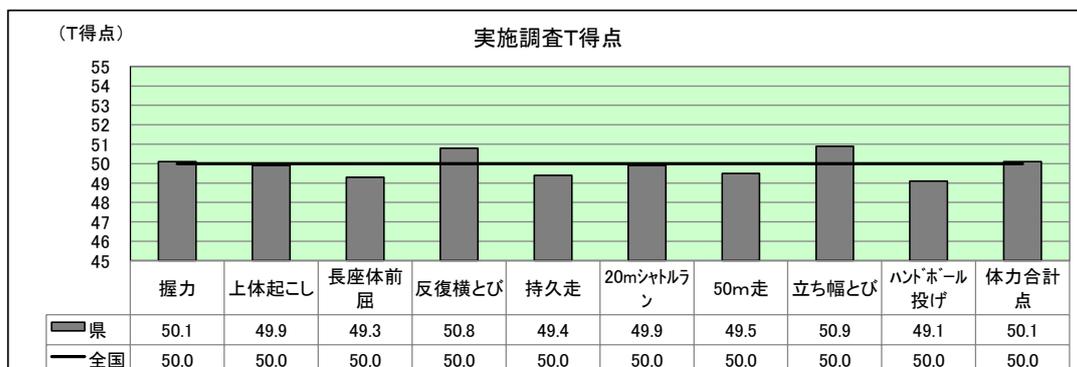
○体力合計点は、全国平均値を0.69点上回った。握力、50m走、ボール投げ以外は全国平均値を上回った。



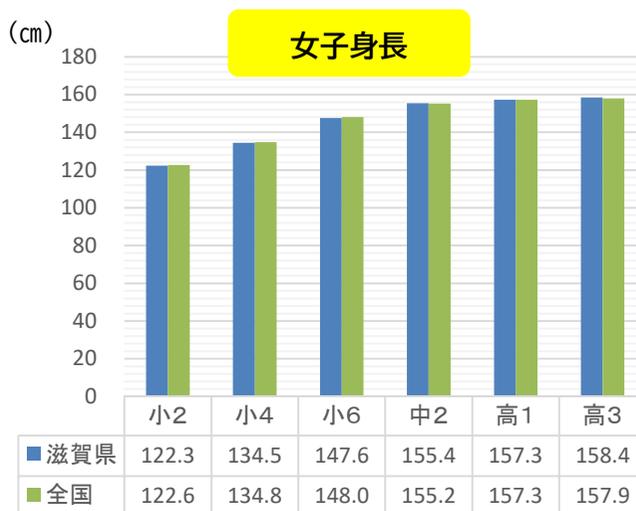
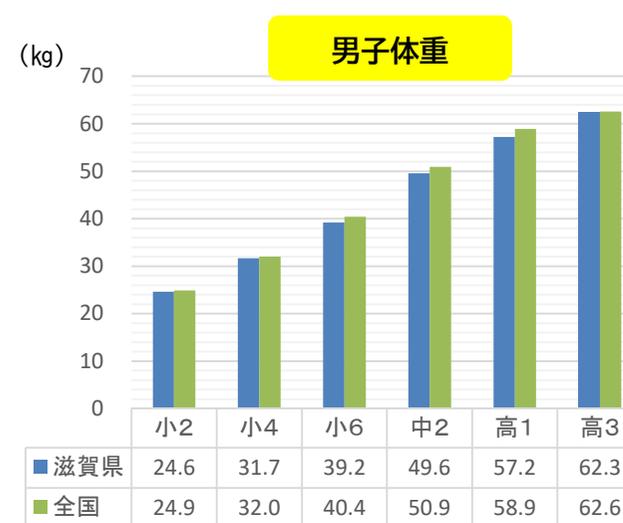
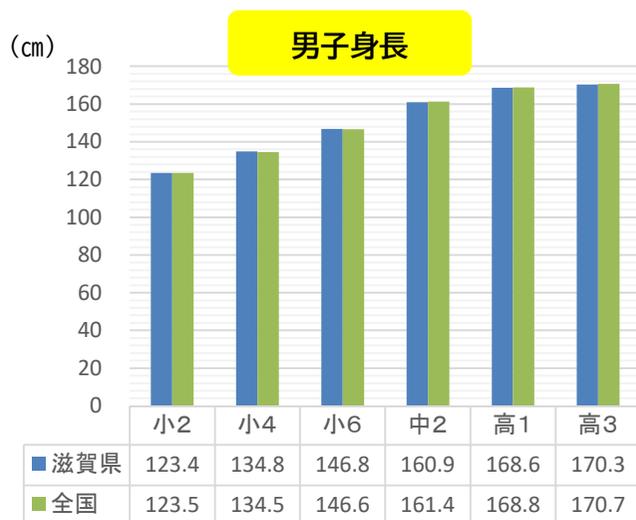
【中学校2年女子 体力合計点】



○体力合計点は、全国平均値を0.07点上回った。上体起こし、長座体前屈、持久走、ボール投げ、50m走では、全国平均値よりも下回った。



児童・生徒の体格



(出典:「令和2年度学校保健統計調査」結果(平均値))

※令和2年度の調査時期は例年と異なります。

I 中学校卒業者の進路状況

対象……中学校103校
(国立1、公立96、私立6)

【1表】 年度別卒業者の内訳

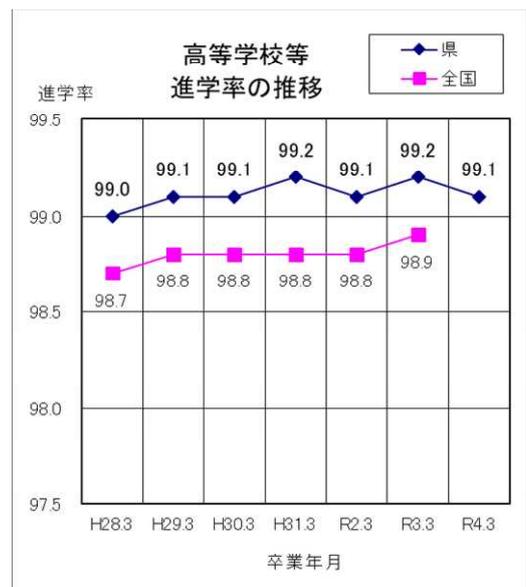
(上段 人、下段 %)

卒業年月	卒業者総数 (A~F)	高等学校等進学者* A	専修学校(高等課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者** D	就職者*** E	その他 F	A~Dのうち就職者 (再掲)	高校等進学率	
									県	全国
H28.3	14,310	14,163	3	3	6	37	98	1	99.0	98.7
	100.0	99.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0		
H29.3	14,500	14,370	5	5	6	26	88	1	99.1	98.8
	100.0	99.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.0		
H30.3	14,299	14,168	8	3	9	21	90	6	99.1	98.8
	100.0	99.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.6	0.0		
H31.3	13,978	13,873	9	1	2	27	66	0	99.2	98.8
	100.0	99.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.5	0.0		
R2.3	13,732	13,612	6	0	2	11	101	1	99.1	98.8
	100.0	99.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	0.0		
R3.3	13,242	13,137	10	7	0	12	76	0	99.2	98.9
	100.0	99.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.6	0.0		
R4.3	13,707	13,582	11	4	3	10	97	0	99.1	
	100.0	99.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.7	0.0		
男子	7,126	7,049	6	2	3	9	57	0	98.9	
女子	6,581	6,533	5	2	0	1	40	0	99.3	

* 高等学校等とは、高等学校、特別支援学校(高等部)、高等専門学校です。
 ** 公共職業能力開発施設等とは、職業訓練を行うために設置された施設です。
 *** 就職者とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者をいいます。

- 高等学校等進学率は99.1%で、前年度より0.1ポイント低下
- 卒業者に占める就職者の割合は0.1%で、前年度と同じである

- 1 令和4年3月の卒業者総数は13,707人で、前年度より465人増加している。
- 2 高等学校等進学者は13,582人、進学率は99.1%で、前年度より0.1ポイントの低下となっている。
- 3 専修学校(高等課程)進学者は11人である。
- 4 就職者は10人で、卒業者総数の0.1%となっている。



- 5 その他は97人で、卒業者総数の0.7%となっている。主な内訳は、家事手伝いが37人、不登校等による進路未定が18人、求職中が12人などである。

Ⅱ 義務教育学校卒業者の進路状況

対象…義務教育学校2校
(公立2)

【1表】 年度別卒業者の内訳

(上段 人、下段 %)

卒業 年月	卒業者 総数 (A~F)	高等学校 等進学者 *	専修学校 (高等課程) 進学者 B	専修学校 (一般課程) 等入学者 C	公共職業 能力開発 施設等 入学者**	就職者 *** E	その他 F	A~D のうち 就職者 (再掲)	高校等進学率	
									県	全国
H31.3	29	29	0	0	0	0	0	0	100.0	98.8
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
R2.3	21	21	0	0	0	0	0	0	100.0	98.5
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
R3.3	55	54	0	1	0	0	0	0	98.2	98.6
	100.0	98.2	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
R4.3	74	74	0	0	0	0	0	0	100.0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
男子	43	43	0	0	0	0	0	0	100.0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
女子	31	31	0	0	0	0	0	0	100.0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

* 高等学校等とは、高等学校、特別支援学校(高等部)、高等専門学校です。
 ** 公共職業能力開発施設等とは、職業訓練を行うために設置された施設です。
 *** 就職者とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者をいいます。

○ 高等学校等進学率は100.0%

- 1 令和4年3月の卒業者総数は74人で、前年度より19人増加している。
- 2 高等学校等進学者は74人で、進学率は100.0%となっている。

Ⅲ 中学校および義務教育学校卒業者の高等学校等進学者の進路状況

【1表】 高等学校等進学者の学校種類別内訳

校 種		男		女		計		(参考)前年度		増減	
		人	%	人	%	A 人	%	B 人	%	A-B	
進 学 者 総 数		7,092	100.0	6,564	100.0	13,656	100.0	13,191	100.0	465	
県 内	全日制	県 立	4,812	67.9	4,573	69.7	9,385	68.7	9,075	68.8	310
		私 立	1,337	18.9	1,099	16.7	2,436	17.8	2,417	18.3	19
	定時制	県 立	66	0.9	66	1.0	132	1.0	122	0.9	10
		私 立	15	0.2	47	0.7	62	0.5	88	0.7	△ 26
	通信制	県 立	37	0.5	42	0.6	79	0.6	43	0.3	36
		私 立	55	0.8	58	0.9	113	0.8	94	0.7	19
	特別支援学校	144	2.0	72	1.1	216	1.6	182	1.4	34	
計	6,466	91.2	5,957	90.8	12,423	91.0	12,021	91.1	402		
県 外	全日制	国 立	2	0.0	4	0.1	6	0.0	6	0.0	0
		公 立	38	0.5	28	0.4	66	0.5	59	0.4	7
		私 立	403	5.7	379	5.8	782	5.7	766	5.8	16
	定 時 制	0	0.0	1	0.0	1	0.0	5	0.0	△ 4	
	通 信 制	138	1.9	174	2.7	312	2.3	259	2.0	53	
	高等専門学校	45	0.6	21	0.3	66	0.5	74	0.6	△ 8	
	特別支援学校	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	△ 1	
計	626	8.8	607	9.2	1,233	9.0	1,170	8.9	63		
全日制高校 計	6,592	92.9	6,083	92.7	12,675	92.8	12,323	93.4	352		
定時制高校 計	81	1.1	114	1.7	195	1.4	215	1.6	△ 20		
通信制高校 計	230	3.2	274	4.2	504	3.7	396	3.0	108		
高等専門学校 計	45	0.6	21	0.3	66	0.5	74	0.6	△ 8		
特別支援学校 計	144	2.0	72	1.1	216	1.6	183	1.4	33		

学校種類別内訳は、全日制高等学校が12,675人（構成比92.8%）、定時制高等学校が195人（1.4%）、通信制高等学校が504人（3.7%）、高等専門学校が66人（0.5%）、特別支援学校が216人（1.6%）である。

県内と県外の別では、県内進学者は12,423人（91.0%）であり、前年度より402人増加している。県外進学者は1,233人（9.0%）である。県外私立全日制高等学校進学者の進学先地域は、京都府が最も多く605人、次いで大阪府39人、福井県14人、岐阜県14人、奈良県13人、高知県11人、岡山県10人、愛知県9人の順となっている。

【2表】 県内の全日制、定時制高等学校進学者の学科別内訳

(人)

		合計	普通	農業	工業	商業	家庭	理数	音楽	美術	体育	文理探究	福祉	国際	食物	総合
全 日 制	県立	9,385	6,292	397	704	515	81	80	24	40	38	40	—	—	—	1,174
	私立	2,436	2,146	—	—	9	—	—	—	—	—	—	—	52	36	193
	計	11,821	8,438	397	704	524	81	80	24	40	38	40	0	52	36	1,367
定 時 制	県立	132	103	—	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
	私立	62	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	—
	計	194	143	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	7
合 計		12,015	8,581	397	726	524	81	80	24	40	38	40	—	52	58	1,374
%		100.0	71.4	3.3	6.0	4.4	0.7	0.7	0.2	0.3	0.3	0.3	—	0.4	0.5	11.4
(参考)	人 数	11,702	8,226	383	694	493	127	80	27	40	40	40	24	43	51	1,434
前年度	%	100.0	70.3	3.3	5.9	4.2	1.1	0.7	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	12.3

県内の全日制、定時制高等学校進学者の学科別内訳は、普通科が8,581人（構成比71.4%）、総合学科が1,374人（11.4%）、工業学科が726人（6.0%）、商業学科が524人（4.4%）、農業学科が397人（3.3%）などとなっている。

Ⅳ 全日制・定時制高等学校卒業者の進路状況

対象・・・全日制高等学校54校(県立44、私立10)、定時制高等学校7校(県立6、私立1) ※併置校、分校含む

【1表】年度別卒業者の内訳

(上段 人、下段 %)

卒業 年月	卒業者 総数 (A~G)	大学等 進学者 *	専修学校 (専門課程) 進学者 B	専修学校 (一般課程) 等入学者 C	公共職業 能力開発 施設等入 学者**	就職者 ***	一時的な 仕事に就 いた者 ****	その他 G	A~D のうち 就職者 (再掲)	大学等進学率			
										県		全国 平均	
										男子	女子		
H28.3	12,656	6,958	2,114	509	84	2,272	181	538	2	55.0	53.0	57.1	54.7
	100.0	55.0	16.7	4.0	0.7	18.0	1.4	4.3	0.0				
H29.3	12,884	7,206	2,171	503	73	2,247	177	507	1	55.9	53.9	58.0	54.7
	100.0	55.9	16.9	3.9	0.6	17.4	1.4	3.9	0.0				
H30.3	12,701	6,940	2,129	481	69	2,328	178	576	1	54.6	52.6	56.7	54.7
	100.0	54.6	16.8	3.8	0.5	18.3	1.4	4.5	0.0				
H31.3	12,688	6,946	2,147	442	70	2,340	144	599	0	54.7	52.4	57.2	54.7
	100.0	54.7	16.9	3.5	0.6	18.4	1.1	4.7	0.0				
R2.3	12,752	7,201	2,110	326	69	2,353		693	1	56.5	54.6	58.4	55.8
	100.0	56.5	16.5	2.6	0.5	18.5		5.4	0.0				
R3.3	12,524	7,190	2,183	310	76	2,099		666	0	57.4	56.4	58.5	57.4
	100.0	57.4	17.4	2.5	0.6	16.8		5.3	0.0				
R4.3	12,108	7,196	2,005	247	62	1,919		679	0	59.4	58.1	60.8	
	100.0	59.4	16.6	2.0	0.5	15.8		5.6	0.0				
男子	6,265	3,643	864	198	57	1,154		349	0				
女子	5,843	3,553	1,141	49	5	765		330	0				
全日制	11,842	7,168	1,960	247	61	1,814		592	0				
定時制	266	28	45	0	1	105		87	0				

* 大学等とは、大学、短期大学、高等学校等の専攻科です。

** 公共職業能力開発施設等とは、職業訓練を行うために設置された施設です。

*** 就職者とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者をいいます。

**** 令和2年度からは「その他」に含めて計上しています。

○ 大学等進学率は59.4%で、前年度より2.0ポイント上昇

○ 卒業者に占める就職者の割合は15.8%で、前年度より1.0ポイント低下

1 令和4年3月の卒業者総数は12,108人で、前年度より416人減少している。

2 大学等進学者は7,196人で、進学率は59.4%となっている。

3 専修学校(専門課程)進学者は2,005人で、卒業者総数の16.6%となっている。

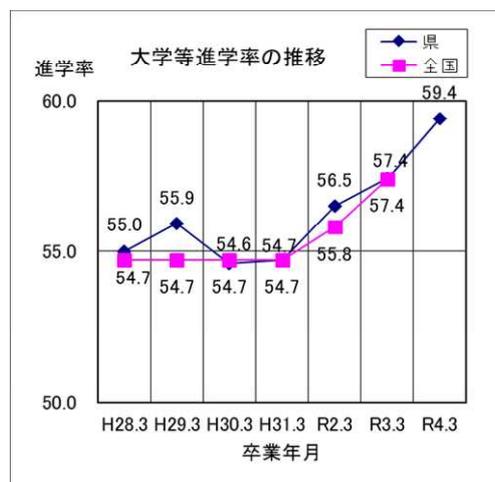
4 専修学校(一般課程)等入学者は247人で、卒業者総数の2.0%となっている。

5 公共職業能力開発施設等入学者は62人で、卒業者総数の0.5%となっている。

6 就職者は1,919人で、卒業者総数の15.8%となっている。

7 一時的な仕事に就いた者は、令和2年度調査からは「その他」に分類されている。

8 その他は679人で、卒業者総数の5.6%となっている。主な内訳は、無認可の学校が198人、自宅での進学準備が174人、求職中が123人、一時的な仕事に就いた者に相当する人数は74人である。



【2表】大学等進学者の学校種類別内訳

(上段 人、下段 %)

	大学等 進学者	大 学 (学 部)				短 期 大 学 (本 科)				そ の 他				
		計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	通信教育	別科	高等学校 専攻科	特別支 援学校 専攻科
男 子	3,643	3,571	481	171	2,919	70	0	0	70	2	2	0	0	0
	100.0	98.0	13.2	4.7	80.1	1.9	0.0	0.0	1.9	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
女 子	3,553	3,047	338	235	2,474	502	0	2	500	4	4	0	0	0
	100.0	85.8	9.5	6.6	69.6	14.1	0.0	0.1	14.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
合 計	7,196	6,618	819	406	5,393	572	0	2	570	6	6	0	0	0
	100.0	92.0	11.4	5.6	74.9	7.9	0.0	0.0	7.9	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
(参考)	7,190	6,549	749	416	5,384	636	0	0	636	5	5	0	0	0
前年度	100.0	91.1	10.4	5.8	74.9	8.8	0.0	0.0	8.8	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0

学校種類別内訳は、大学（学部）進学者が6,618人（構成比92.0%）、短期大学（本科）進学者は572人（7.9%）である。

設置者別では、私立大学（学部）への進学者が最も多く構成比74.9%、次いで国立大学（学部）への進学者が11.4%、私立短期大学（本科）への進学者が7.9%などとなっている。

【3表】大学(学部)、短期大学(本科)進学者の地域別内訳

(人)

	計	滋賀	京都	大阪	近畿*	中部	北陸	東京	関東**	中国	その他
大 学 (学 部)	6,618	1,449	2,988	1,080	268	305	141	130	50	90	117
短 期 大 学 (本 科)	572	300	216	23	4	23	1	1	3	0	1
計	7,190	1,749	3,204	1,103	272	328	142	131	53	90	118
%	100.0	24.3	44.6	15.3	3.8	4.6	2.0	1.8	0.7	1.3	1.6
(参考) 前年度	7,185	1,824	3,053	1,178	255	345	114	148	65	90	113
%	100.0	25.4	42.5	16.4	3.5	4.8	1.6	2.1	0.9	1.3	1.6

*近畿:兵庫、奈良、和歌山の3県 **関東:栃木、茨城、群馬、埼玉、千葉、神奈川の6県

大学（学部）、短期大学（本科）進学者の進学先地域は、京都府が最も多く3,204人、次いで滋賀県1,749人、大阪府1,103人の順となっている。滋賀県への進学者は、進学者全体の24.3%となっている。

V 通信制高等学校卒業者の進路状況

対象…通信制高等学校4校
(県立1、私立3)(併置校含む)

【1表】 年度別卒業者の内訳

(上段 人、下段 %)

卒業年月	卒業者総数 (A~F)	大学等進学者* A	専修学校(専門課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者** D	就職者*** E	その他 F	A~Dのうち就職者 (再掲)	大学等進学率			
									県			全国平均
									男子	女子		
H28.3	360	48	53	0	8	56	195	0	13.3	12.1	14.4	17.5
	100.0	13.3	14.7	0.0	2.2	15.6	54.2	0.0				
H29.3	333	41	48	0	3	56	185	0	12.3	12.8	11.8	17.7
	100.0	12.3	14.4	0.0	0.9	16.8	55.6	0.0				
H30.3	369	43	66	0	4	51	205	0	11.7	6.6	17.5	18.5
	100.0	11.7	17.9	0.0	1.1	13.8	55.6	0.0				
H31.3	338	36	35	2	6	71	188	0	10.7	12.7	8.7	18.0
	100.0	10.7	10.4	0.6	1.8	21.0	55.6	0.0				
R2.3	352	30	82	1	4	70	165	0	8.5	5.2	11.7	17.6
	100.0	8.5	23.3	0.3	1.1	19.9	46.9	0.0				
R3.3	344	42	61	0	1	38	202	0	12.2	10.8	13.6	19.5
	100.0	12.2	17.7	0.0	0.3	11.0	58.7	0.0				
R4.3	385	63	64	0	3	35	220	0	16.4	13.3	19.6	
	100.0	16.4	16.6	0.0	0.8	9.1	57.1	0.0				
	男子	196	26	35	0	1	20	114				
女子	189	37	29	0	2	15	106	0				

* 大学等とは、大学、短期大学、高等学校等の専攻科です。

** 公共職業能力開発施設等とは、職業訓練を行うために設置された施設です。

*** 就職者とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者をいいます。

○ 大学等進学率は16.4%で、前年度より4.2ポイント上昇

○ 卒業者に占める就職者の割合は9.1%で、前年度より1.9ポイント低下

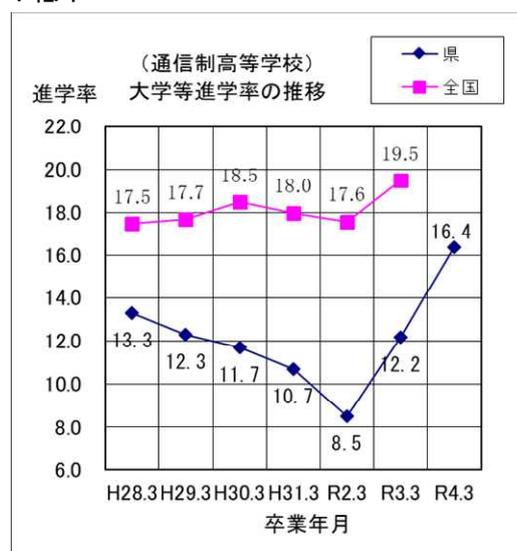
1 令和4年3月の卒業生総数は385人で、前年度より41人増加している。

2 大学等進学者は63人で、進学率は16.4%となっている。

3 専修学校(専門課程)進学者は64人で、卒業生総数の16.6%となっている。

4 就職者数は35人で、卒業生総数の9.1%となっている。

5 その他は220人で、卒業生総数の57.1%となっている。主な内訳は、不登校等による進路未定が107人、求職中が36人、家事手伝いが21人、自宅での進学準備が10人、社会福祉施設等入所・通所者が10人などである。



VI 中等教育学校卒業者の進路状況

対象…中等教育学校1校
(私立1)

【1表】 年度別卒業者の内訳

(上段 人、下段 %)

卒業 年月	卒業者 総数 (A~G)	大学等 進学者 * A	専修学校 (専門課程) 進学者 B	専修学校 (一般課程) 等入学者 C	公共職業 能力開発 施設等入 学者** D	就職者 *** E	一時的な 仕事に就 いた者 F	その他 G	A~D のうち 就職者 (再掲)	大学等進学率			
										県		全国	
										男子	女子	平均	
H31.3	41	25	1	0	0	1	0	14	0	61.0	52.4	70.0	77.6
	100.0	61.0	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	34.1	0.0				
R2.3	34	28	3	0	0	2	/	1	0	82.4	71.4	90.0	79.8
	100.0	82.4	8.8	0.0	0.0	5.9	/	2.9	0.0				
R3.3	24	17	4	0	0	1	/	2	0	70.8	62.5	75.0	82.0
	100.0	70.8	16.7	0.0	0.0	4.2	/	8.3	0.0				
R4.3	21	19	1	0	0	1	/	0	0	90.5	81.8	100.0	
	100.0	90.5	4.8	0.0	0.0	4.8	/	0.0	0.0				
男子	11	9	1	0	0	1	/	0	0				
女子	10	10	0	0	0	0	/	0	0				

* 大学等とは、大学、短期大学、高等学校等の専攻科です。

** 公共職業能力開発施設等とは、職業訓練を行うために設置された施設です。

*** 就職者とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者をいいます。

○ 大学等進学率は90.5%で、前年度より19.7ポイント上昇

○ 卒業者に占める就職者の割合は4.8%で、前年度より0.6ポイント上昇

- 1 令和4年3月の卒業生総数は21人で、前年度より3人減少している。
- 2 大学等進学者は19人で、進学率は90.5%となっている。

Ⅶ 特別支援学校卒業者の進路状況

対象…特別支援学校16校
(国立1、県立15)

【1表】 年度別特別支援学校(中学部)卒業者の内訳

(上段 人、下段 %)

卒業 年月	卒業者 総数 (A~F)	高等学校 等進学者 *	専修学校 (高等課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者**	就職者 ***	その他	A~D のうち 就職者 (再掲)
		A	B	C	D	E	F	
H28.3	172	171	0	0	0	0	1	0
	100.0	99.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
H29.3	181	178	0	0	0	0	3	0
	100.0	98.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0
H30.3	168	166	0	0	0	0	2	0
	100.0	98.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
H31.3	164	162	0	0	0	0	2	0
	100.0	98.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
R2.3	187	185	0	0	0	0	2	0
	100.0	98.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
R3.3	142	137	0	0	0	0	5	0
	100.0	96.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0
R4.3	185	184	0	0	0	0	1	0
	100.0	99.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
男子	125	124	0	0	0	0	1	0
	100.0	99.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
女子	60	60	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

* 高等学校等とは、高等学校、特別支援学校(高等部)、高等専門学校です。
 ** 公共職業能力開発施設等とは、職業訓練を行うために設置された施設です。
 *** H31.3までは、就職者とは、給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就いた者をいい、R2.3からは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者をいいます。

○ 高等学校等への進学率は99.5%で、前年度より3.0ポイント上昇

特別支援学校(中学部)の卒業者は185人で、前年度より43人増加している。
 高等学校等進学者は184人、その他は1人となっている。

【2表】 高等学校等進学者の学校種類別内訳

校種	男		女		計		(参考) 前年度			
	人	%	人	%	人	%	人	%		
進学者総数	124	100.0	60	100.0	184	100.0	137	100.0		
県内	全日制	県立	3	2.4	0	0.0	3	1.6	1	0.7
		私立	0	0.0	1	1.7	1	0.5	0	0.0
	定時制	県立	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		私立	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	特別支援学校	121	97.6	59	98.3	180	97.8	136	99.3	
計	124	100.0	60	100.0	184	100.0	137	100.0		
県外	全日制	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	通信制	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	特別支援学校	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
計	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
全日制高校計	3	2.4	1	1.7	4	2.2	1	0.7		
定時制高校計	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
通信制高校計	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
特別支援学校計	121	97.6	59	98.3	180	97.8	136	99.3		

県内と県外の別に見ると、県内進学者は184人、県外進学者は0人である。
 学校種類別に見ると、全日制高等学校進学者は4人、特別支援学校(高等部)進学者は180人である。

【3表】 年度別特別支援学校(高等部)卒業者の内訳

(上段 人、下段 %)

卒業 年月	卒業者 総数 (A~F)	大学等 進学者 *	専修学校 (専門課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者**	就職者 ***	その他	A~D のうち 就職者 (再掲)
		A	B	C	D	E	F	
H28.3	301	7	0	0	4	82	208	0
	100.0	2.3	0.0	0.0	1.3	27.2	69.1	0.0
H29.3	286	2	1	0	0	81	202	0
	100.0	0.7	0.3	0.0	0.0	28.3	70.6	0.0
H30.3	342	2	1	0	2	103	234	0
	100.0	0.6	0.3	0.0	0.6	30.1	68.4	0.0
H31.3	315	1	0	0	4	87	223	0
	100.0	0.3	0.0	0.0	1.3	27.6	70.8	0.0
R2.3	330	0	1	0	4	82	243	0
	100.0	0.0	0.3	0.0	1.2	24.8	73.6	0.0
R3.3	288	1	0	0	1	51	235	0
	100.0	0.3	0.0	0.0	0.3	17.7	81.6	0.0
R4.3	295	4	1	0	0	47	243	0
	100.0	1.4	0.3	0.0	0.0	15.9	82.4	0.0
男子	177	3	1	0	0	33	140	0
	100.0	1.7	0.6	0.0	0.0	18.6	79.1	0.0
女子	118	1	0	0	0	14	103	0
	100.0	0.8	0.0	0.0	0.0	11.9	87.3	0.0

* 大学等とは、大学、短期大学、高等学校等の専攻科です。

** 公共職業能力開発施設等とは、職業訓練を行うために設置された施設です。

*** H31.3までは、就職者とは、給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就いた者をいい、R2.3からは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者をいいます。

○ 卒業者に占める就職者の割合は15.9%で、前年度より1.8ポイント低下

特別支援学校(高等部)の卒業者は295人で、前年度より7人増加している。

大学等進学者は4人となっている。専修学校(専門課程)進学者は1人、就職者は47人、その他は243人となっている。その他の内訳は、社会福祉施設等入所・通所者が222人、雇用契約期間が1年未満または短時間勤務の者が11人、求職中が5人、不登校等による進路未定が2人などである。

令和4年3月高等学校等卒業者 就職決定状況調査

滋賀県教育委員会

令和4年3月 高等学校等卒業者就職決定状況

調査期日	令和4年3月31日現在
調査対象	県内 県立・私立高等学校等 (全日制・定時制)
調査者	滋賀県教育委員会事務局 高校教育課

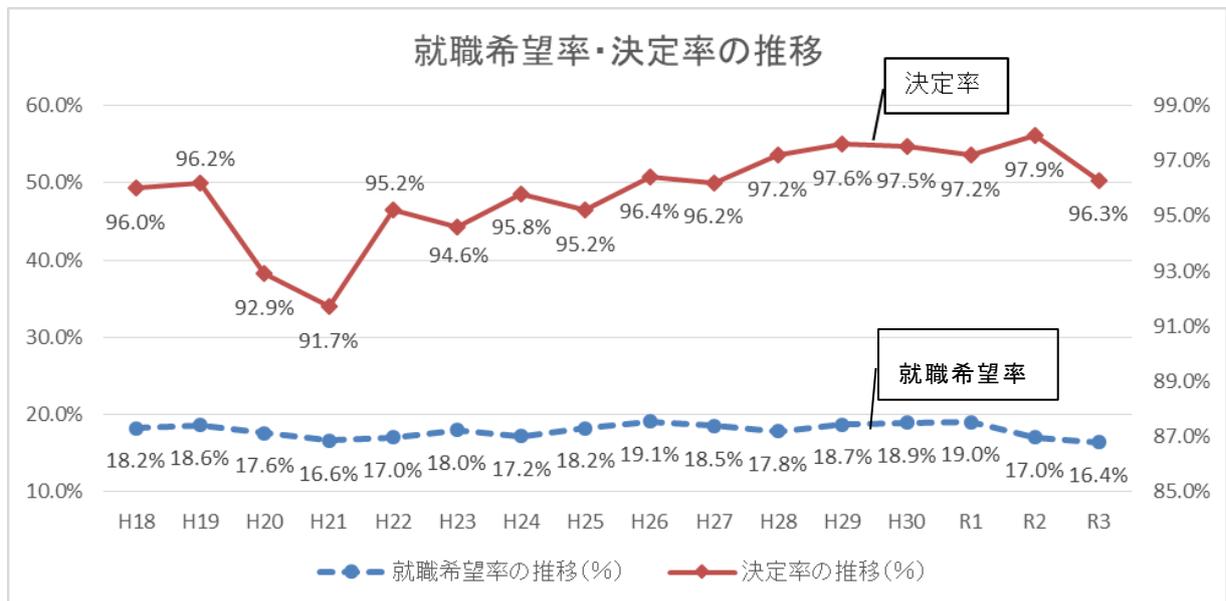
県立高等学校45校〔全日制44校、定時制5校（うち4校は全日制と併置）〕、私立高等学校10校〔全日制10校、定時制1校（全日制と併置）〕、中等教育学校1校〔全日制1校〕の調査結果である。

1 学科別就職決定状況について

〔表1〕学科別就職決定状況（決定率：就職決定者数／就職希望者数×100）

学 科	就職希望者数(人)			就職決定者数(人)			決定率 (%)			全 国
	男	女	合 計	男	女	合 計	男	女	合 計	
普 通	382	312	694	363	284	647	95.0	91.0	93.2	95.8
農 業	111	107	218	108	97	205	97.3	90.7	94.0	98.8
工 業	415	24	439	409	23	432	98.6	95.8	98.4	99.4
商 業	41	138	179	41	138	179	100.0	100.0	100.0	99.0
家 庭	6	6	12	6	6	12	100.0	100.0	100.0	97.9
福 祉	3	7	10	3	7	10	100.0	100.0	100.0	98.1
総 合	228	205	433	223	204	427	97.8	99.5	98.6	97.9
その他	2	4	6	2	4	6	100.0	100.0	100.0	95.9
全 体	1,188	803	1,991	1,155	763	1,918	97.2	95.0	96.3	97.9
前年度	1,334	805	2,139	1,311	784	2,095	98.3	97.4	97.9	97.9

○ 令和4年度の決定率は96.3%（男子97.2%、女子95.0%）であり、前年度より1.6ポイントの減少。



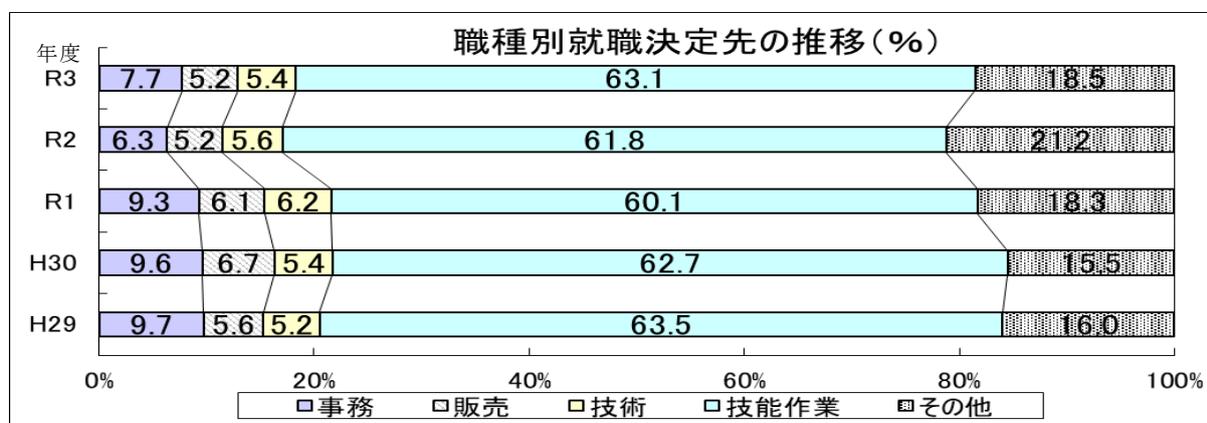
2 学科別職種別就職決定先について

[表2] 学科別職種別就職決定先

(単位：人)

学科	職種	事務		販売		技術		技能作業		その他		合計	
		男	女										
普通	男	2	25	9	24	14	7	265	134	73	94	363	284
	女												
	計	27		33		21		399		167		647	
農業	男	0	3	2	10	3	2	85	61	18	21	108	97
	女												
	計	3		12		5		146		39		205	
工業	男	2	1	4	2	57	6	317	11	29	3	409	23
	女												
	計	3		6		63		328		32		432	
商業	男	6	60	2	14	3	8	20	33	10	23	41	138
	女												
	計	66		16		11		53		33		179	
家庭	男	0	1	0	1	0	0	1	0	5	4	6	6
	女												
	計	1		1		0		1		9		12	
福祉	男	0	0	0	0	0	0	1	0	2	7	3	7
	女												
	計	0		0		0		1		9		10	
総合	男	6	42	8	24	3	1	185	93	21	44	223	204
	女												
	計	48		32		4		278		65		427	
その他	男	0	0	0	0	0	0	1	4	1	0	2	4
	女												
	計	0		0		0		5		1		6	
全体	男	16	132	25	75	80	24	875	336	159	196	1,155	763
	女												
	計	148		100		104		1,211		355		1,918	
前年度	男	11	121	29	79	87	30	958	336	226	218	1,311	784
	女												
	計	132		108		117		1,294		444		2,095	

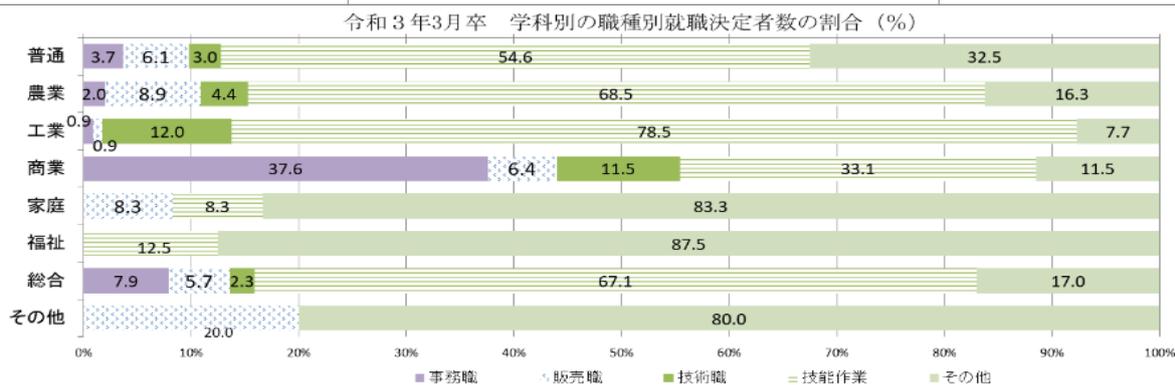
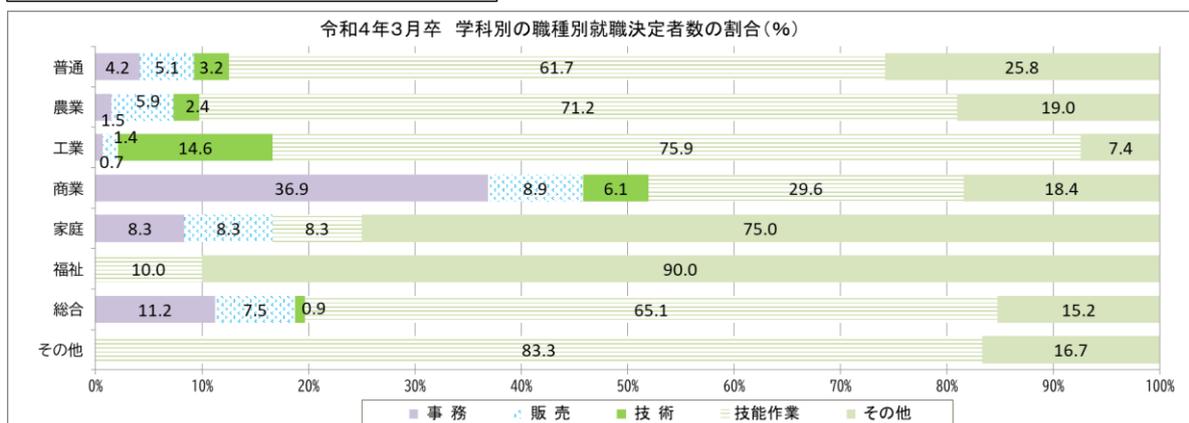
(職種の「その他」とは、公務員、保安関係、運輸関係、サービス関係等)



(%の小数第2位を四捨五入しているため、合計は100%にならないことがある。)

- 職種別就職決定先の推移をみると、事務職および技能作業職の割合が増加(それぞれ前年同期比 1.4 ポイント増、1.3 ポイント増)している。

学科別の職種別就職決定者数の割合



(%の小数第2位を四捨五入しているため、合計は100%にならないことがある。)

3 学科別業種別就職決定先について

[表3] 学科別業種別就職決定先

(単位：人)

業種 学科	農林 漁業	鉱業	建設	製造	電気ガス 熱供給 水道	運輸 通信 倉庫	卸売 小売業 飲食店	金融 保険	不動産	サー ビス	民間 計	公務	その他	総計
普通	5	0	42	329	5	26	61	1	6	123	598	46	3	647
農業	2	0	6	123	3	11	20	0	1	30	196	1	8	205
工業	0	0	49	318	3	15	20	0	0	15	420	8	4	432
商業	0	0	1	85	0	15	29	7	1	22	160	12	7	179
家庭	0	0	0	2	0	0	2	0	0	7	11	1	0	12
福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	10
総合	0	0	12	263	1	19	56	6	3	49	409	14	4	427
その他	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	1	0	6
合計	7	0	110	1,125	12	86	188	14	11	256	1,809	83	26	1,918
前年度合計	14	0	114	1,160	17	100	190	19	7	337	1,958	108	29	2,095

(業種の「その他」とは、農協、土地改良区、日本郵便、自家営業等)

- 全体の割合としては、製造業が58.7%（前年度55.4%）、卸売・小売業・飲食店業9.8%（前年度9.1%）と増加。

(参考資料)

高等学校等卒業生進路決定状況の推移

各年度3月末調査時点

[表A] 卒業生数の推移(人)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
人数	13,211	12,399	12,369	12,092	12,185	12,067	12,690	12,082	12,359	12,656	12,884	12,737	12,729	12,785	12,548	12,129

[表B] 年度別・学科別就職希望率の推移(%)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
普通	9.7	9.5	8.9	8.1	8.0	8.8	7.7	7.9	9.2	8.7	8.5	9.3	8.8	9.4	8.7	7.9
農業	58.3	67.2	68.2	64.1	61.8	61.8	60.0	59.2	61.3	64.1	62.1	66.8	65.3	59.8	55.1	58.6
工業	54.3	62.0	58.5	54.5	58.2	60.7	64.3	66.9	69.8	68.6	69.2	68.1	71.9	73.0	66.2	63.4
商業	40.1	38.4	40.6	34.5	33.9	42.3	40.7	43.3	39.5	41.3	39.6	35.8	38.3	46.0	29.8	33.6
家庭	31.9	33.5	29.8	29.3	24.7	20.3	28.0	29.0	25.7	34.5	21.8	23.7	12.7	7.7	8.8	7.5
福祉	48.7	40.0	25.4	45.9	32.4	45.5	35.3	51.7	59.6	41.7	42.9	63.0	59.1	54.5	64.0	52.6
総合	29.7	28.5	27.0	30.1	31.4	33.6	32.3	35.6	37.1	33.3	35.8	36.3	36.8	33.7	34.7	32.5
その他	6.3	3.3	5.3	3.4	7.6	6.6	6.4	6.2	6.7	2.8	2.3	2.2	4.4	6.7	2.7	3.0
全体	18.2	18.6	17.6	16.6	17.0	18.0	17.2	18.2	19.1	18.5	17.8	18.7	18.9	19.0	17.0	16.4

[表C] 就職希望者数の推移(人)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
人数	2,399	2,307	2,177	2,010	2,066	2,170	2,181	2,204	2,359	2,344	2,299	2,376	2,400	2,423	2,139	1,991

[表D] 年度別県内就職希望率の推移(%)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
率	89.0	89.6	90.3	90.2	89.6	89.2	90.5	91.6	93.0	91.3	91.0	92.0	90.9	91.3	91.3	91.7

[表E] 年度別・学科別就職決定率の推移(%)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
普通	96.2	95.6	89.3	88.2	92.7	92.7	94.5	92.6	94.8	94.4	97.0	97.5	96.2	95.6	96.2	93.2
農業	95.3	95.5	92.5	93.0	96.7	96.1	96.7	97.5	99.6	99.6	100.0	95.2	98.4	97.8	99.5	94.0
工業	97.6	99.3	97.8	93.8	97.5	93.5	96.9	94.5	95.4	94.8	95.2	99.0	98.9	98.7	98.3	98.4
商業	95.2	98.7	97.1	95.5	100.0	95.4	93.9	95.9	97.6	99.6	99.1	100.0	100.0	99.6	100.0	100.0
家庭	92.5	89.9	93.2	80.0	96.5	97.7	100.0	96.7	96.5	87.0	98.1	100.0	90.0	91.7	85.7	100.0
福祉	100.0	100.0	100.0	94.1	91.7	96.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
総合	94.6	92.5	91.0	95.0	93.7	97.7	96.5	98.3	97.9	99.0	97.0	96.7	97.6	97.9	99.6	98.6
その他	94.7	100.0	100.0	100.0	100.0	94.1	94.1	94.4	100.0	100.0	100.0	80.0	50.0	73.3	83.3	100.0
全体	96.0	96.2	92.9	91.7	95.2	94.6	95.8	95.2	96.4	96.2	97.2	97.6	97.5	97.2	97.9	96.3

[表F] 就職決定者数の推移(人)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
人数	2,303	2,219	2,023	1,843	1,967	2,052	2,090	2,098	2,274	2,254	2,234	2,320	2,339	2,356	2,095	1,918

[表G] 就職未決定者数の推移(人)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
人数	96	88	154	167	99	118	91	106	85	90	65	56	61	67	44	73

[表H] 就職決定者に占める県内就職者の割合の推移 (%)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
率	88.8	89.3	89.1	88.7	89.6	89.1	89.3	91.5	91.9	91.1	90.8	92.2	91.4	91.3	91.4	91.5

[表I] 職種別就職先の推移 (%)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
事務	9.7	10.1	8.2	7.3	6.2	7.1	7.1	7.5	7.6	7.9	9.3	9.7	9.6	9.3	6.3	7.7
販売	6.3	6.6	6.4	5.9	6.2	6.2	6.8	5.6	8.7	7.7	6.5	5.6	6.7	6.1	5.2	5.2
技術	6.9	6.7	4.7	8.2	7.5	7.7	4.6	4.9	5.5	4.8	5.6	5.2	5.4	6.2	5.6	5.4
技能作業	64.1	60.5	64.9	60.0	64.9	62.9	60.9	57.2	59.5	63.9	61.7	63.5	62.7	60.1	61.8	63.1
その他	13.1	16.1	15.8	18.7	15.3	16.1	20.7	24.8	18.7	15.8	16.9	16.0	15.5	18.3	21.2	18.5

[表J] 民間企業の規模別（従業員数別）就職先の推移 (%)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
1,000人以上	23.9	27.0	32.3	20.6	22.6	21.4	21.5	20.8	23.5	24.0	30.2	32.2	35.1	36.2	33.8	34.9
500人以上	12.0	14.0	14.4	11.5	10.4	12.4	9.3	8.7	9.5	10.8	10.6	10.0	10.9	11.5	11.3	11.7
300人以上	10.0	10.4	9.1	7.3	8.1	8.6	9.5	10.8	10.1	8.9	10.6	11.4	8.9	9.7	9.3	9.5
100人以上	25.0	25.2	23.0	25.5	27.4	25.3	24.4	24.5	26.3	25.2	21.5	21.8	19.9	19.9	21.9	19.8
30人以上	18.1	14.8	15.1	21.7	18.8	19.2	23.2	20.9	18.4	20.6	15.6	15.2	14.8	13.6	13.5	14.2
20人以上	2.6	2.3	1.7	3.8	3.9	3.7	3.6	4.4	3.1	3.1	2.7	3.0	3.3	3.0	2.5	3.1
19人以下	8.5	6.3	4.4	9.7	8.8	9.4	8.5	9.9	9.1	7.5	8.7	6.4	7.2	6.2	7.6	6.7

[表K] 業種別就職先の推移 (%)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
農林業	0.3	0.3	0.1	0.2	0.3	0.6	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.6	0.2	0.8	0.7	0.4
鉱業	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設	2.9	2.3	2.2	4.8	3.7	3.8	4.4	5.0	4.3	4.0	3.9	3.3	4.7	3.5	5.4	5.7
製造	62.3	62.6	66.5	56.4	60.5	56.1	54.8	53.0	54.1	56.3	58.2	59.1	59.4	59.3	55.4	58.7
熱電給水道	0.5	0.9	0.4	0.9	0.8	1.2	0.7	0.4	0.5	0.5	0.4	0.6	0.6	0.3	0.8	0.6
運輸通信	4.4	4.6	3.1	5.0	4.9	5.7	5.5	5.6	5.2	5.1	5.1	5.6	5.3	5.0	4.8	4.5
卸小売飲食	11.2	10.8	9.2	8.5	9.0	8.1	9.9	9.6	11.2	11.0	9.8	9.4	9.7	9.2	9.1	9.8
金融保険	0.7	0.6	0.6	0.3	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	0.8	0.6	0.6	0.8	0.8	0.9	0.7
不動産	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.5	0.5	0.6	0.3	0.6
サービス	13.5	13.2	13.3	20.2	16.9	19.9	19.5	21.2	18.6	16.5	16.5	15.9	13.8	14.8	16.1	13.3
民間計	95.9	95.5	95.4	96.6	96.7	95.9	95.5	95.7	94.9	95.2	95.2	95.5	95.0	94.6	93.5	94.3
公務	2.6	2.6	2.8	2.9	2.7	3.3	3.3	3.4	4.0	3.6	3.7	2.8	3.8	3.6	5.2	4.3
その他	1.4	1.9	1.8	0.5	0.6	0.8	1.2	0.9	1.1	1.2	1.0	1.8	1.2	1.8	1.4	1.4

注：その他の業種は農協、土地改良区、日本郵便、自家営業等である。

(%の小数第2位を四捨五入しているため、合計は100%にならないことがある。)

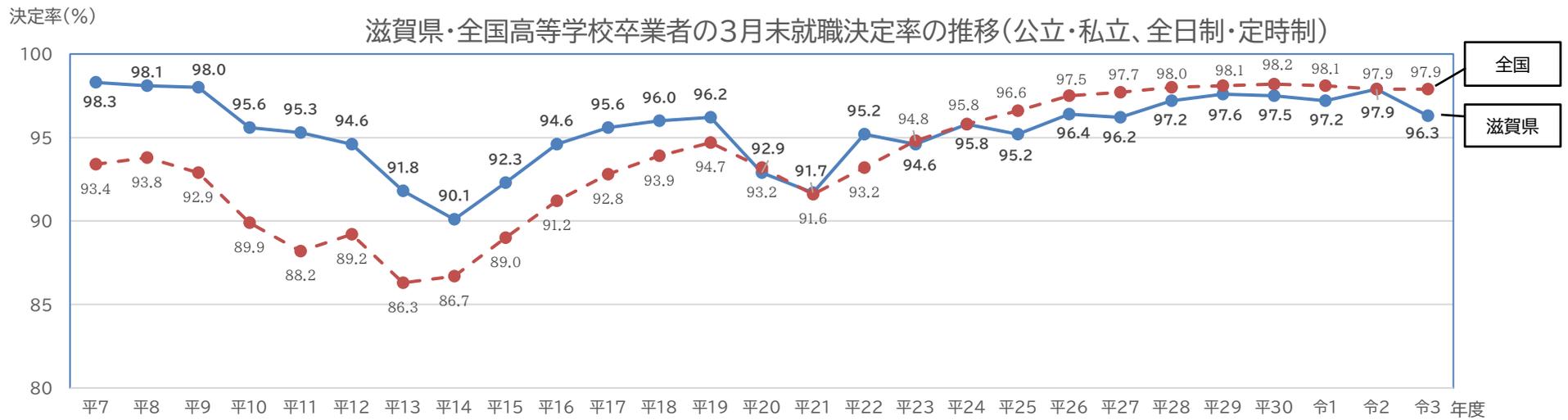
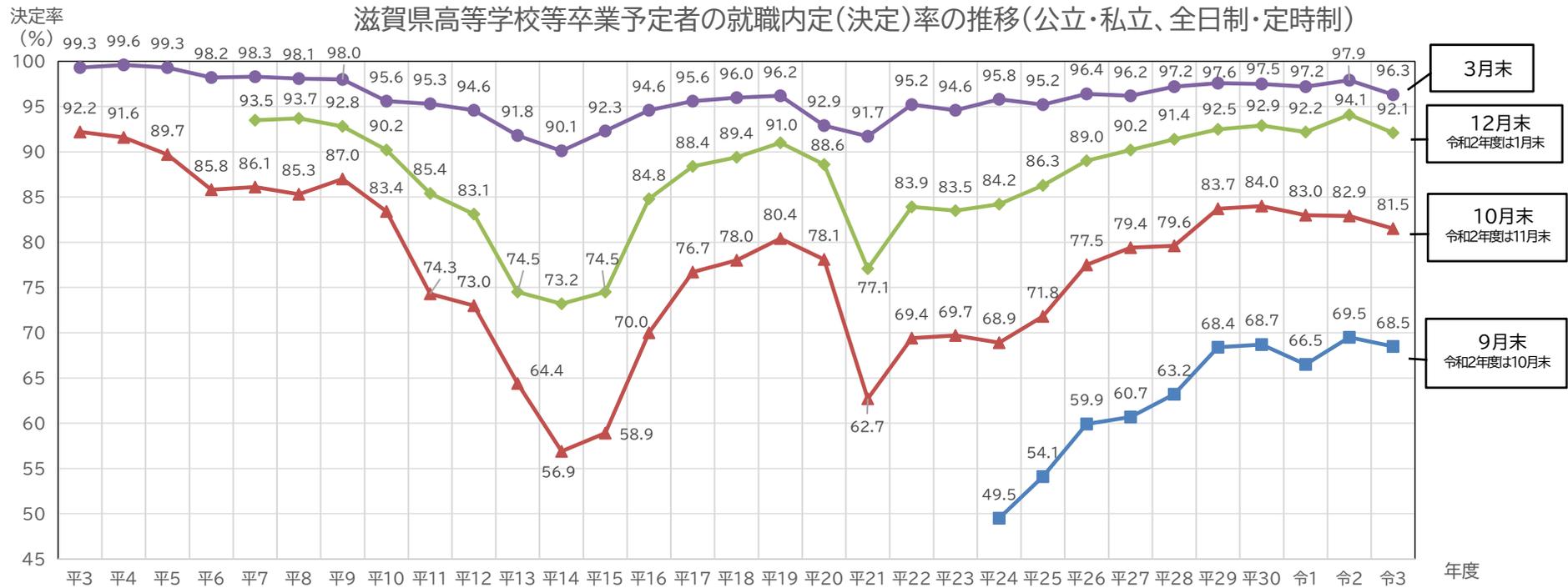
令和4年3月高等学校等卒業者の就職決定状況【令和4年3月末】
 県立・私立高等学校（全日制・定時制）

滋賀県総務部・滋賀県教育委員会

	卒業生数 (人)	就職希望者数(人)			決定者数(人)			決定率 (%)
		男	女	計	男	女	計	
今年度	12,129	1,188	803	1,991	1,155	763	1,918	96.3%
	内訳 男 6,274 女 5,855				内訳 県内 1,051 県外 104	内訳 県内 704 県外 59	内訳 県内 1,755 県外 163	内訳 男 97.2% 女 95.0%
	卒業予定者のうち、就職希望者の割合			内定者のうち、県内就職内定者の割合			参考：全国	
		18.9%	13.7%	16.4%	91.0%	92.3%	91.5%	97.9%
前年同期比 (昨年度は 3月末)	96.7%	89.1%	99.8%	93.1%	88.1%	97.3%	91.6%	
	増減 全体 -419	増減 -146	増減 -2	増減 -148	増減 -156	増減 -21	増減 -177	全体 -1.6 ポイント
	増減 男 -153	割合 -10.9%	割合 -0.2%	割合 -6.9%	割合 -11.9%	割合 -2.7%	割合 -8.4%	男 -1.1 ポイント
	増減 女 -266							女 -2.4 ポイント
前年度 (3月末)	12,548	1,334	805	2,139	1,311	784	2,095	97.9%
	内訳 男 6,427 女 6,121				内訳 県内 1,191 県外 120	内訳 県内 723 県外 61	内訳 県内 1,914 県外 181	内訳 男 98.3% 女 97.4%
	卒業予定者のうち、就職希望者の割合							
		20.8%	13.2%	17.0%				

3月末の状況（前年同期比）

【就職希望者】全体では148人減少(前年比-6.9%)した。男子は146人減少(前年比-10.9%)、女子は2人減少(前年比-0.2%)した。
 【決定者数】全体では177人減少(前年比-8.4%)した。男子は156人減少(前年比-11.9%)、女子は21人減少(前年比-2.7%)した。
 【決定率】全体では96.3%で、前年比1.6ポイント減少。男子は1.1ポイント減少し、女子は2.4ポイント減少した。



令和4年度
滋賀県立高等学校入学者選抜結果のまとめ
(全日制・定時制・通信制)

一部抜粋

滋賀県教育委員会

I 全日時の課程および定時制の課程

1 募集定員、出願者数、入学許可予定者数等について ※中高一貫教育に係る人数は除く

(1) 推薦選抜、特色選抜の結果

推薦選抜実施校は、全日時の課程の32校（普通科15、専門学科11、総合学科7 のべ33校）、定時制課程の1校（普通科1）であった。特色選抜実施校は、15校（普通科14、専門学科4 のべ18校）であった。推薦選抜、特色選抜は、いずれも2月8日に実施した。

推薦選抜出願者の中学校別内訳は、県内の中学校・義務教育学校・中等教育学校106校中96校（昨年度106校中99校）、特別支援学校中学部13校中1校（昨年度13校中1校）、県外の中学校は22校（昨年度13校）であった。全日時の出願者数は、普通科で790人（昨年度826人）、農業学科で203人（昨年度195人）、工業学科で333人（昨年度325人）、商業学科で325人（昨年度294人）、家庭学科で87人（昨年度90人）、体育学科で50人（昨年度41人）、美術学科で60人（昨年度44人）、総合学科で438人（昨年度462人）であった。定時制は普通科の15人（昨年度8人）となった。この結果、出願者数合計は、2,301人（昨年度2,285人）となり、出願倍率（募集枠に対する出願者の割合）は、推薦を実施した全日時の普通科では1.02倍（昨年度1.15倍）、専門学科で1.16倍（昨年度1.10倍）、総合学科では0.90倍（昨年度0.94倍）、定時制の普通科は1.25倍（昨年度0.67倍）となり、実施学科全体では1.05倍（昨年度1.08倍）であった。この結果、1,985人が入学許可予定者となり、合格率は86.3%（昨年度86.0%）であった。

一方、特色選抜出願者の中学校別内訳は県内の中学校・義務教育学校・中等教育学校106校中101校（昨年度106校中101校）、県外の中学校は11校（昨年度12校）であった。出願者数は、普通科で3,767人（昨年度3,684人）、理数学科で85人（昨年度91人）、音楽学科で23人（昨年度27人）、文理探究学科で26人（昨年度30人）であった。この結果、出願者数合計は3,901人（昨年度3,832人）となり、出願倍率は、普通科では3.49倍（昨年度3.55倍）、専門学科では1.68倍（昨年度1.85倍）となり、実施学科全体では3.36倍（昨年度3.43倍）であった。この結果、1,160人が入学許可予定者となり、合格率は29.9%（昨年度29.2%）であった。

結果、推薦選抜、特色選抜合わせて3,145人が入学許可予定者となり、合格率は50.8%（昨年度50.5%）であった。

表1 推薦選抜、特色選抜出願者数・入学許可予定者数等（スポーツ・文化芸術推薦選抜を含む）

学科	項目	募集定員 A	募集枠		出願者数 B	受検者数 B'	出願倍率 B/A'	入学許可 予定者数 C	合格率 C/B' (%)	
			割合(%)	人数A'						
推薦選抜	普通科	2,640	20~30	776	790	789	1.02	722	91.5	
	普通科(定)	40	30	12	15	15	1.25	12	80.0	
	専門学科	農業	400	50	200	203	203	1.02	181	89.2
		工業	720	50	360	333	333	0.93	315	94.6
		商業	520	50	260	325	325	1.25	254	78.2
		家庭	80	40	32	87	87	2.72	32	36.8
		体育	40	85	34	50	50	1.47	34	68.0
		美術	40	75	30	60	60	2.00	30	50.0
		小計	1,800		916	1,058	1,058	1.16	846	80.0
	総合学科	1,240	30~40※	489	438	438	0.90	405	92.5	
合計	5,720		2,193	2,301	2,300	1.05	1,985	86.3		
特色選抜	普通科	3,600	30	1,080	3,767	3,752	3.49	1,080	28.8	
	専門学科	理数	80	50	40	85	85	2.13	40	47.1
		音楽	40	50	20	23	23	1.15	20	87.0
		文理	40	50	20	26	26	1.30	20	76.9
		小計	160		80	134	134	1.68	80	59.7
合計	3,760		1,160	3,901	3,886	3.36	1,160	29.9		
総合計	9,480		3,353	6,202	6,186	1.85	3,145	50.8		

※信楽高等学校総合学科の推薦選抜募集枠には、40%の他に全国募集枠を含む（上限5名）。

※上記には、推薦選抜、スポーツ・文化芸術推薦選抜の追検査受検者を含む。

(2) スポーツ・文化芸術推薦選抜の結果

スポーツ・文化芸術推薦選抜を実施した県立高等学校は、全日制課程の19校（普通科11、専門学科6、総合学科3）のべ20校であった。このうち、推薦選抜実施校は16校（普通科7、専門学科6、総合学科3）、特色選抜実施校は、全日制課程の4校（普通科4）であった。

受検者数155人に対して、入学許可予定者数は135人となり、受検者数に対する合格率は、87.1%（昨年度91.7%）となった。

(3) 一般選抜の結果

一般選抜は、学力検査定員6,576人に対し、確定出願者数は7,010人であり、確定出願倍率は1.07倍であった。また、受検者数は6,994人であり、受検倍率は1.06倍であった。この結果、6,117人が入学許可予定者となり、合格率は87.5%であった。

二次選抜は、二次選抜定員475人に対し、受検者数は97人であった。この結果、94人が入学許可予定者となり、合格率は96.9%であった。（表2参照）

表2 一般選抜出願者数・入学許可予定者数等

項目	年度	令和4年度	令和3年度
	学力検査		
学力検査定員 A		6,576	6,276
出願者数		7,056	6,771
確定出願者数 (倍率)		7,010 (1.07)	6,731 (1.07)
受検者数 B (倍率)		6,994 (1.06)	6,713 (1.07)
不合格者数 B-C		877	852
入学許可予定者数 C		6,117	5,861
合格率 C/B (%)		87.5	87.3
二次選抜			
二次選抜定員		475	416
出願者数		99	102
受検者数 D (倍率)		97 (0.20)	99 (0.24)
不合格者数 D-E		3	12
入学許可予定者数 E		94	87
合格率 E/D (%)		96.9	87.9
入学許可予定者数合計 C+E		6,211	5,948

※上記には、学力検査の追検査受検者を含む。

(4) 入学者選抜の結果

県立高等学校全日制および定時制の課程の入学許可予定者数は9,356人であった。全日制では募集定員9,440人に対して入学許可予定者数9,205人、定時制は募集定員280人に対して入学許可予定者数151人となった。

入学許可予定者数の内訳は、推薦選抜1,985人、特色選抜1,160人、スポーツ・文化芸術推薦選抜135人、一般選抜6,117人で、二次選抜94人であった。

4月8日における県立高等学校全日制および定時制の課程の実入学者数は9,354人で、募集定員の96.2%（昨年度96.5%）となった。（表3参照）

表3 入学許可予定者数等

項目	年度	令和4年度			令和3年度
		全日制	定時制	合計	
※県内中学校卒業予定者数				13,976	13,435
募集定員 A		9,440	280	9,720	9,360
推薦選抜入学許可予定者数（スポ文を含む）		1,973	12	1,985	1,850
特色選抜入学許可予定者数（スポ文を含む）		1,160	-	1,160	1,102
スポーツ・文化芸術推薦選抜入学許可予定者数		135	-	135	132
一般選抜入学許可予定者数		5,984	133	6,117	5,861
二次選抜入学許可予定者数		88	6	94	87
総計	入学許可予定者総数	9,205	151	9,356	9,032
	実入学者数 B			9,354	9,029
	定員充足率 B/A(%)			96.2	96.5

※県内中学校卒業予定者数は、令和4年3月中学校、義務教育学校および特別支援学校中学部卒業予定者の第2次進路志望調査による。

2 学科別の受検者数、入学許可予定者数等について

県立高等学校全日制および定時制の課程を合わせて学科別にみると表4のようになり、実入学者数が募集定員を下回ったのは、普通科、工業学科、商業学科、音楽学科、総合学科の5学科（昨年度5学科）であった。（表4および別表参照）

表4 学科別の受検者・入学許可予定者数等（スポーツ・文化芸術推薦選抜を含む）

項目		学科	普通	農業	工業	商業	家庭	理数	体育	音楽	美術	文理	総合	
募集定員 A		9,720	6,400	400	800	520	80	80	40	40	40	40	1,280	
推薦選抜	募集枠（人数）	2,193	788	200	360	260	32	-	34	-	30	-	489	
	受検者数 B	2,300	804	203	333	325	87	-	50	-	60	-	438	
	入学許可予定者数 C	1,985	734	181	315	254	32	-	34	-	30	-	405	
	合格率 C/B(%)	86.3	91.3	89.2	94.6	78.2	36.8	-	68.0	-	50.0	-	92.5	
特色選抜	募集枠（人数）	1,160	1,080	-	-	-	-	40	-	20	-	20	-	
	受検者数 D	3,886	3,752	-	-	-	-	85	-	23	-	26	-	
	入学許可予定者数 E	1,160	1,080	-	-	-	-	40	-	20	-	20	-	
	合格率 E/D(%)	29.9	28.8	-	-	-	-	47.1	-	87.0	-	76.9	-	
一般選抜	学力検査	学力検査定員	6,576	4,586	220	485	266	48	40	6	20	10	20	875
		確定出願者数	7,010	*4,038	240	409	276	65	**	**	4	**	**	816
		受検者数 F	6,994	*4,027	240	409	276	65	**	**	4	**	**	812
		入学許可予定者数 G	6,117	4,325	219	403	261	49	40	6	4	10	20	780
		合格率 G/F(%)	87.5	***	91.3	98.5	94.6	75.4	***	***	100	***	***	96.1
	二次選抜	二次選抜定員	475	266	2	86	5	-	-	-	16	-	-	100
		出願者数	99	75	0	16	1	-	-	-	0	-	-	7
		受検者数 H	97	73	-	16	1	-	-	-	-	-	-	7
		入学許可予定者数 I	94	70	-	16	1	-	-	-	-	-	-	7
		合格率 I/H(%)	96.9	95.9	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100
総計	入学許可予定者数	9,356	6,209	400	734	516	81	80	40	24	40	40	1,192	
	実入学者数 J	9,354	6,209	400	733	516	81	80	40	24	40	40	1,191	
	過不足 J-A	-366	-191	0	-67	-4	1	0	0	-16	0	0	-89	
	定員充足率(%)	96.2	97.0	100	91.6	99.2	101	100	100	60.0	100	100	93.0	
前年度定員充足率(%)		96.5	97.8	95.8	87.1	99.8	100	100	100	67.5	100	100	95.1	

* 学校出願の数を除いた数。学校出願の数は、普通科と専門学科を合わせて別表に示す。

** 学校出願のため、普通科と専門学科を合わせて別表に示す。

*** 学校出願のため、学科ごとの合格率は算出できない。

※上記には、推薦選抜、スポーツ・文化芸術推薦選抜、学力検査それぞれの追検査受検者を含む。

別表 学校出願

項目		学科	普通	理数	普通	体育	普通	美術	普通	文理探究
一般選抜	学力検査	学力検査定員	364	40	224	6	115	10	128	20
		確定出願者数	536		365		120		141	
		受検者数	535		365		120		141	
		入学許可予定者数	359	40	224	6	106	10	121	20

3 一般選抜における出願変更者数について

出願者数7,056人に対し、出願変更者数は444人（昨年度413人）で、出願変更率は6.3%（昨年度6.1%）となり、確定出願者数は7,010人であった。

各学科別の出願変更率は、音楽学科の20.0%が最も高く（昨年度の最高は美術学科の10.6%）、次に、農業学科の14.0%であった。（表5参照）

表5 学科別の出願変更者数

（昨年度）

項目		学力検査 定員	出願者数 A	出願変更者数 B	出願 変更率 B/A(%)	確定 出願者数 C	出願 変更者数	出願 変更率 (%)
学科								
* 普通		3,755	4,019	240	6.0	4,038	237	6.1
農業		220	258	36	14.0	240	18	8.4
工業		485	405	24	5.9	409	34	9.2
商業		266	271	16	5.9	276	8	3.6
家庭		48	67	5	7.5	65	6	7.6
音楽		20	5	1	20.0	4	0	0
総合		875	819	37	4.5	816	35	4.5
学校 出願	普通・理数	404	546	27	4.9	536	37	6.1
	普通・体育	230	398	45	11.3	365	23	6.9
	普通・美術	125	125	9	7.2	120	11	10.6
	普通・文理	148	143	4	2.8	141	4	2.7
合計		6,576	7,056	444	6.3	7,010	413	6.1

* 普通科は学校出願を除く

4 一般選抜における面接・作文・実技検査について

点数化する面接を実施した学校は、全日制の課程では八日市南高等学校、愛知高等学校の2校4科、定時制の課程では、大津清陵高等学校（夜間）の1校1科であった。

実技検査を実施した学校は、石山高等学校（音楽科）、草津東高等学校（体育科）、栗東高等学校（美術科）の3校3科であった。

なお、作文の実施校はなかった。

II 単位制 転・編入学、通信制の課程

募集定員、出願者数、入学許可予定者数等について

単位制の課程の昼間部（滋賀県立大津清陵高等学校に限る。）で実施した転・編入学については、定員40人に対し9人（昨年度17人）が入学許可予定者となり、0.23倍（昨年度0.43倍）の倍率となった。二次選抜では、2人（昨年度1人）が入学許可予定者となり、合計11人（昨年度18人）が入学許可予定者となった。

また、通信制の課程については、定員320人のところ、一次選抜では150人の出願者（昨年度127人）に対して、150人（昨年度127人）が入学許可予定者となった。また、二次選抜では、35人（昨年度19人）が入学許可予定者となり、合計185人（昨年度146人）が入学許可予定者となった。

（表6参照）

表6 募集定員，出願者数，入学許可予定者数等

年度	項目	一次選抜				辞退者 D	二次選抜		合計	
		募集定員 A	出願者数 B	入学許可 予定者数 C	率 C/A(%)		出願者数	入学許可 予定者数 E	入学許可 予定者数 F=C-D+E	募集定員 との差 F-A
令和4年度	単位制 転編入	40	9	9	0.23	0	2	2	11	-29
	通信制	320	150	150	0.47	0	35	35	185	-135

令和3年度	単位制 転編入	40	18	17	0.43	0	1	1	18	-22
	通信制	320	127	127	0.40	0	19	19	146	-174

令和4年度県立高等学校入学者選抜の主な日程

説明用補助資料

月	特別追検査	全日制・定時制		通信制	単位制転編入学 (大津清陵・昼間)
		推薦・特色選抜 スポーツ・文化芸術推薦選抜	一般選抜		
1		27(木) 出願 ↑↓ 28(金) (16:40)			
2		8(火) 推薦選抜 9(水) 特色選抜 16(水) 入学許可 予定期通知	22(火) 出願 ↑↓ 24(木) (16:40)※		
3	24(木) 推薦選抜 スポーツ・文化 芸術推薦選抜 追検査 ↓ 28(月) 推薦選抜 スポーツ・文化 芸術推薦選抜 追検査 入学許可 予定期通知 29(火) (15:00) 特別追検査 出願 ↓ 30(水) 特別追検査 ↓ 31(木) 特別追検査 発表	2(水) 出願変更 ↑↓ 4(金) (15:00) ↓ 9(水) 学力検査 10(木) [実技検査] ↓ 16(水) 入学許可 予定期発表 17(木) 二次選抜 出願 ↑↓ 18(金) (16:40)※ ↓ 23(水) 二次選抜 検査 追検査 ↓ 25(金) 二次選抜 発表 追検査 発表	13(日) 募集 ↑↓ 16(水) (16:00) ↓ 22(火) 入学許可 予定期発表 ↓ 24(木) 二次選抜 募集 ↑↓ 25(金) (16:00) ↓ 28(月) 二次選抜 発表	10(木) 募集 ↑↓ 11(金) (16:00) ↓ 15(火) 学力検査 ↓ 18(金) 入学許可 予定期発表 ↓ 18(金) 二次選抜 募集 ↑↓ 22(火) (16:00) ↓ 24(木) 二次選抜 検査 ↓ 28(月) 二次選抜 発表	

学校教育におけるコロナ禍への 対応の成果と課題

滋賀県教育委員会事務局
教育総務課
高校教育課
幼小中教育課
特別支援教育課

小中学校の状況①

学習面について

コロナ禍で実施した対応	成果・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時休業時等の同時双方向型オンライン授業 ・ 臨時休業時、GIGAスクール端末に学習課題等を配信し自宅学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時でも、学校と児童生徒がつながりを持ち、学びを継続させることができた。 ・ 児童生徒の反応が分かりづらく、理解の状況も様々であるため、登校してから再度授業を行うこともあった。 ・ 教員の説明だけでなく、グループ分けの機能を活用して子ども同士の意見交換の場を設定するなど、オンライン授業をさらに充実させる工夫、改善が必要である。

生徒指導について

コロナ禍以前の対応	コロナ禍で実施した対応	成果・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ SCやSSWとの相談は基本的に学校で行い、必要に応じて家庭訪問も可能としていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ SCやSSWが出勤できない場合、電話等での相談も可能とし、ケース会議や教職員研修を行った。 ・ 学校再開後は、SC・SSWの配置時間を拡充した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者で児童生徒に対するアセスメントを多く行うことができた。 ・ 電話等では、相談者の様子が見えないなどの課題があり、オンラインでの対応の必要性も見えた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校が虐待を発見しやすい場として、虐待の疑いがある場合は福祉部局へ相談や通告を行っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被虐待児童等の特に配慮を要する児童生徒について、定期的な情報把握（1週間に1回以上）を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で家庭で過ごす児童生徒に対する虐待事案が学校再開後増加し、虐待の早期発見に学校の果たす役割の大きさが分かった。

学校行事について 【 コロナ禍対応型の儀式的行事（卒業式・入学式・修学旅行） 】

コロナ禍以前の対応	コロナ禍で実施した対応	成果・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生もしくは新入生と、全校児童、保護者、来賓が参加、呼びかけや歌などで祝う ・ 教室で担任との出会いや別れの時間をとる ・ 県外への泊を伴う修学旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館には卒業生もしくは新入生と保護者のみが参加、在校生は、教室でオンライン参加する ・ 学級での時間を可能な限り削る ・ 観光部局と連携し広報、県内への修学旅行増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 儀式的意義を見つめ直し簡素化し実施できた ・ 在校生や担任と心を通じ合わせる機会の工夫が必要 ・ 県内旅行先での魅力の再発見

小中学校の状況②

学校行事 事例【しが生徒会オンライン交流会の実施】

コロナ禍以前の対応

- ・各校で生徒会活動
- ・市町で交流会を実施した事例あり



東近江市での生徒会交流会(R2)

コロナ禍で実施した対応

- ・オンラインで学校や教育委員会をつなぐ
- ・県内中学校生徒会を対象に企画
- ・**高校生徒会・大学教授**をアドバイザーとして招聘



成果・課題

【成果】

- ・生徒会活動の**意義・効果**を再確認。
- ・実践交流により、**自校のよさ**に気づく。**活性化のヒント**を得る。
- ・**ICTの積極的な活用**が進む。
- ・県内98中学校のうち25校が参加。

【課題】

- ・次年度の取組方針や効果的な手立てについて考える必要がある。

事例【スクールステイ体験(東近江市立能登川東小学校)】

奈良県等へ 修学旅行

- ・児童・保護者から修学旅行実施の強い要望
- ・児童が意見を出し合い「**コロナ禍における避難所**」を想定→体験を通して学ぶ**校内宿泊体験**の実現
- ・保護者・**能登川地区まちづくり協議会**の協力



【成果】

- ・「遠足・集団宿泊的行事」の**意義を見つめ直し**、新たな実施方法を示した。
- ・R3は、宿泊なしで防災教育として位置付く。

【課題】

- ・コロナ禍の実践は、一過性のものとなる傾向。コロナ禍前後の実践を総括し、何を選択し何を省くかを検討する必要あり。働き方改革の視点も併せて必要。³

県立高等学校の状況①

学習面について

コロナ禍以前の対応	コロナ禍で実施した対応	成果・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・臨時休業等により、一定期間登校できない生徒への学びの保障を十分に想定していなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン・動画による授業 ・メールやTeams等による生徒・保護者への連絡（携帯電話等） ・授業におけるICTの活用推進（Teams、Google Forms等） <p>*BYODによる1人1台端末の導入は令和4年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用も含め、学びの保障ができる体制を確立できた。 ・生徒・保護者との双方向の連絡手段ができた。 ・ICTの効果的活用によるさらなる授業改善

学校行事について

コロナ禍以前の対応	コロナ禍で実施した対応	成果・課題
<p>169</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事ができない場合は中止とすることが多かった。 ・行事内容の精査や工夫に余地があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応の中でできる取組を生徒が主導で提案（学園祭等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等において新たな取組がなされた。 ・生徒の自主性・主体性が育まれた。
<ul style="list-style-type: none"> ・海外修学旅行、海外実習を実施していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる海外交流（修学旅行訪問予定先との交流を含む） ・国内における英語研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用など、新しい形での交流ができた。一方、実際に海外で経験することなど、リアルな体験の意義も再確認できた。

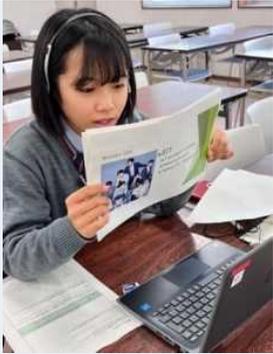
コロナ禍における取組について

コロナ禍以前の対応	コロナ禍で実施した対応	成果・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃やボランティアなどの社会貢献活動に取り組んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での新たな取組や工夫を模索・企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生によるコロナ禍における社会貢献の取組ができた。

県立高等学校の状況②

県立高等学校の事例

オンラインを活用した取組



バンラディッシュやインドネシアの高校生との交流



滋賀、三重、大阪の高等学校3校によるリモートリアルタイムバンド演奏（近畿高等学校総合文化祭）

社会へ貢献する取組



工業高校における感染予防対策器具の制作



地域応援メッセージを書いた書道部による懸垂幕

新しい生活様式で今を乗り越えよう

一人の笑顔で広がる笑顔 つながりを大切に

県立特別支援学校の状況

学習面について

コロナ禍以前の対応	コロナ禍で実施した対応	成果・課題
<ul style="list-style-type: none"> 聞き取りやすい発声や口の動き、表情を交えたコミュニケーション指導。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校によっては、マスク着用からフェイスシールドやマウスシールドの使用に変えて対応。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語獲得や音声情報の読み取りには、聴覚情報だけでなく、相手の発話に伴う口の形や表情等の視覚情報が重要な役割を果たしていることを再確認。 マスク着用時のはっきりとした発声を意識した会話。

学校行事について

コロナ禍以前の対応	コロナ禍で実施した対応	成果・課題
<ul style="list-style-type: none"> 集会などの行事は、集合参加型で実施。 交流学習（学校間交流、居住地校交流）は、直接的な交流に取り組むことが多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン会議システムを用いて実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 注目箇所の焦点化や、拡大表示など、児童生徒が画面に注目するよう工夫して取り組んだ。ICT機器の活用により指導方法の幅に広がりを持たせることができた。 ICT機器を活用した教育方法や人材育成が課題。 交流学習については、相手校との事前・事後学習の丁寧なやりとりが一層必要。

スクールバスの運行、要医療的ケア児への対応について

コロナ禍以前の対応	コロナ禍で実施した対応	成果・課題
<ul style="list-style-type: none"> スクールバスの安全な運行。 	<ul style="list-style-type: none"> 車内での三密回避、感染リスク低減のためのバス増車、感染症対策（換気や消毒）。 	<ul style="list-style-type: none"> バスの運行にあたっては、感染症対策を始め、増便バスや運行方法の工夫など、過密乗車とならない取組が引き続き求められる。
<ul style="list-style-type: none"> 要医療的ケア児等、重症化リスクの高い児童生徒に対する感染予防を講じた活動。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習プリントや授業DVDの配布、ZOOMによるオンライン学習。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習機会の保障のために、学習指導継続の取組（ICT機器の活用など）の推進が必要である。 感染拡大における看護師確保の問題。

第1回総合教育会議

困難な環境にある子どもたちの現状

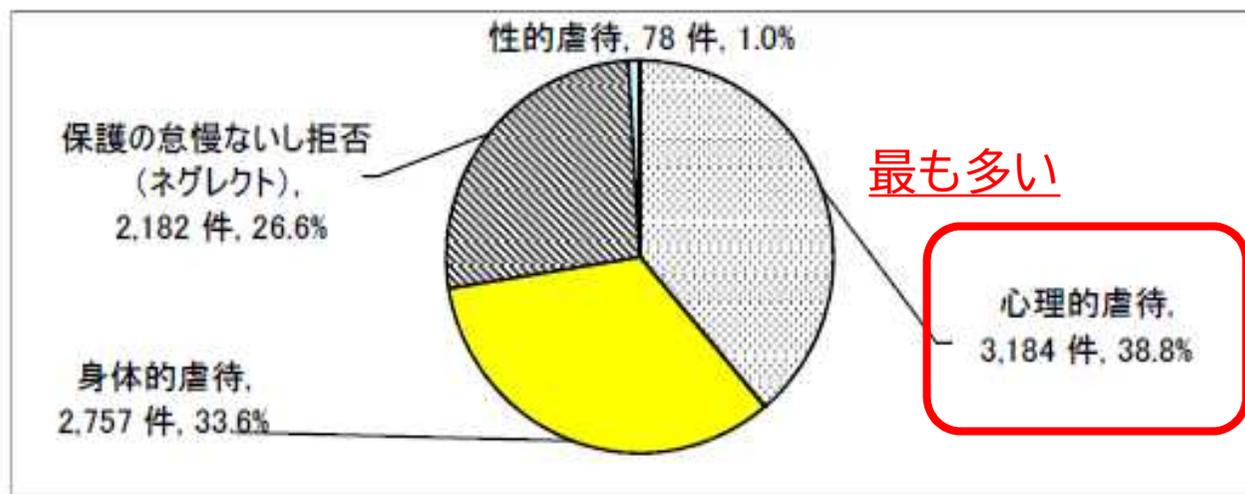
幼小中教育課
生徒指導・いじめ対策支援室

1. 虐待・貧困

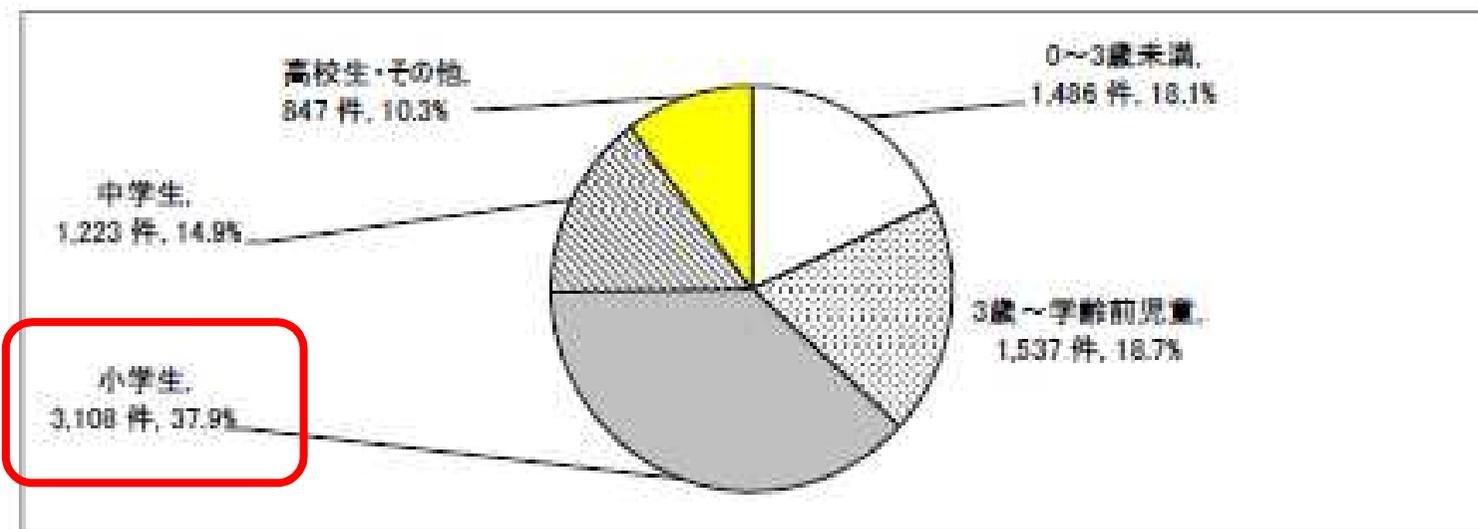
(1) 虐待相談件数 (滋賀県)



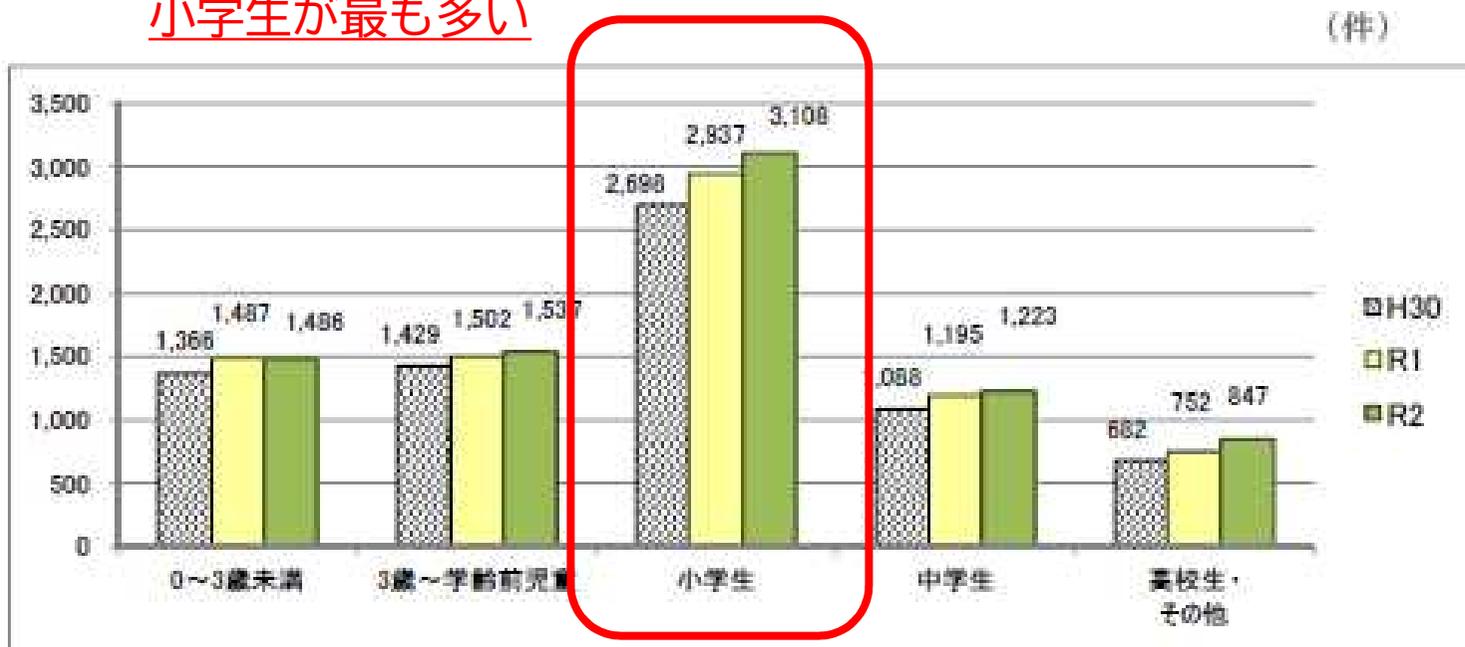
(2) 虐待種別 (滋賀県)



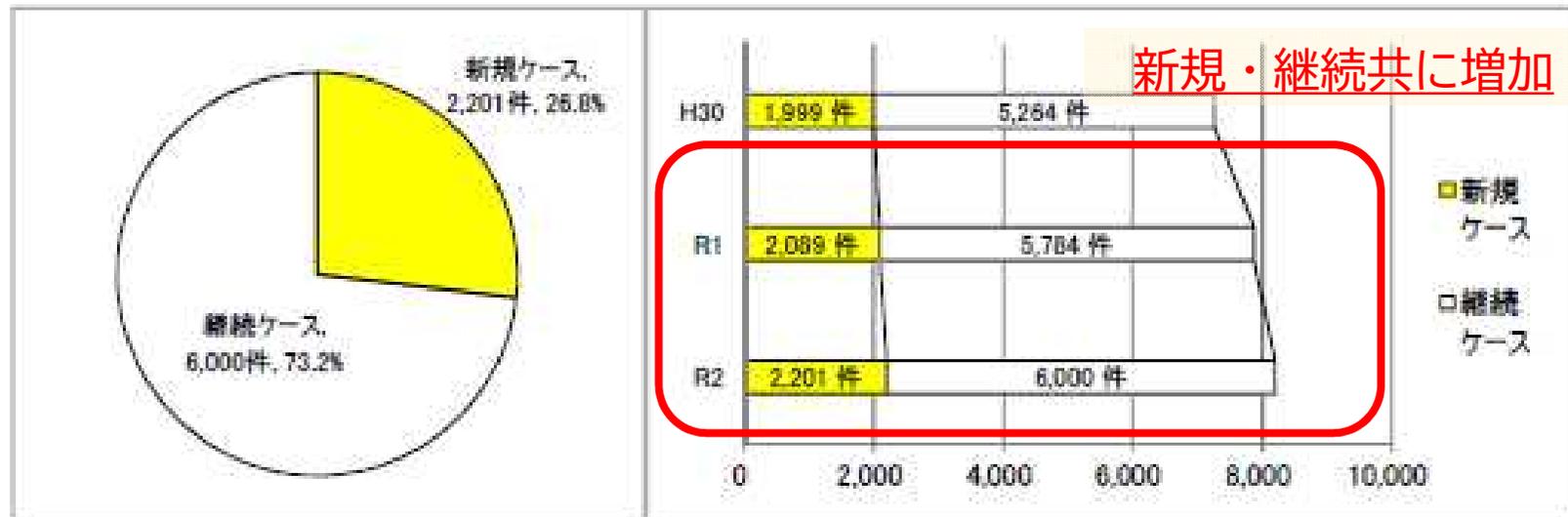
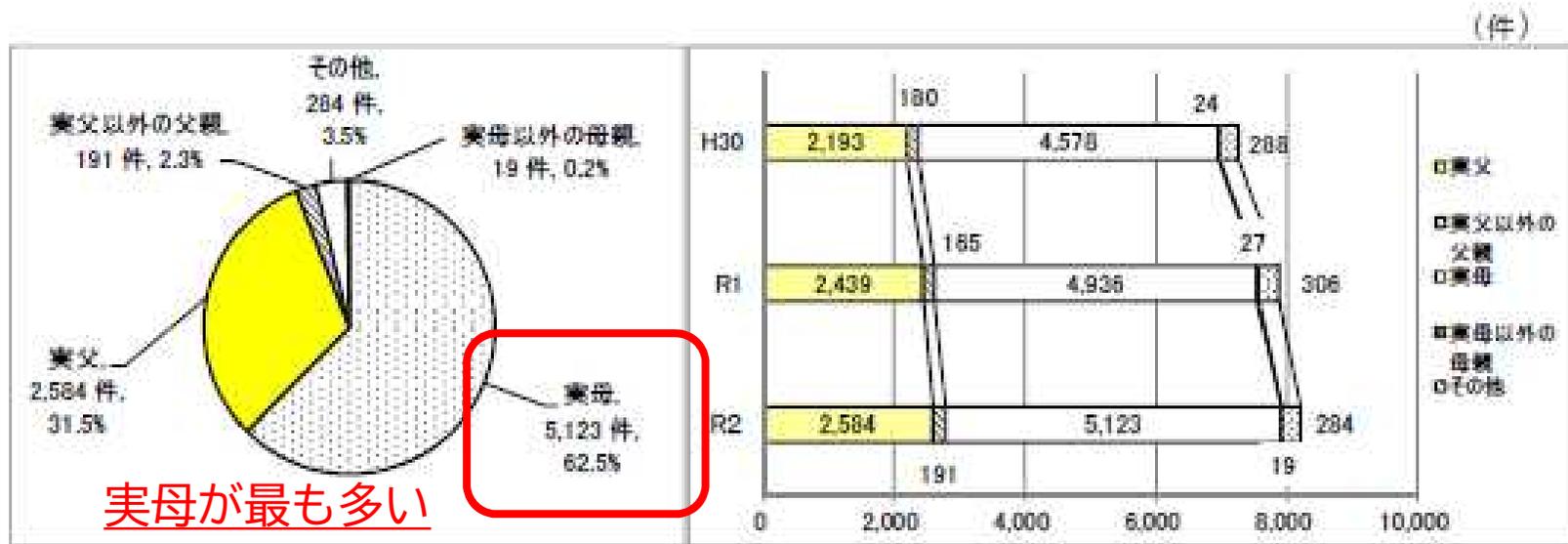
(3) 年齢別 (滋賀県)



小学生が最も多い



(4) 主な虐待者の内訳と新規・継続別割合 (滋賀県)



(5) 子どもの貧困率など

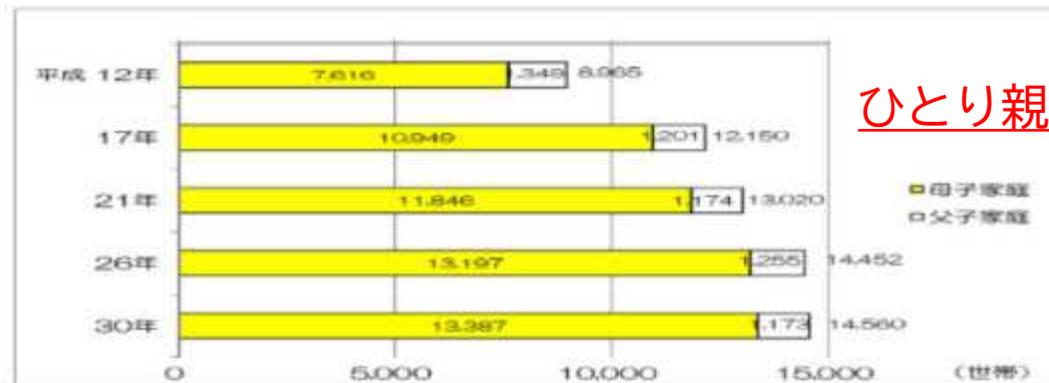
■相対的貧困率の年次推移 (全国)



約7人に1人は貧困状態

(出典) 厚生労働省 国民生活基礎調査結果

■ひとり親家庭等の世帯数の推移 (滋賀県)



ひとり親家庭の世帯数は増加

(出典) 滋賀子ども・若者プラン 令和2年(2020年)3月

ヤングケアラー

○令和2年度に、厚生労働省がヤングケアラーの実態把握のための調査を実施。

【全国の市町村の要保護児童対策地域協議会を対象とした調査結果】

「ヤングケアラー」という概念を

「認識している」が76.5%

「昨年度までは認識していなかったが、認識するようになった」が16.8%、

「認識していない」が6.6%

【中学生や高校生に対してのアンケート結果】

→「世話をしている家族がいる」と回答

中学生が5.7%（約17人に1人）

高校生が4.1%（約24人に1人）

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りを行っている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



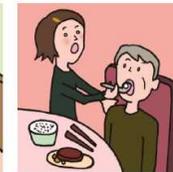
家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

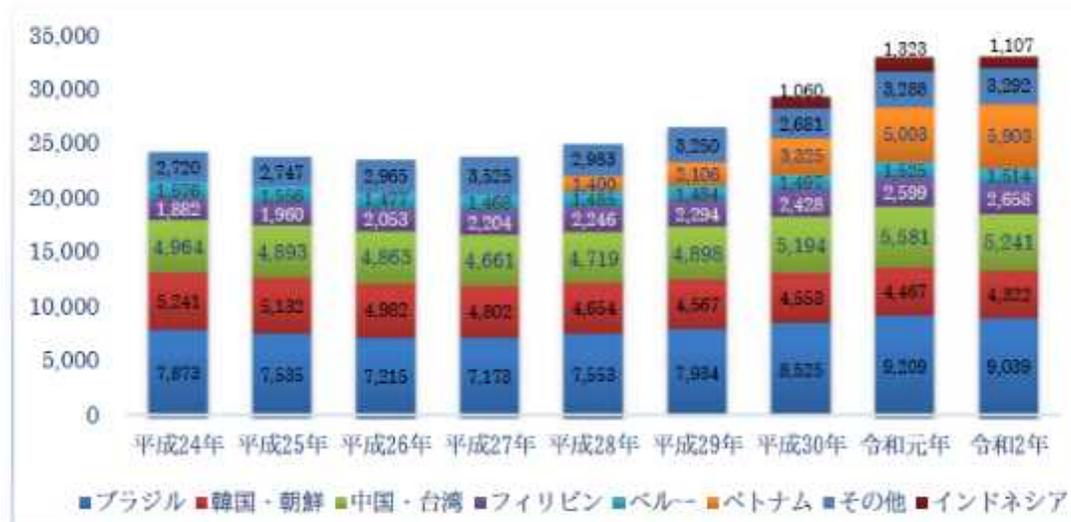


障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

2. 日本語指導が必要な 外国人児童生徒等

(1) 外国人人口の推移 (滋賀県)

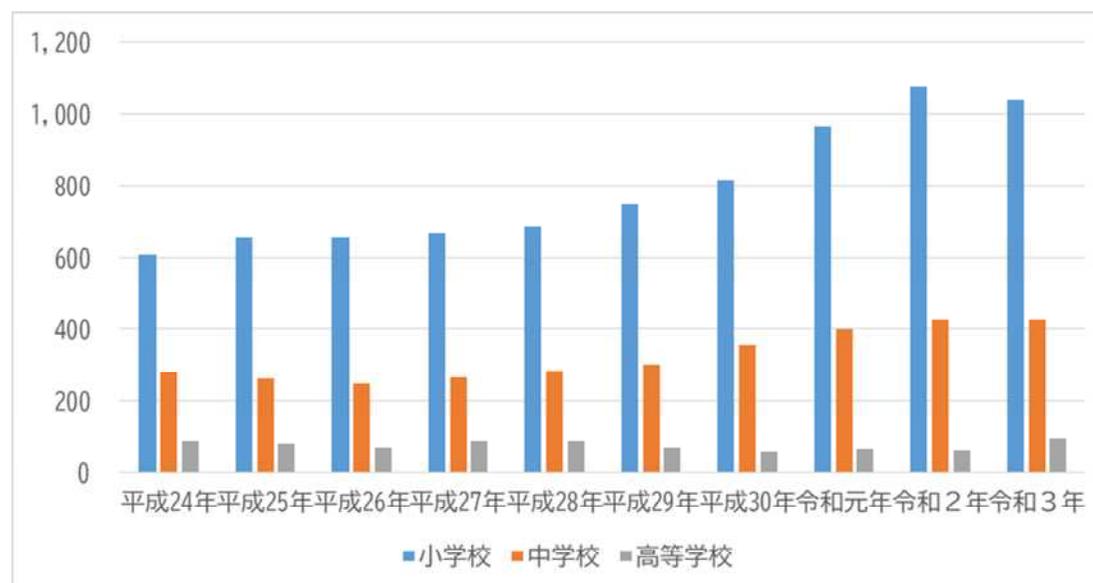
増加傾向にある



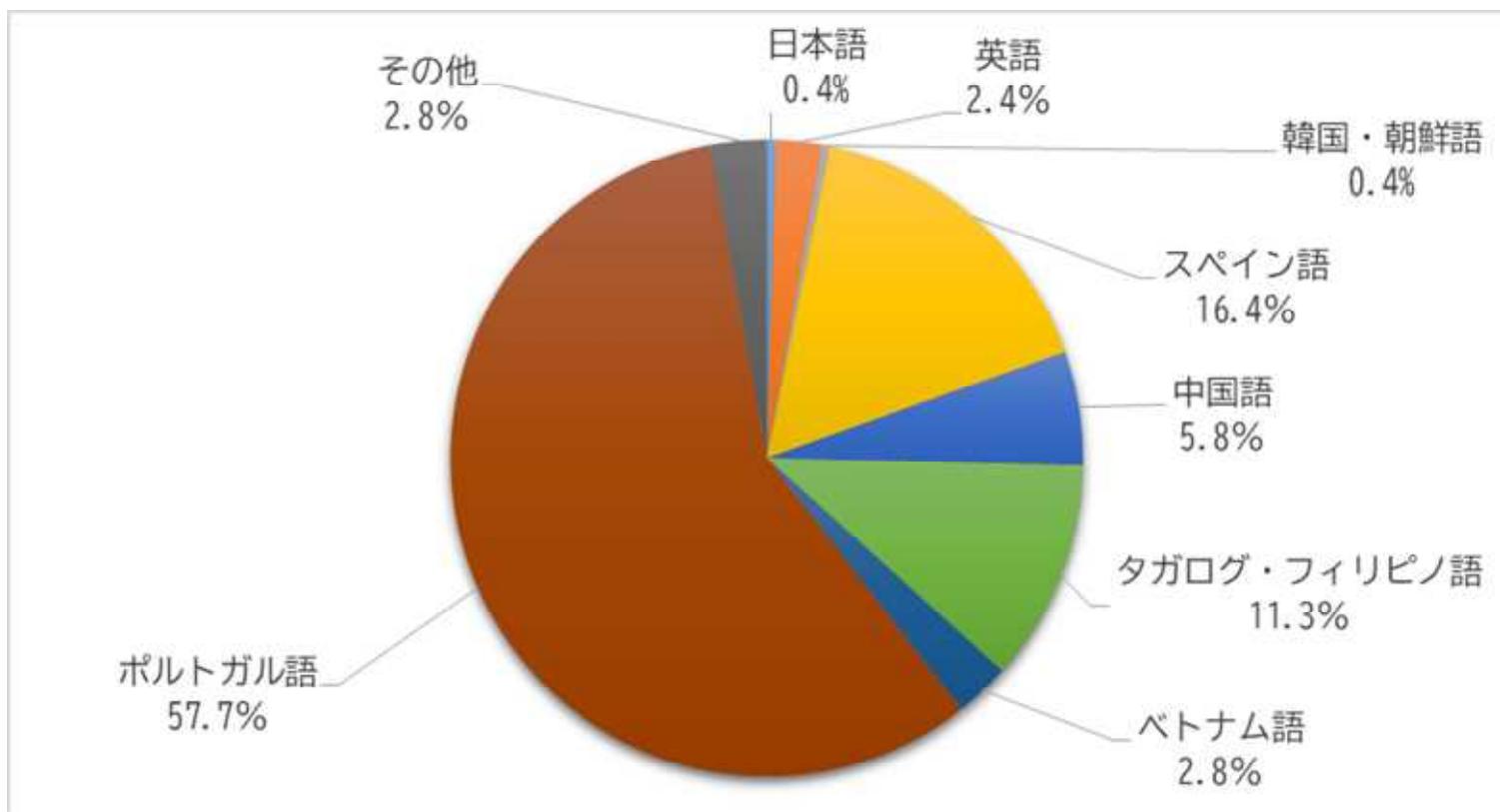
(出典) 住民基本台帳に基づく外国人人口 滋賀県総合企画部国際課 各年12月末現在

(2) 日本語指導が必要な 外国人児童生徒（等）の在籍数の変化 (滋賀県)

増加傾向にある



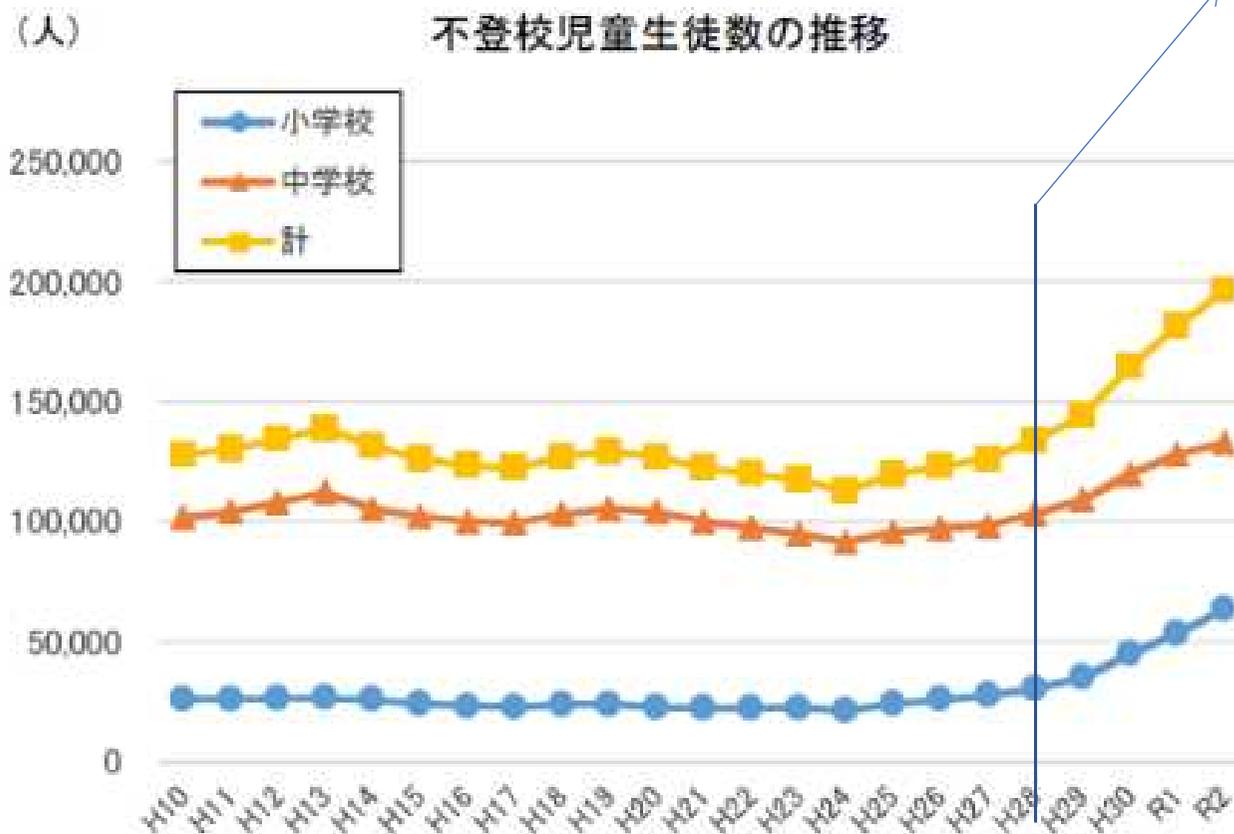
(3) 日本語指導が必要な児童生徒数の言語別割合 (滋賀県)



3. 不登校

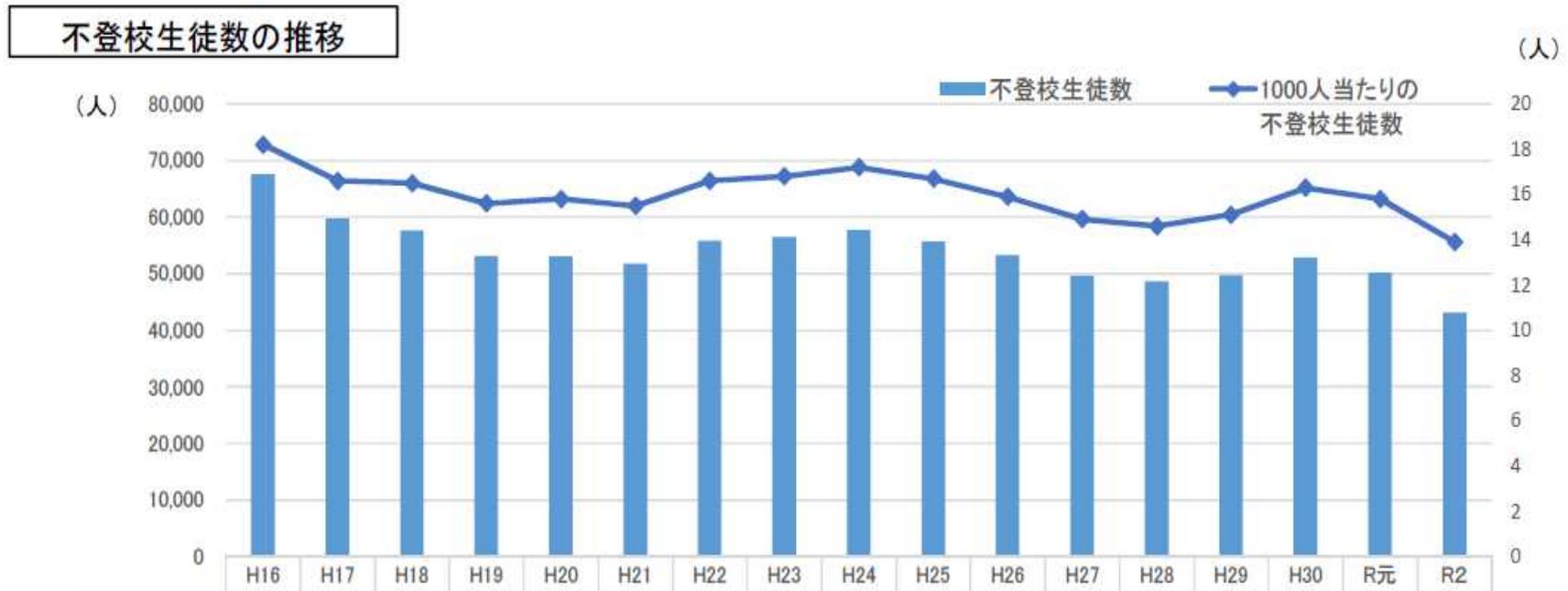
全国の小・中学校における不登校の状況について

平成28年12月教育の機会確保法制定
(平成29年2月施行)



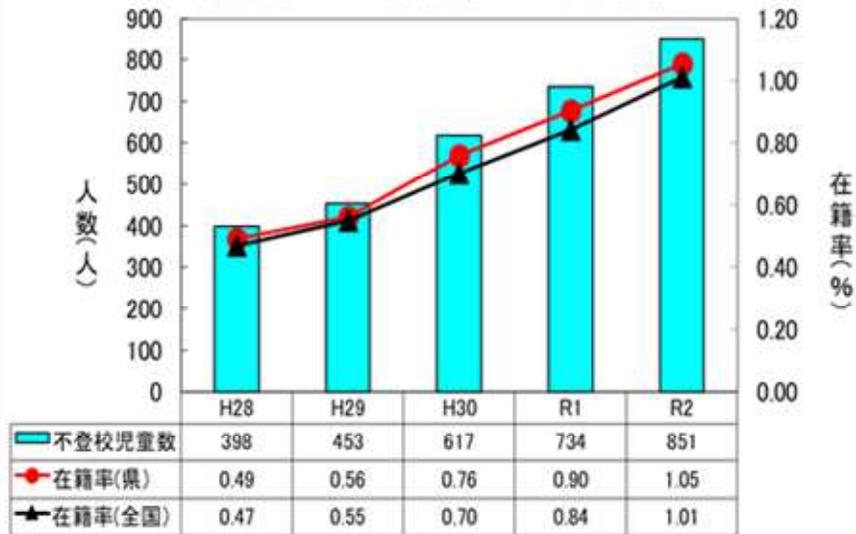
(文部科学省)
令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の
諸課題に関する調査結果の概要

全国の高等学校における不登校の状況について

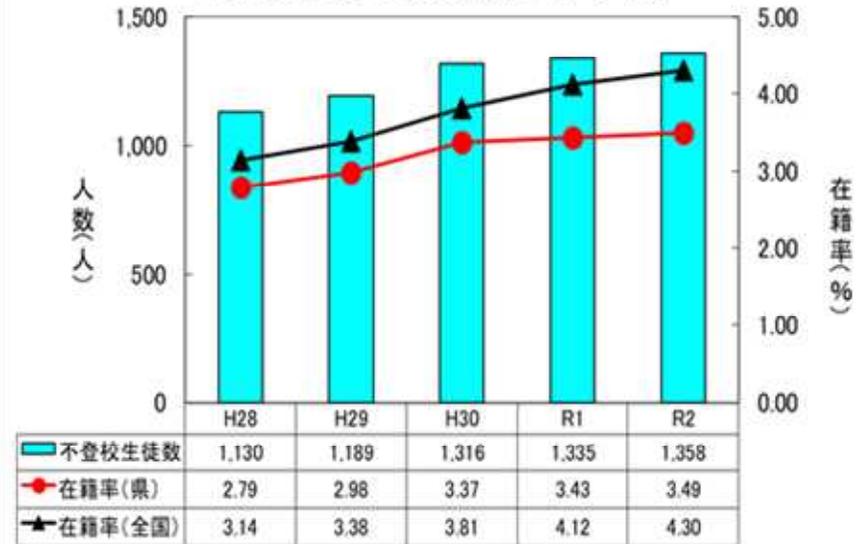


不登校児童生徒数の推移

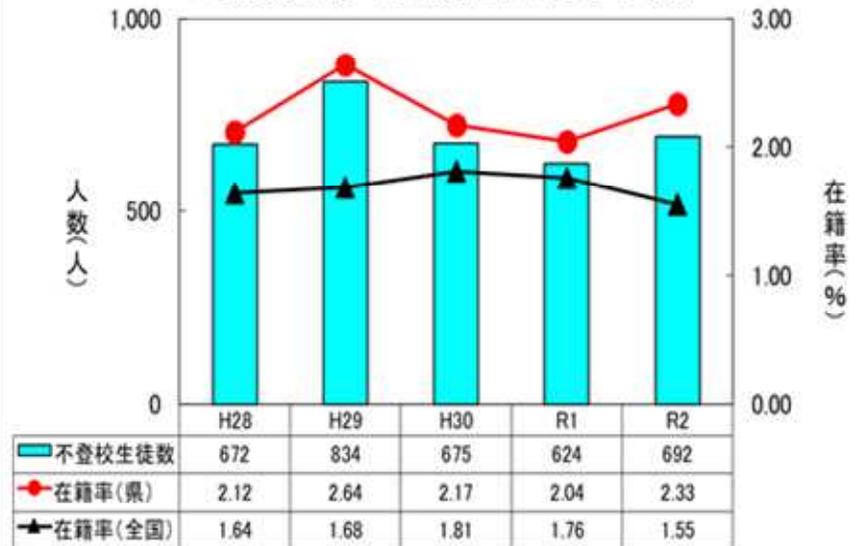
不登校児童の状況(公立小学校)



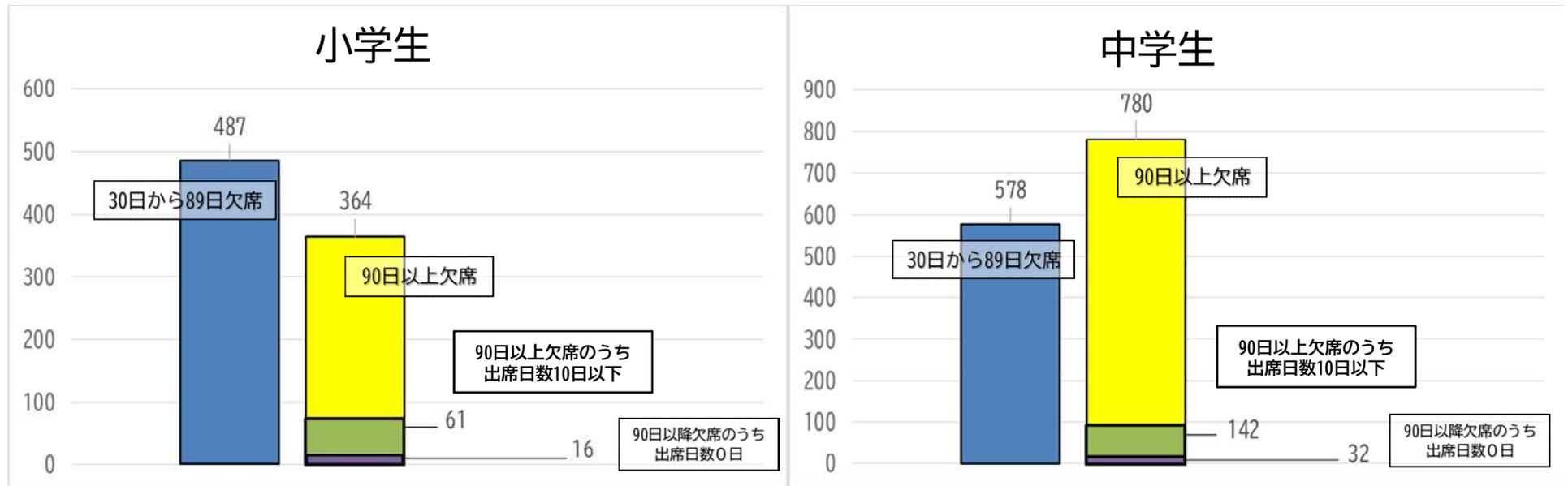
不登校生徒の状況(公立中学校)



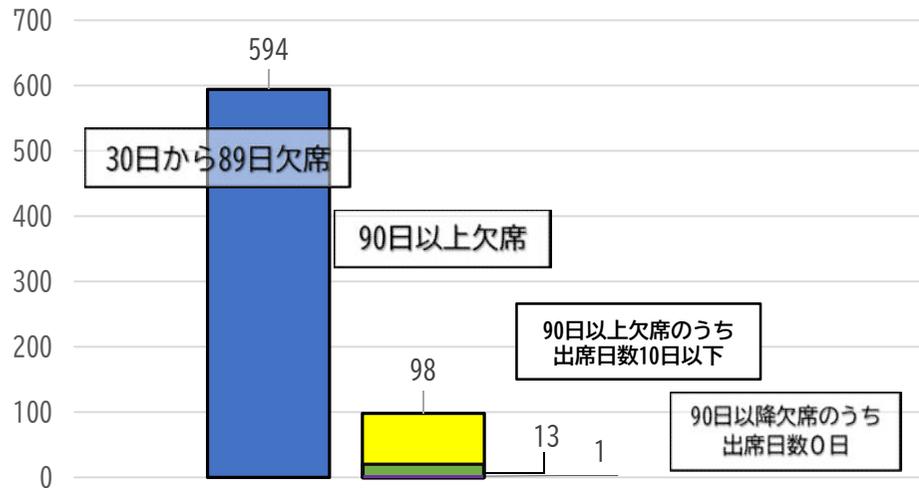
不登校生徒の状況(公立高等学校)



不登校児童生徒数の出席日数



高校生



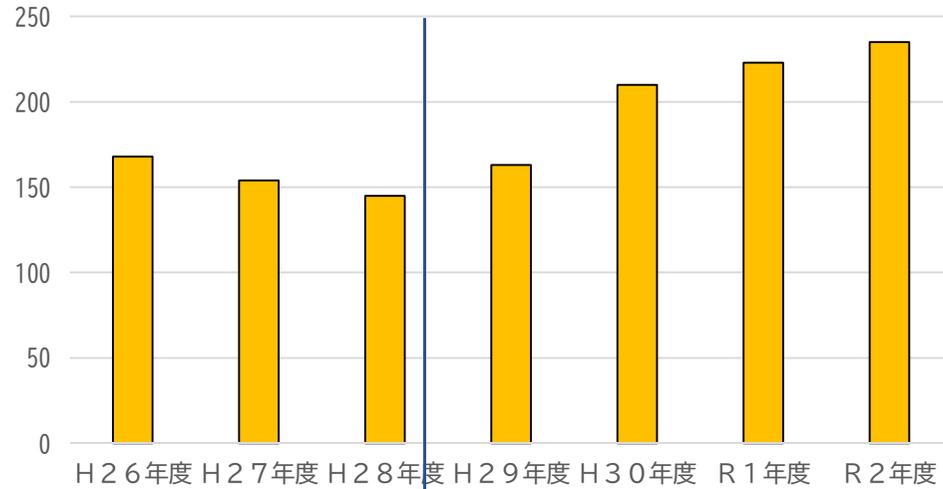
生徒指導・いじめ対策支援室作成

不登校の要因

区分		学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動，部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学，転編入学，進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力，不安	
小学校	人数(人)	0	40	14	23	3	0	6	16	21	131	16	111	443	27
	割合(%)	0.0	4.7	1.6	2.7	0.4	0.0	0.7	1.9	2.5	15.4	1.9	13.0	52.1	3.2
中学校	人数(人)	0	157	4	78	20	4	3	45	17	113	18	217	638	44
	割合(%)	0.0	11.6	0.3	5.7	1.5	0.3	0.2	3.3	1.3	8.3	1.3	16.0	47.0	3.2
高等学校(全日制)	人数(人)	2	63	4	80	24	2	4	55	8	22	12	72	209	1
	割合(%)	0.4	11.3	0.7	14.3	4.3	0.4	0.7	9.9	1.4	3.9	2.2	12.9	37.5	0.2
高等学校(定時制)	人数(人)	0	4	0	3	2	0	1	17	3	3	2	38	61	0
	割合(%)	0.0	3.0	0.0	2.2	1.5	0.0	0.7	12.7	2.2	2.2	1.5	28.4	45.5	0.0

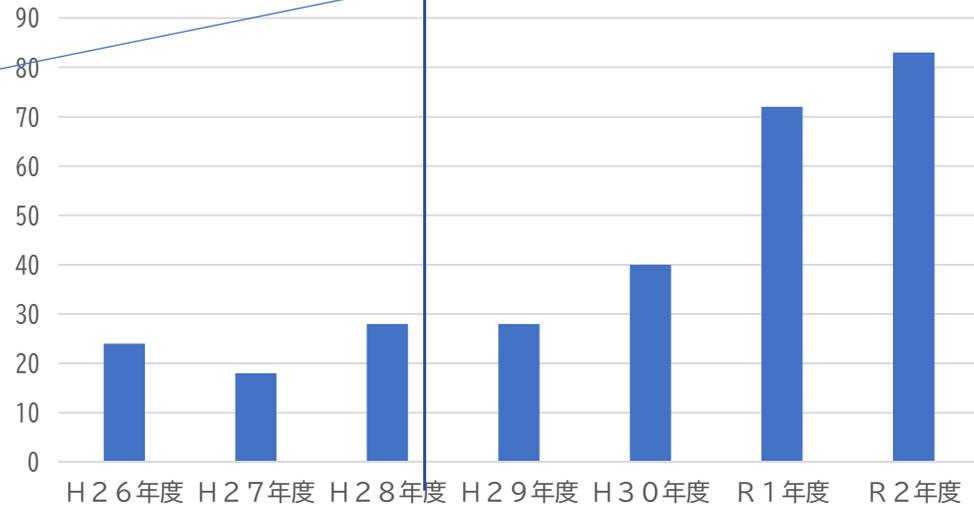
小中学生における関係機関連携

教育支援センター



平成28年12月教育の機会確保法制定
(平成29年2月施行)

民間団体・民間施設



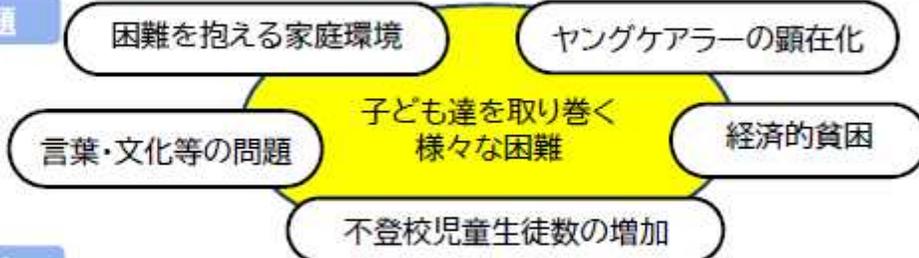
生徒指導・いじめ対策支援室作成

困難な環境にある子どもたちの学びへの支援 【予算額 214.2百万円】



Mother
Leisure

課題



施策の目的

子どもたちが一人ひとりの学びを深められる社会の実現
～様々な困難な状況にある子どもたちをサポート～

教育委員会事務局	
幼小中教育課	(内 4665)
生徒指導・いじめ対策支援室	(内 4668)
生涯学習課	(内 4654)

対応

様々な困難に対応する支援策

急激に変化する社会にあっても、子どもたちが、たくましく生きていけるよう、困難な環境にある子どもたちの学びへの支援を強化する。



スクールカウンセラー等活用事業【161.9百万円】

・スクールカウンセラーによる児童生徒への面談や心理授業等により、ストレスや不安を軽減し、いじめや不登校の未然防止、早期対応を促進。



スクールソーシャルワーカー活用事業【47.0百万円】

・スクールソーシャルワーカーによる福祉的な支援方法により、児童生徒を取り巻く環境の調整・改善を進め、個々の問題の解決を促進。

サポートの充実

家庭教育の基盤構築を支援する地域の人材育成事業【1.4百万円】

・地域の実態に応じた訪問型家庭教育支援モデルの構築・普及
・専門的な講座等による支援人材の育成・確保、支援体制の構築を推進



支援人材の育成

新 教育と福祉の連携による不登校対応支援体制整備事業【1.4百万円】

・学識経験者等による、不登校の背景・対応等を研究し、教員の資質向上のための研修を実施
・不登校等の課題に対してスクールソーシャルワーカーを活用し、教育と福祉の連携により対応する仕組づくりを普及、推進



支援体制整備の推進

新 外国人児童生徒等一人ひとりの学び支援事業【2.5百万円】

・母語支援員の派遣や、1人1台のパソコン端末等のICT機器を活用した言語支援
・教員の学校間のネットワーク化等を行いながら、一人ひとりの学びを保障



言語支援等の充実

基本構想実施計画1-(5) 子どもがたくましくしなやかに生きる力を身につけるための教育

滋賀県における「学ぶ力」と「読み解く力」の育成について

教育大綱および新学習指導要領の求める教育の理念に基づき、滋賀の子ども一人ひとりの基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、社会で生きていくために必要な「読み解く力」を高め、「学ぶ力」の向上を図ることで確かな学力を育成する。

- 平成31年度全国学力学習状況調査から
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得が不十分である子どもや、文章の趣旨を把握したり自分の考えを説明したりする力が十分身に付いていない。
 - 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答している子どもが、全国と比べて少ない。
 - 家庭で主体的に学習する習慣が身に付いていない。

- ・「学ぶ力向上滋賀プラン」(H27～)
 - ・「第Ⅱ期学ぶ力向上滋賀プラン」(H31～R5)
- 読み解く力の育成**

1人1台端末の活用(R3～)

「取組の重点」視点1～視点3

視点1 学びを実感できる 授業づくり

- 子ども一人ひとりの学びの状況に応じた基礎的・基本的な知識・技能の指導の充実
- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの推進・充実

★ICTの効果的な活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実

- POINT**
- 資質・能力の育成に向けた「教科等の指導力点」を意識する。
 - 校内研究(主題、内容等)に「読み解く力」を関連付けて授業改善を進める。
 - 学習評価の充実を図り、子ども一人ひとりの学びの状況を的確に把握し、「わかった」「できた」につながる「個別最適な学び」を進める。

- 学び意欲を引き出す
- 視点2 学習集団づくり**
- 生徒指導の3機能を生かした学習集団の基盤づくりと授業づくりの充実
- POINT**
- 自己存在感を高める。
 - 自己決定の場をつくる。
 - 共感的人間関係を育成する。
 - 学習集団づくりと「協働的な学び」の関連を図る。
- 生徒指導の3機能

- 視点3 子どものために一丸となって取り組む 学校づくり**
- 学校全体で組織的・継続的に実践する「学ぶ力」向上の取組の充実
- POINT**
- 管理職のリーダーシップのもと、学ぶ力向上推進リーダー等を中心に取組の重点を焦点化し、全ての教職員による「共通理解・共通実践」を図る。
 - 取組について、推進する組織を確立し、検証・改善する手立てを具体化し、実践について定期的確認する。
 - 計画的・継続的にOJ研修等を実施し、実務を振り返りながら教職員一人ひとりの自発的な成長を支援する。

県教育委員会の取組

- 学ぶ力向上学校訪問(R1～)
- 市町教育委員会担当者連携会議(R1～)
- 「読み解く力」指導力向上研修(R1～3)
- 個に応じた少人数指導推進事業(R1～)
- 「学ぶ力」検証モデル事業(R3～)
- 学びのステップアップ調査CBT化事業(R4～)

- 「ガッテンプリント」(補充教材)(H28～)
- 「学びの基礎チャレンジ」(H30～)
- 「学ぶ力」の向上につながる学校や市町の実践事例集(R1～)
- 「読み解く力」リーフレット、実践事例DVD(R2)
- 「読み解く力」校内研修パッケージ(R3)

取組を通じた成果と課題

令和4年度全国学力・学習状況調査や取組の報告より

成果

子どもの学びについて

- 資料の一部から必要な情報を引用したり、根拠を明確にして書くなど、「読み解く力」関連の設問において、改善の傾向がみられた。
- 他の子どもと積極的に意見を交流する場面がみられるようになり、他者との関わりの中で情報を引き出す力が培われてきた。
- 自分で調べ→友達の意見を取り入れ→もう一度自分の考えたことをまとめるといった一連の流れの中で、探究的な学びが進められている。
- 「自分にはよいところがある」と感じたり、「難しいことでも失敗を恐れず挑戦する」と感じたりできる子どもが増えつつある。また「友達と協力すること」は小中ともに94%近くの子どもの肯定的回答であり、「自分と違う意見」を楽しんでいる子どもは小中学校とも肯定的回答が72%以上を占め、改善傾向にある。
- 小学校国語・算数で、その教科が「大切だと思うか」「将来役に立つと思うか」といった肯定的回答が90%以上である。

教員の指導力について

- 主体的・対話的で深い学びにつながる授業構成から、子どもの力を引き出す授業改善に取り組んでいる。
- 子どもが目的意識をもち、発見や蓄積、分析や整理をし、自分の考えを再構築するといった、自分で主体的に答えを見つける取組につながっている。
- 読み解く力の育成に加え、効果的にICTを活用することで、「個別最適な学び」の充実につながる流れがつかれている。
- 「読み解く力」の育成と校内研究を関連付けている学校：小学校196校[89%]、中学校80校[84%]となっており、多くの学校で授業改善に向けた取組が行われている。
- 学校質問紙では、「授業において、子どもが、課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組むことができているか」の肯定的な回答が小学校で88%、中学校で83%となっている。



課題

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得が不十分である子どもに対して、詳細にわたり分析を行い、学校や地域の実情に合った取組を全校体制で進める必要がある。
- 小学校において記述式の問題に課題がみられたため、自分の考えをしっかりとまとめ、筋道を立て正しく書く取組を進める必要がある。
- 「読み解く力」視点の授業づくりのモデルプランの周知が進み、主体的・対話的で深い学びを意識した授業が増えたが、さらに実践と研究を積み、日常の授業において、しっかり取り組まれる必要がある。
- 子どもがしっかりと学びに向かえるよう、学校や家庭等の子どもを取り巻く環境をより良いものにするために、引き続き課題の整理と関係機関との連携が必要がある。
- 学びに向かうための支援がしっかりといきわたるよう、個々の子どものしっかりと見取りを行う必要がある。(個別の指導計画・個別の支援計画の活用)

1 学校数推移

年度	幼稚園					幼保連携型認定こども園					小学校							中学校													
	合計	国立		市町村立		私立	合計	国立		市町立		私立	合計	国立		市町村立		組合立	私立	合計	国立		市町村立		組合立	私立					
		本校	分校	本校	分校			本校	分校	本校	分校			本校	分校	本校	分校				本校	分校	本校	分校			本校	分校	本校	分校	本校
昭和30	49			33	33	16							309	1	307	208	99			1	100	1			79	67	12	18	17	1	2
31	61	1		44	44	16							309	1	307	208	99			1	103	1			87	70	17	13	13	2	
32	69	1		52	52	16							307	1	305	208	97			1	103	1			95	78	17	5	5	2	
33	70	1		53	53	16							304	1	302	207	95			1	106	1			98	78	20	5	5	2	
34	79	1		60	60	18							298	1	296	207	89			1	103	1			95	76	19	5	5	2	
35	81	1		63	63	17							292	1	290	206	84			1	103	1			96	77	19	4	4	2	
36	85	1		66	66	18							289	1	287	206	81			1	102	1			95	77	18	4	4	2	
37	88	1		69	69	18							288	1	286	206	80			1	98	1			93	77	16	2	2	2	
38	89	1		70	70	18							287	1	285	206	79			1	97	1			92	77	15	2	2	2	
39	95	1		74	74	20							279	1	277	206	71			1	94	1			89	78	11	2	2	2	
40	94	1		74	74	19							271	1	269	203	66			1	92	1			86	78	8	2	2	2	
41	97	1		76	76	20							267	1	265	203	62			1	91	1			86	77	9	2	2	2	
42	101	1		80	80	20							256	1	254	198	56			1	91	1			86	77	9	2	2	2	
43	104	1	1	83	83	19							251	1	249	196	53			1	89	1			84	76	8	2	2	2	
44	107	1	1	86	86	19							244	1	242	196	46			1	86	1			81	74	7	2	2	2	
45	121	1	1	98	96	2	21						239	1	237	195	42			1	84	1			79	73	6	2	2	2	
46	131	1	1	107	104	3	22						232	1	230	194	36			1	84	1			79	73	6	2	2	2	
47	135	1	1	111	106	5	22						230	1	228	194	34			1	84	1			78	72	6	3	2	1	2
48	140	1	1	116	109	7	22						235	1	233	197	36			1	84	1			78	72	6	3	2	1	2
49	145	1	1	122	115	7	21						236	1	234	198	36			1	84	1			78	72	6	3	2	1	2
50	149	1	1	126	119	7	21						237	1	235	200	35			1	85	1			81	77	4	1	1	2	
51	153	1	1	131	124	7	20						236	1	234	201	33			1	84	1			80	77	3	1	1	2	
52	157	1	1	135	128	7	20						237	1	235	203	32			1	83	1			79	77	2	1	1	2	
53	164	1	1	142	135	7	20						237	1	235	205	30			1	84	1			81	79	2	1	1	2	
54	171	1	1	148	142	6	21						239	1	237	209	28			1	85	1			81	79	2	1	1	2	
55	171	1	1	147	142	5	22						241	1	239	214	25			1	86	1			82	80	2	1	1	2	
56	174	1	1	150	145	5	22						240	1	238	215	23			1	87	1			83	81	2	1	1	2	
57	175	1	1	151	146	5	22						240	1	238	216	22			1	88	1			85	83	2	2	2	2	
58	176	1	1	151	147	4	23						239	1	237	218	19			1	91	1			88	86	2	2	2	2	
59	175	1	1	150	146	4	23						241	1	239	220	19			1	94	1			91	89	2	2	2	2	
60	176	1	1	150	146	4	24						241	1	239	221	18			1	95	1			92	90	2	2	2	2	
61	177	1	1	150	146	4	25						239	1	237	220	17			1	95	1			92	90	2	2	2	2	
62	179	1	1	152	148	4	25						240	1	238	221	17			1	99	1			96	94	2	2	2	2	
63	180	1	1	153	149	4	25						241	1	239	223	16			1	101	1			97	95	2	2	3	3	
平成元	183	1	1	155	151	4	26						243	1	241	225	16			1	101	1			97	95	2	2	3	3	
2	185	1	1	157	153	4	26						245	1	243	228	15			1	101	1			97	95	2	2	3	3	
3	184	1	1	156	151	5	26						245	1	243	228	15			1	102	1			98	96	2	2	3	3	
4	185	1	1	157	152	5	26						246	1	244	229	15			1	103	1			99	97	2	2	3	3	
5	186	1	1	158	153	5	26						242	1	240	229	11			1	103	1			99	97	2	2	3	3	
6	187	1	1	159	154	5	26						241	1	239	229	10			1	104	1			100	98	2	2	3	3	
7	189	1	1	161	155	6	26						241	1	239	230	9			1	104	1			100	98	2	2	3	3	
8	190	1	1	163	157	6	26						241	1	239	232	7			1	104	1			100	98	2	2	3	3	
9	190	1	1	163	157	6	26						240	1	238	232	6			1	104	1			100	98	2	2	3	3	
10	191	1	1	163	157	6	27						238	1	236	230	6			1	105	1			101	99	2	2	3	3	
11	192	1	1	164	158	6	27						238	1	236	231	5			1	104	1			100	99	1	1	3	3	
12	191	1	1	163	157	6	27						238	1	236	231	5			1	104	1			100	99	1	1	3	3	
13	191	1	1	163	159	4	27						237	1	235	230	5			1	104	1			100	99	1	1	3	3	
14	193	1	1	165	161	4	27						237	1	235	230	5			1	103	1			99	98	1	1	3	3	
15	194	1	1	166	162	4	27						239	1	237	232	5			1	107	1	3	3	99	98	1	1	4	4	
16	190	1	1	163	158	5	26						238	1	236	232	4			1	106	1	3	3	98	97	1	1	4	4	
17	190	1	1	163	158	5	26						236	1	234	230	4			1	106	1	3	3	98	97	1	1	4	4	
18	189	1	1	163	158	5	25						237	1	235	231	4			1	106	1	3	3	98	97	1	1	4	4	
19	188	1	1	162	157	5	25						237	1	235	231	4			1	107	1	3	3	98	97	1	1	5	5	
20	190	1	1	164	158	6	25						236	1	234	231	3			1	107	1	3	3	98	97	1	1	5	5	
21	192	1	1	166	160	6	25						235	1	233	230	3			1	107	1	3	3	98	97	1	1	5	5	
22	192	1	1	164	158	6	27						236	1	234	231	3			1	107	1	3	3	98	97	1	1	5	5	
23	193	1	1	163	158	5	29						235	1	233	230	3			1	107	1	3	3	98	97	1	1	5	5	
24	194	1	1	162	157	5	31						233	1	231	229	2			1	107	1	3	3	98	97	1	1	5	5	
25	193	1	1	159	155	4	33						231	1	229	228	1			1	107	1	3	3	97	97	1	1	6	6	
26	193	1	1	159	155	4	33						230	1	228	227	1			1	107	1	3	3	97	97	1	1	6	6	
27	160	1	1	139	135	4	20	41		19	19	22	227	1	225	225				1	107	1	3	3	97	97	1	1	6	6	
28	156	1	1	135	133	2	20	52		24	24	28	227	1	225	225				1	107	1	3	3	97	97	1	1	6		

義務教育 学校			高 等 学 校												中等教育 学校		特別支援学校						年 度				
合 計	市町村立 本校	合 計	全 日 制						定 時 制						通 信 制		合 計		盲 聾		養 護						
			計	県立 本校	立 分校	市町村立 本校	私 立 本校	私 立 分校	計	県立 本校	私 立 分校	計	県立 本校	私 立 本校	合 計	私 立 本校	合 計	県立 本校	県立 本校	計	国立 本校	県 立 計		立 本校	立 分校		
																										計	本校
			42(13)	25	22	22		3	3	16(12)	12(11)	11(11)	1	4(1)	3(1)	1	1(1)	1(1)		2	1	1			昭和30		
			43(14)	26	23	22	1	3	3	16(13)	12(12)	11(11)	1(1)	4(1)	3(1)	1	1(1)	1(1)		2	1	1			31		
			43(15)	27	23	22	1	4	4	15(14)	12(12)	11(11)	1(1)	3(2)	3(2)		1(1)	1(1)		2	1	1			32		
			41(12)	28	24	23	1	4	4	12(11)	9(9)	8(8)	1(1)	3(2)	3(2)		1(1)	1(1)		2	1	1			33		
			42(12)	29	24	23	1	1	4	4	12(11)	10(10)	9(9)	1(1)	2(1)	2(1)		1(1)	1(1)		2	1	1			34	
			42(12)	29	24	23	1	1	4	4	12(11)	10(10)	9(9)	1(1)	2(1)	2(1)		1(1)	1(1)		2	1	1			35	
			42(11)	30	25	24	1	1	4	4	11(10)	9(9)	9(9)		2(1)	2(1)		1(1)	1(1)		2	1	1			36	
			42(11)	30	25	24	1	1	4	4	11(10)	9(9)	9(9)		2(1)	2(1)		1(1)	1(1)		2	1	1			37	
			46(11)	34	29	28	1	1	4	4	11(10)	9(9)	9(9)		2(1)	2(1)		1(1)	1(1)		2	1	1			38	
			46(11)	34	29	28	1	1	4	4	11(10)	9(9)	9(9)		2(1)	2(1)		1(1)	1(1)		2	1	1			39	
			44(8)	34	29	28	1	1	4	4	9(7)	6(6)	6(6)		3(1)	3(1)		1(1)	1(1)		2	1	1			40	
			46(8)	36	30	28	2	1	5	4	1	9(7)	6(6)	6(6)		3(1)	3(1)		1(1)	1(1)		2	1	1			41
			48(9)	36	30	28	2	1	5	4	1	11(8)	6(6)	6(6)		5(2)	3(1)	2(1)		1(1)	1(1)				42		
			49(9)	36	30	28	2	1	5	4	1	12(8)	7(6)	7(6)		5(2)	3(1)	2(1)		1(1)	1(1)				43		
			49(7)	36	30	28	2	1	5	4	1	12(6)	7(4)	7(4)		5(2)	3(1)	2(1)		1(1)	1(1)		1	1	44		
			49(7)	36	30	28	2	1	5	4	1	12(6)	7(4)	7(4)		5(2)	3(1)	2(1)		1(1)	1(1)				45		
			48(6)	36	30	28	2	1	5	4	1	11(5)	6(3)	6(3)		5(2)	3(1)	2(1)		1(1)	1(1)		1	1	46		
			48(6)	36	30	28	2	1	5	4	1	11(5)	6(3)	6(3)		5(2)	3(1)	2(1)		1(1)	1(1)		1	1	47		
			48(6)	36	30	30		1	5	4	1	11(5)	6(3)	6(3)		5(2)	3(1)	2(1)		1(1)	1(1)		1	1	48		
			51(6)	39	33	33		1	5	4	1	11(5)	6(3)	6(3)		5(2)	3(1)	2(1)		1(1)	1(1)		3	2	49		
			51(5)	40	35	35		1	4	4		10(4)	6(3)	6(3)		4(1)	3(1)	1		1(1)	1(1)		4	3	50		
			52(5)	41	36	36		1	4	4		10(4)	6(3)	6(3)		4(1)	3(1)	1		1(1)	1(1)		5	4	51		
			52(5)	41	36	36		1	4	4		10(4)	6(3)	6(3)		4(1)	3(1)	1		1(1)	1(1)		5	4	52		
			53(5)	42	37	37		1	4	4		10(4)	6(3)	6(3)		4(1)	3(1)	1		1(1)	1(1)		6	1	53		
			53(5)	42	37	37		1	4	4		10(4)	6(3)	6(3)		4(1)	3(1)	1		1(1)	1(1)		9	1	54		
			52(4)	42	37	37		1	4	4		9(3)	6(3)	6(3)		3	2	1		1(1)	1(1)		9	1	55		
			53(4)	43	38	38		1	4	4		9(3)	6(3)	6(3)		3	2	1		1(1)	1(1)		9	1	56		
			53(4)	43	38	38		1	4	4		9(3)	6(3)	6(3)		3	2	1		1(1)	1(1)		9	1	57		
			58(4)	48	43	43		1	4	4		9(3)	6(3)	6(3)		3	2	1		1(1)	1(1)		9	1	58		
			60(4)	50	44	44		1	5	5		9(3)	6(3)	6(3)		3	2	1		1(1)	1(1)		9	1	59		
			60(4)	50	44	44		1	5	5		9(3)	6(3)	6(3)		3	2	1		1(1)	1(1)		9	1	60		
			60(4)	50	44	44		1	5	5		9(3)	6(3)	6(3)		3	2	1		1(1)	1(1)		9	1	61		
			61(4)	51	45	45		1	5	5		9(3)	6(3)	6(3)		3	2	1		1(1)	1(1)		9	1	62		
			61(4)	52	45	45		1	6	6		8(3)	6(3)	6(3)		2	1	1		1(1)	1(1)		9	1	63		
			61(4)	52	45	45		1	6	6		8(3)	6(3)	6(3)		2	1	1		1(1)	1(1)		9	1	平成元		
			61(4)	52	45	45		1	6	6		8(3)	6(3)	6(3)		2	1	1		1(1)	1(1)		9	1	2		
			61(4)	52	45	45		1	6	6		8(3)	6(3)	6(3)		2	1	1		1(1)	1(1)		10	1	3		
			64(5)	52	45	45		1	6	6		10(3)	8(3)	7(3)		1	2	1		1	2(2)	2(2)		10	1	4	
			64(5)	52	45	45		1	6	6		10(3)	8(3)	7(3)		1	2	1		1	2(2)	2(2)		10	1	5	
			61(6)	52	45	45		1	6	6		9(3)	8(3)	7(3)		1	1	1		3(3)	2(2)	1(1)		10	1	6	
			61(5)	52	45	45		1	6	6		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		2(2)	1(1)	1(1)		10	1	7	
			63(5)	53	46	46		1	6	6		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	8	
			63(5)	53	46	46		1	6	6		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	9	
			64(5)	54	46	46		1	7	7		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	10	
			64(5)	54	46	46		1	7	7		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	11	
			64(5)	54	46	46		1	7	7		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	12	
			64(5)	54	46	46		1	7	7		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	13	
			64(5)	54	46	46		1	7	7		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	14	
			64(5)	54	46	46		1	7	7		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	15	
			64(5)	54	46	46		1	7	7		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	16	
			64(5)	54	46	46		1	7	7		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	17	
			64(5)	54	46	46		8	8		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	18		
			64(5)	54	46	46		8	8		7(3)	6(3)	5(3)		1	1	1		3(2)	1(1)	2(1)		11	1	19		
			66(6)	55	46	46		9	9		7(4)	6(3)	5(3)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	20		
			66(6)	55	46	46		9	9		7(4)	6(3)	5(3)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	21		
			66(6)	55	46	46		9	9		7(4)	6(3)	5(3)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	22		
			66(6)	55	46	46		9	9		7(4)	6(3)	5(3)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	23		
			66(6)	55	46	46		9	9		7(4)	6(3)	5(3)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	24		
			67(6)	56	46	46		10	10		7(4)	6(3)	5(3)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	25		
			69(8)	56	46	46		10	10		9(6)	8(5)	7(5)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	26		
			69(8)	56	46	46		10	10		9(6)	8(5)	7(5)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	27		
			71(8)	58	48	48		10	10		9(6)	8(5)	7(5)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	28		
			69(7)	58	48	48		10	10		7(5)	6(4)	5(4)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	29		
			1	1	1	65(7)	54	44	44		10	10	7(5)	6(4)	5(4)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	30
			1	1	1	65(7)	54	44	44		10	10	7(5)	6(4)	5(4)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	令和元
			2	2	2	65(7)	54	44	44		10	10	7(5)	6(4)	5(4)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	2
			2	2	2	65(7)	54	44	44		10	10	7(5)	6(4)	5(4)		1	1(1)	1(1)		4(2)	1(1)	3(1)		11	1	3

(注) ()内は内数で、複数の課程の併置校である。
平成19年4月1日から、法律改正により盲・聾・養護学校は特別支援学校となった。

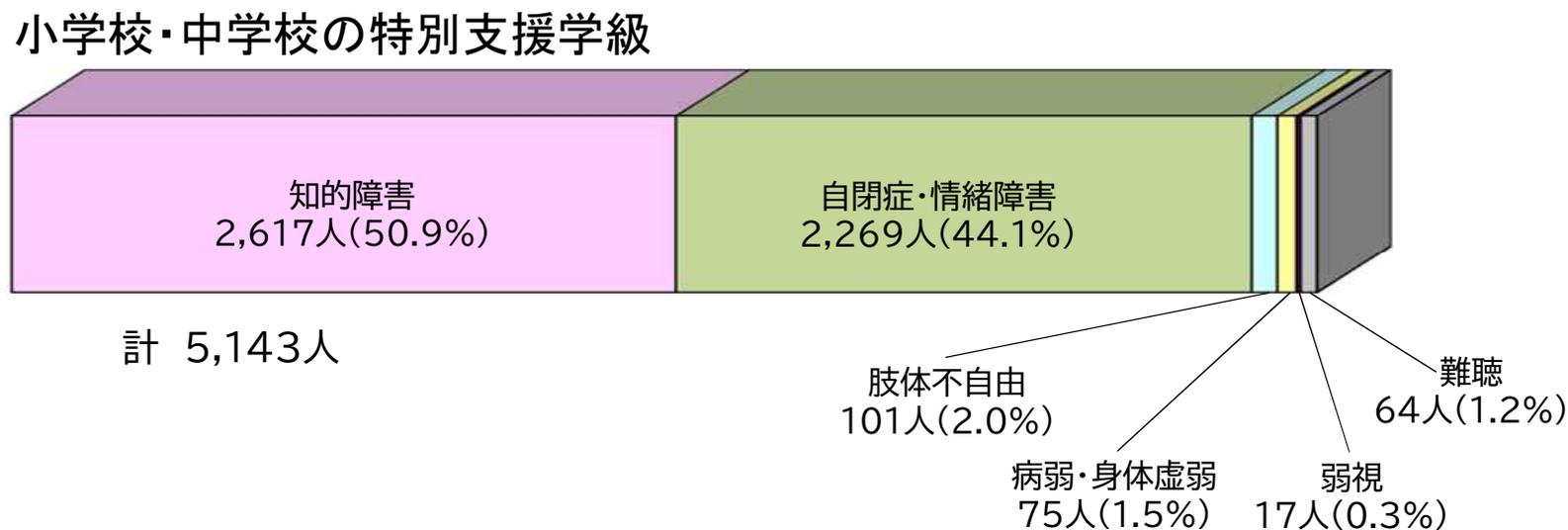
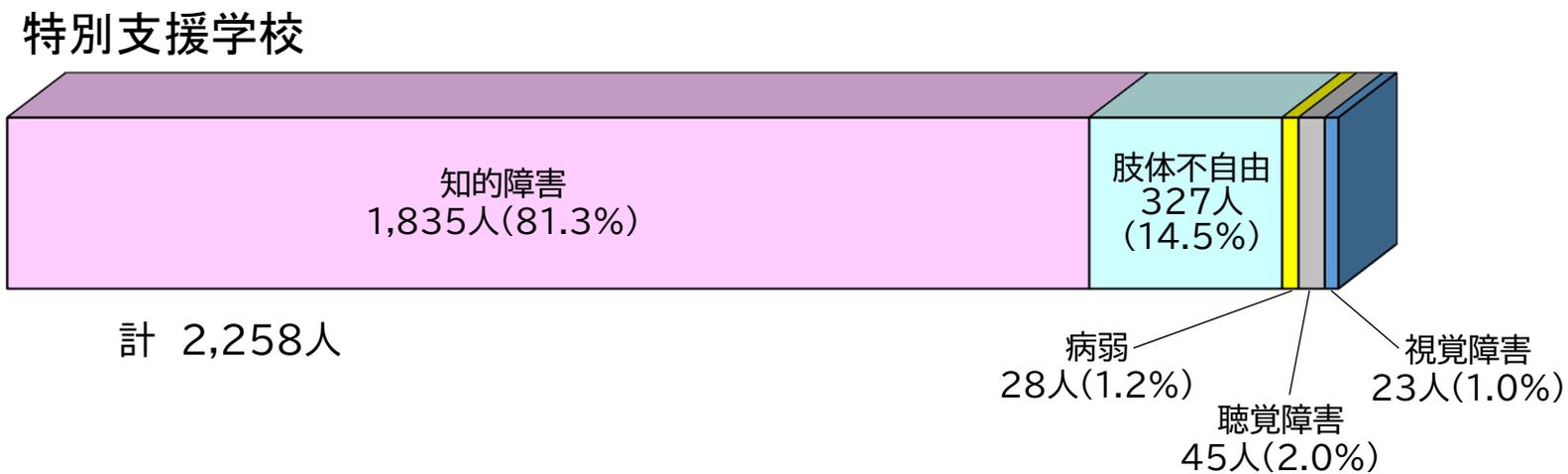
2 園児・児童・生徒数推移

(単位:人)

年度	幼稚園		幼保連携型 認定こども園		小学校		中学校		義務 教育 学校	高等学校 (全日制)		高等学校 (定時制)		高等学校 (通信制)		中等 教育 学校	特別 支援 学校	
	うち 市町村立	うち 市町村立	うち 市町村立	うち 市町村立	うち市町村 (組合)立	うち市町村 (組合)立	うち 県立	うち 県立		うち 県立	うち 県立	うち 県立	うち 県立	うち 県立				
昭和30	6,202	4,941			110,469	109,668	56,451	55,597		16,563	15,076	3,767	2,295	329	329			347
31	6,636	5,359			112,142	111,320	56,156	55,304		17,642	16,055	3,417	2,845	250	250			353
32	6,372	5,128			114,462	113,616	53,143	52,302		19,227	17,133	2,889	2,410	290	290			359
33	6,320	5,024			118,965	118,116	46,111	45,306		20,552	18,036	2,492	2,163	316	316			358
34	6,431	4,963			116,943	116,073	44,912	44,088		21,551	18,342	2,600	2,214	429	429			357
35	6,605	5,133			109,518	108,665	50,649	49,740		22,007	18,583	2,726	2,048	422	422			329
36	7,013	5,367			101,388	100,557	60,991	59,925		21,236	18,130	2,423	1,867	451	451			321
37	7,320	5,526			94,763	93,937	64,364	63,228		22,504	19,183	2,446	1,679	469	469			314
38	7,665	5,690			88,995	88,166	61,573	60,499		27,071	23,274	2,217	1,679	553	553			299
39	9,007	6,801			84,915	84,103	56,056	55,083		33,141	28,318	2,313	1,684	812	812			301
40	9,019	6,757			83,166	82,331	51,122	50,254		36,637	31,604	2,582	1,811	1,080	1,080			288
41	9,507	7,015			81,535	80,680	46,771	45,962		36,865	31,590	2,456	1,782	1,101	1,101			271
42	10,051	7,669			80,069	79,220	44,469	43,703		35,468	30,313	2,457	1,663	1,088	1,088			243
43	10,807	8,282			79,181	78,329	42,812	42,060		33,939	28,891	2,480	1,696	1,075	1,075			240
44	11,268	8,640			79,200	78,358	41,499	40,762		32,418	27,606	2,561	1,752	1,002	1,002			279
45	12,505	9,820			80,184	79,345	40,022	39,236		31,832	27,073	2,706	1,854	987	987			276
46	12,547	9,842			80,975	80,148	40,247	39,459		31,840	26,892	2,841	1,921	940	940			272
47	13,160	10,306			81,530	80,720	40,373	39,577		31,784	26,763	2,728	1,861	1,000	1,000			276
48	16,041	13,001			81,354	80,542	40,979	40,225		31,744	26,616	2,653	1,822	994	994			285
49	17,320	14,381			84,447	83,620	40,361	39,575		32,848	27,526	2,583	1,781	946	946			381
50	18,297	15,374			88,058	87,226	40,749	39,958		34,098	28,799	2,285	1,625	925	925			493
51	19,737	16,926			91,024	90,192	41,570	40,771		35,173	29,983	2,052	1,482	937	937			625
52	21,242	18,363			94,846	94,010	43,135	42,334		35,249	30,327	1,769	1,261	915	915			660
53	22,382	19,394			99,871	99,024	43,645	42,873		35,658	30,842	1,445	1,109	919	919			717
54	23,042	20,018			107,067	106,220	42,968	42,213		36,391	31,585	1,416	1,023	960	960			885
55	22,878	19,889			111,513	110,652	44,830	44,090		37,555	32,628	1,495	1,122	1,002	1,002			896
56	21,792	18,884			114,988	114,123	47,907	47,137		37,906	32,968	1,525	1,163	1,031	1,031			901
57	21,390	18,436			117,841	116,986	51,772	50,942		37,247	32,375	1,514	1,167	1,030	1,030			948
58	21,128	17,983			118,432	117,567	53,685	52,823		38,631	33,830	1,513	1,199	921	921			969
59	20,501	17,272			117,915	117,058	55,792	54,905		41,499	36,375	1,306	1,053	939	939			984
60	19,622	16,227			115,664	114,797	58,848	57,931		44,665	39,303	1,287	978	1,033	1,033			1,016
61	19,204	15,618			112,597	111,735	60,677	59,685		46,588	41,118	1,305	961	1,172	1,172			988
62	18,991	15,374			109,026	108,161	61,712	60,679		48,440	42,873	1,227	850	1,256	1,256			996
63	19,217	15,533			106,068	105,182	60,817	59,618		51,429	45,341	1,388	853	1,229	1,229			983
平成元	19,486	15,550			104,504	103,611	59,223	57,914		53,169	46,900	1,483	858	1,214	1,214			1,008
2	19,177	15,183			102,989	102,094	57,773	56,362		54,250	47,912	1,509	838	1,234	1,234			984
3	18,784	14,765			101,811	100,922	56,739	55,339		53,464	47,226	1,582	869	1,210	1,210			935
4	18,474	14,422			100,449	99,549	55,554	54,131		52,307	46,029	1,472	802	1,181	1,181			896
5	18,689	14,593			99,461	98,553	53,684	52,236		51,055	44,765	1,377	797	1,044	1,044			874
6	18,146	14,230			98,787	97,873	51,851	50,407		50,077	43,795	1,349	753	998	882			864
7	17,581	13,798			97,575	96,661	51,327	49,902		48,740	42,624	1,321	670	914	733			867
8	17,631	13,896			95,146	94,236	51,157	49,763		46,840	40,901	1,316	681	1,372	739			871
9	17,458	13,785			92,708	91,809	51,471	50,105		44,967	39,176	1,270	675	1,576	809			923
10	17,455	13,700			90,651	89,727	50,670	49,357		44,429	38,510	1,300	707	1,730	915			937
11	17,424	13,694			88,820	87,888	49,501	48,208		44,324	38,421	1,326	723	1,994	1,003			988
12	17,690	13,961			87,072	86,131	48,147	46,890		44,555	38,830	1,315	728	2,015	1,097			1,069
13	17,833	14,243			86,136	85,181	47,284	46,052		43,871	38,137	1,311	695	1,770	1,142			1,127
14	18,612	15,056			85,409	84,472	45,683	44,539		42,604	36,866	1,313	705	1,762	1,115			1,175
15	19,595	16,139			85,170	84,248	44,394	43,034		41,379	35,636	1,315	714	1,793	1,134			1,227
16	19,795	16,341			85,385	84,481	42,785	41,145		40,738	35,008	1,265	658	1,816	1,120			1,290
17	19,826	16,418			85,767	84,883	42,261	40,291		39,484	33,707	1,298	691	1,853	1,199			1,346
18	19,887	16,594			86,465	85,602	41,581	39,550		38,553	32,726	1,339	733	1,882	1,227			1,440
19	20,047	16,696			86,354	85,496	42,133	39,878		37,354	31,484	1,322	732	1,800	1,169			1,530
20	20,111	16,675			87,220	86,348	41,958	39,497		37,097	31,110	1,334	783	1,909	1,186			1,618
21	19,558	16,114			87,258	86,375	42,412	39,721		36,795	30,519	1,331	817	1,839	1,170			1,706
22	19,278	15,796			86,907	86,034	42,232	39,554		37,354	30,755	1,352	867	1,783	1,158			1,853
23	19,416	15,781			86,095	85,214	43,011	40,302		37,303	30,434	1,303	836	1,752	1,100			1,984
24	19,674	15,773			84,910	84,055	43,221	40,555		37,632	30,559	1,322	833	1,691	1,028	40		2,077
25	19,214	15,408			84,374	83,527	43,237	40,500		37,565	30,265	1,273	817	1,612	958	80		2,126
26	18,999	15,148			83,457	82,633	43,209	40,391		38,237	30,695	1,273	807	1,563	906	118		2,184
27	15,934	13,013	5,729	3,226	82,872	82,069	43,119	40,180		38,459	30,878	1,296	837	1,538	839	150		2,258
28	15,125	12,145	6,904	3,737	82,412	81,631	42,793	39,851		38,376	30,890	1,342	873	1,419	737	171		2,230
29	13,979	11,244	7,873	4,312	82,193	81,471	42,021	39,146		38,434	30,761	1,247	809	1,401	685	202		2,291
30	13,203	10,523	9,450	4,														

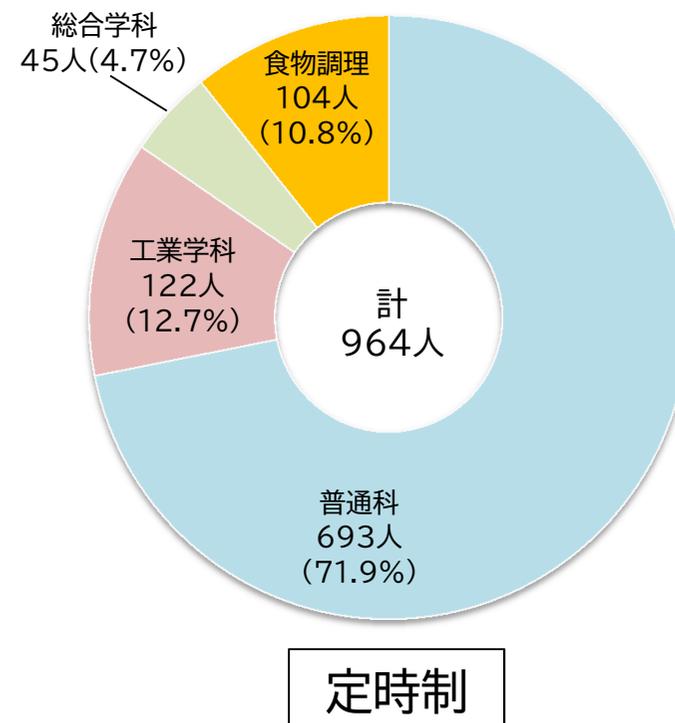
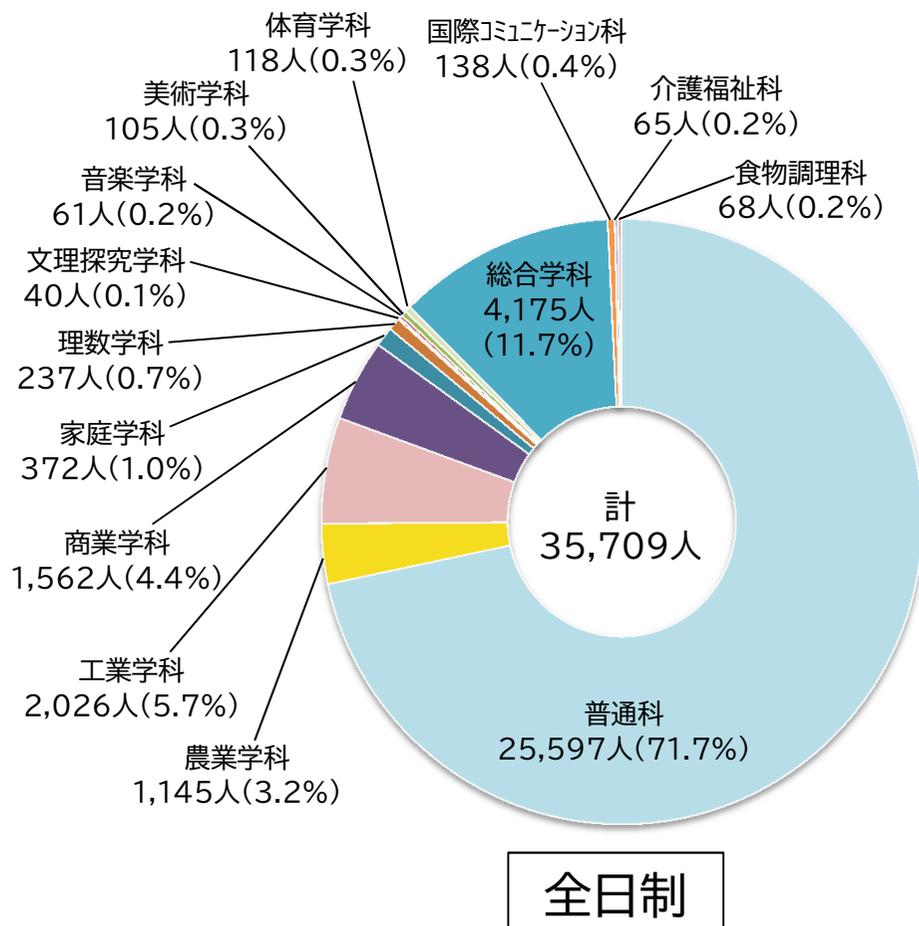
特別支援学校および特別支援学級の幼児・児童・生徒数

(令和3年5月1日現在)



高等学校課程別学科別生徒数

(令和3年5月1日現在)



※四捨五入により、合計が100%にならない箇所があります。

3 本務教員数推移

(単位:人)

年度	幼稚園		幼保連携型 認定こども園		小学校		中学校		義務 教育 学 校	高等学校 (全日制)		高等学校 (定時制)		高等学校 (通信制)		中 等 学 校	特 支 学 校	別 援 学 校
	うち 市町村立	うち 市町村立	うち 市町村立	うち 市町村立	うち市町村 (組合)立	うち市町村 (組合)立	うち 県立	うち 県立		うち 県立	うち 県立	うち 県立	うち 県立					
昭和32	234	174			3,496	3,460	1,885	1,842		847	776	150	134	3	3			61
33	247	182			3,578	3,544	1,768	1,723		893	808	151	133	4	4			63
34	261	189			3,603	3,572	1,781	1,742		951	856	141	141	4	4			63
35	269	199			3,505	3,471	1,904	1,863		982	874	150	136	4	4			62
36	275	202			3,387	3,349	2,171	2,129		993	886	144	136	5	5			63
37	282	201			3,281	3,244	2,309	2,267		1,059	952	151	117	6	6			66
38	293	208			3,234	3,200	2,258	2,207		1,224	1,086	135	102	7	7			66
39	320	225			3,196	3,162	2,191	2,146		1,405	1,248	134	93	8	8			67
40	333	232			3,149	3,116	2,102	2,063		1,478	1,328	145	91	10	10			67
41	352	251			3,158	3,124	2,039	1,998		1,528	1,347	130	102	11	11			67
42	381	270			3,138	3,101	2,036	1,996		1,568	1,376	143	94	12	12			71
43	409	292			3,151	3,111	1,971	1,930		1,561	1,376	161	98	12	12			71
44	420	304			3,191	3,152	1,952	1,908		1,578	1,390	162	101	12	12			89
45	477	359			3,243	3,205	1,916	1,874		1,586	1,404	160	102	12	12			93
46	488	375			3,315	3,279	1,933	1,890		1,608	1,419	172	107	12	12			94
47	505	395			3,373	3,336	1,966	1,923		1,640	1,434	158	107	12	12			100
48	588	465			3,458	3,421	2,032	1,990		1,653	1,455	159	107	12	12			110
49	644	529			3,594	3,556	2,042	2,000		1,729	1,515	160	108	17	17			153
50	687	571			3,681	3,642	2,066	2,023		1,801	1,584	163	108	17	17			162
51	743	621			3,771	3,731	2,136	2,093		1,885	1,658	148	108	17	17			200
52	804	679			3,929	3,890	2,180	2,136		1,927	1,696	146	107	13	13			225
53	879	751			4,154	4,119	2,246	2,206		1,979	1,746	141	106	13	13			270
54	916	784			4,426	4,392	2,259	2,220		2,041	1,802	138	102	13	13			377
55	953	817			4,564	4,531	2,308	2,268		2,080	1,834	129	105	14	14			425
56	955	821			4,740	4,706	2,442	2,400		2,140	1,885	135	110	14	14			453
57	968	832			4,853	4,819	2,591	2,548		2,131	1,873	140	113	15	15			478
58	979	835			4,904	4,870	2,658	2,617		2,225	1,953	134	112	14	14			503
59	973	823			4,898	4,865	2,787	2,743		2,360	2,075	130	110	13	13			530
60	954	798			4,904	4,871	2,916	2,871		2,491	2,203	121	99	15	15			538
61	963	797			4,877	4,843	2,997	2,949		2,579	2,284	122	99	14	14			545
62	998	824			4,821	4,788	3,075	3,026		2,660	2,363	124	99	14	14			558
63	1,005	832			4,864	4,830	3,085	3,028		2,812	2,497	122	98	14	14			574
平成元	1,040	853			4,878	4,845	3,113	3,044		2,876	2,544	127	100	14	14			576
2	1,051	868			4,910	4,876	3,139	3,076		2,906	2,573	130	101	15	15			594
3	1,068	869			4,921	4,887	3,166	3,096		2,952	2,612	129	101	16	16			633
4	1,092	889			4,951	4,916	3,158	3,085		2,939	2,589	133	105	24	24			681
5	1,116	909			4,909	4,874	3,120	3,041		2,971	2,615	133	107	27	27			684
6	1,153	944			4,957	4,922	3,056	2,976		2,986	2,632	130	103	32	29			713
7	1,159	952			4,953	4,918	3,044	2,967		2,974	2,618	120	92	27	22			723
8	1,160	961			4,954	4,919	3,062	2,985		2,963	2,592	120	91	38	21			779
9	1,147	938			4,915	4,878	3,092	3,020		2,947	2,583	123	90	30	22			816
10	1,192	971			4,854	4,818	3,067	2,990		2,949	2,567	125	93	38	23			822
11	1,189	973			4,824	4,786	3,033	2,957		2,944	2,556	130	96	39	24			837
12	1,206	986			4,771	4,733	3,005	2,929		2,950	2,568	125	92	39	24			870
13	1,287	1,073			4,788	4,750	3,020	2,943		2,952	2,567	126	93	42	25			893
14	1,354	1,134			4,846	4,807	2,967	2,891		2,915	2,524	126	92	41	25			921
15	1,449	1,226			4,887	4,848	2,992	2,896		2,861	2,471	128	92	43	24			933
16	1,502	1,269			4,949	4,911	2,977	2,864		2,835	2,436	131	94	41	24			961
17	1,543	1,308			4,961	4,924	2,960	2,826		2,781	2,375	134	93	42	26			961
18	1,533	1,300			5,006	4,969	2,907	2,770		2,725	2,335	128	92	41	26			1,002
19	1,585	1,345			5,094	5,057	2,975	2,825		2,686	2,277	131	93	40	25			1,024
20	1,592	1,353			5,148	5,110	2,984	2,820		2,677	2,247	120	93	61	25			1,058
21	1,594	1,345			5,205	5,166	2,988	2,809		2,651	2,202	117	93	53	25			1,084
22	1,645	1,390			5,251	5,212	2,972	2,792		2,692	2,221	110	91	57	25			1,109
23	1,672	1,403			5,264	5,224	3,016	2,831		2,670	2,189	114	95	52	25			1,180
24	1,749	1,430			5,292	5,253	3,053	2,867		2,688	2,203	118	96	55	25	18		1,203
25	1,771	1,467			5,297	5,257	3,080	2,884		2,694	2,187	117	95	48	25	22		1,255
26	1,687	1,387			5,316	5,276	3,101	2,901		2,737	2,213	135	100	50	25	22		1,284
27	1,429	1,206	1,018	514	5,368	5,330	3,116	2,905		2,748	2,226	120	100	50	23	30		1,305
28	1,395	1,182	1,290	668	5,388	5,350	3,117	2,907		2,747	2,213	122	103	53	25	39		1,291
29	1,335	1,133	1,507	798	5,453	5,416	3,124	2,915		2,743	2,207	120	98	54	26	47		1,317
30	1,322	1,116	1,907	926	5,536	5,501	3,086	2,875	21	2,735	2,188	117	97	51	25	50		1,313
令和元	1,321	1,116	2,090	936	5,568	5,533	3,115	2,907	23	2,708	2,168	119	97	52	25	50		1,304
2	1,200	979	2,402	968	5,513	5,479	3,113	2,910	59	2,667	2,107	116	96	52	25	44		1,318
3	1,108	901	2,341	678	5,578	5,545	3,138	2,938	60	2,638	2,077	114	95	53	24	45		1,313

(注) 小・中学校の市町村立は負担法によるものである。

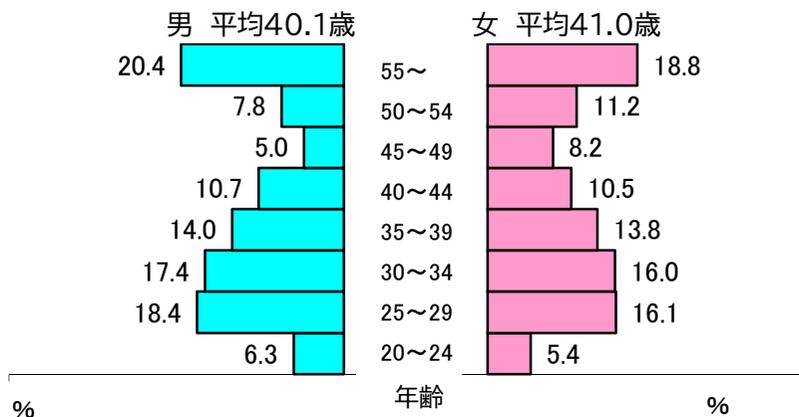
(注) 平成19年4月1日から、法律改正により盲・聾・養護学校は特別支援学校となった。

(注) 平成28年度からは、幼稚園型認定こども園は、幼稚園に含む。

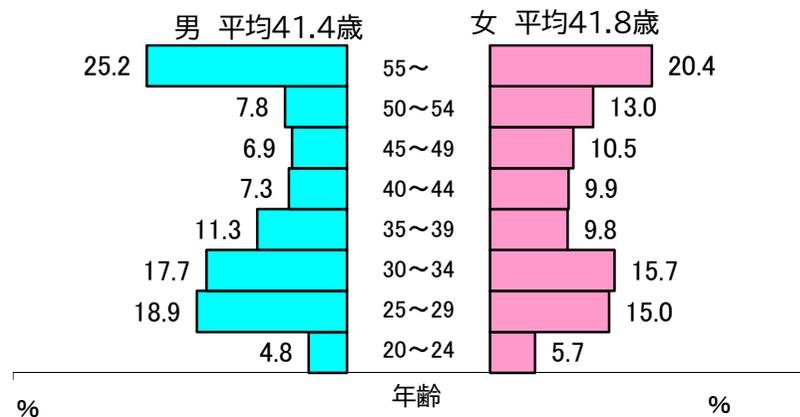
公立学校教員の年齢構成

(令和3年5月1日現在)

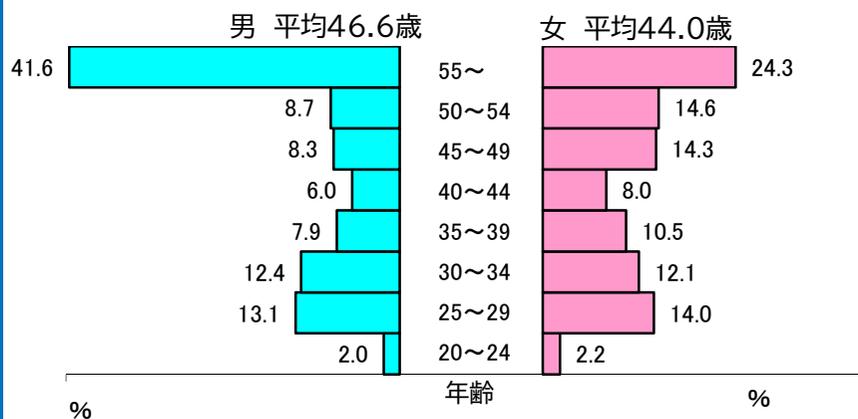
小学校 平均40.7歳



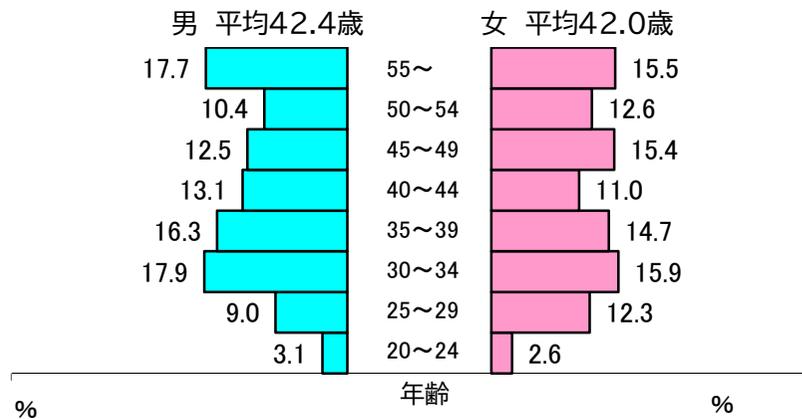
中学校 平均41.6歳



高等学校 平均45.7歳



特別支援学校 平均42.1歳



都道府県別総人口と指数（平成27（2015）年＝100）【国立社会保障・人口問題研究所推計】

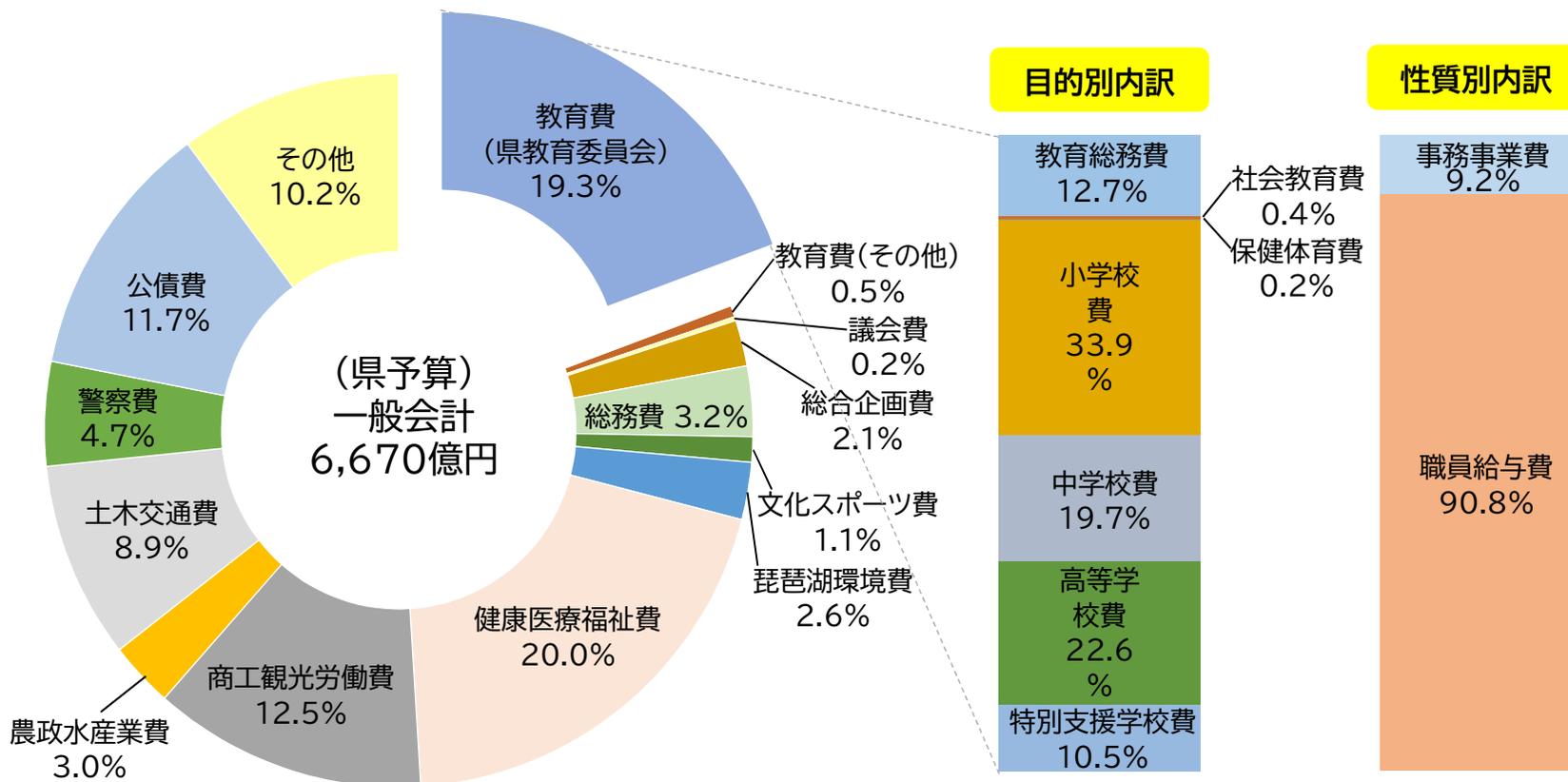
地域	総人口（1,000人）							指数（平成27(2015)年＝100）	
	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成42年 (2030)	平成57年 (2045)
全国	127,095	125,325	122,544	119,125	115,216	110,919	106,421	93.7	83.7
北海道	5,382	5,217	5,017	4,792	4,546	4,280	4,005	89.0	74.4
青森県	1,308	1,236	1,157	1,076	994	909	824	82.3	63.0
岩手県	1,280	1,224	1,162	1,096	1,029	958	885	85.7	69.1
宮城県	2,334	2,296	2,227	2,144	2,046	1,933	1,809	91.8	77.5
秋田県	1,023	956	885	814	744	673	602	79.6	58.8
山形県	1,124	1,072	1,016	957	897	834	768	85.2	68.4
福島県	1,914	1,828	1,733	1,635	1,534	1,426	1,315	85.4	68.7
茨城県	2,917	2,845	2,750	2,638	2,512	2,376	2,236	90.4	76.6
栃木県	1,974	1,930	1,873	1,806	1,730	1,647	1,561	91.5	79.0
群馬県	1,973	1,926	1,866	1,796	1,720	1,638	1,553	91.0	78.7
埼玉県	7,267	7,273	7,203	7,076	6,909	6,721	6,525	97.4	89.8
千葉県	6,223	6,205	6,118	5,986	5,823	5,646	5,463	96.2	87.8
東京都	13,515	13,733	13,846	13,883	13,852	13,759	13,607	102.7	100.7
神奈川県	9,126	9,141	9,070	8,933	8,751	8,541	8,313	97.9	91.1
新潟県	2,304	2,224	2,131	2,031	1,926	1,815	1,699	88.2	73.7
富山県	1,066	1,035	996	955	910	863	817	89.5	76.7
石川県	1,154	1,133	1,104	1,071	1,033	990	948	92.8	82.1
福井県	787	764	738	710	680	647	614	90.2	78.1
山梨県	835	801	763	724	684	642	599	86.8	71.7
長野県	2,099	2,033	1,958	1,878	1,793	1,705	1,615	89.5	76.9
岐阜県	2,032	1,973	1,901	1,821	1,735	1,646	1,557	89.6	76.6
静岡県	3,700	3,616	3,506	3,380	3,242	3,094	2,943	91.3	79.5
愛知県	7,483	7,505	7,456	7,359	7,228	7,071	6,899	98.3	92.2
三重県	1,816	1,768	1,710	1,645	1,576	1,504	1,431	90.6	78.8
滋賀県	1,413	1,409	1,395	1,372	1,341	1,304	1,263	97.1	89.4
京都府	2,610	2,574	2,510	2,431	2,339	2,238	2,137	93.1	81.9
大阪府	8,839	8,732	8,526	8,262	7,963	7,649	7,335	93.5	83.0
兵庫県	5,535	5,443	5,306	5,139	4,949	4,743	4,532	92.9	81.9
奈良県	1,364	1,320	1,265	1,202	1,136	1,066	998	88.1	73.2
和歌山県	964	921	876	829	782	734	688	86.0	71.4
鳥取県	573	556	537	516	495	472	449	90.0	78.2
島根県	694	670	643	615	588	558	529	88.6	76.2
岡山県	1,922	1,890	1,846	1,797	1,742	1,681	1,620	93.5	84.3
広島県	2,844	2,814	2,758	2,689	2,609	2,521	2,429	94.6	85.4
山口県	1,405	1,352	1,293	1,230	1,166	1,100	1,036	87.6	73.7
徳島県	756	723	688	651	614	574	535	86.2	70.8
香川県	976	951	921	889	853	815	776	91.0	79.5
愛媛県	1,385	1,333	1,274	1,212	1,148	1,081	1,013	87.5	73.1
高知県	728	691	653	614	576	536	498	84.4	68.4
福岡県	5,102	5,098	5,043	4,955	4,842	4,705	4,554	97.1	89.3
佐賀県	833	810	785	757	728	697	664	90.9	79.7
長崎県	1,377	1,321	1,258	1,192	1,124	1,054	982	86.6	71.3
熊本県	1,786	1,742	1,691	1,636	1,577	1,512	1,442	91.6	80.8
大分県	1,166	1,131	1,089	1,044	997	947	897	89.5	76.9
宮崎県	1,104	1,067	1,023	977	928	877	825	88.5	74.7
鹿児島県	1,648	1,583	1,511	1,437	1,362	1,284	1,204	87.2	73.1
沖縄県	1,434	1,460	1,468	1,470	1,466	1,452	1,428	102.5	99.6
減少県	39	42	45	45	47	47	47		

注1) 指数とは、平成27（2015）年の総人口を100としたときの総人口の値のこと。

注2) 減少県とは、5年前より総人口が減少した都道府県の数のこと。

県予算と教育費（内訳）

令和3年度当初予算

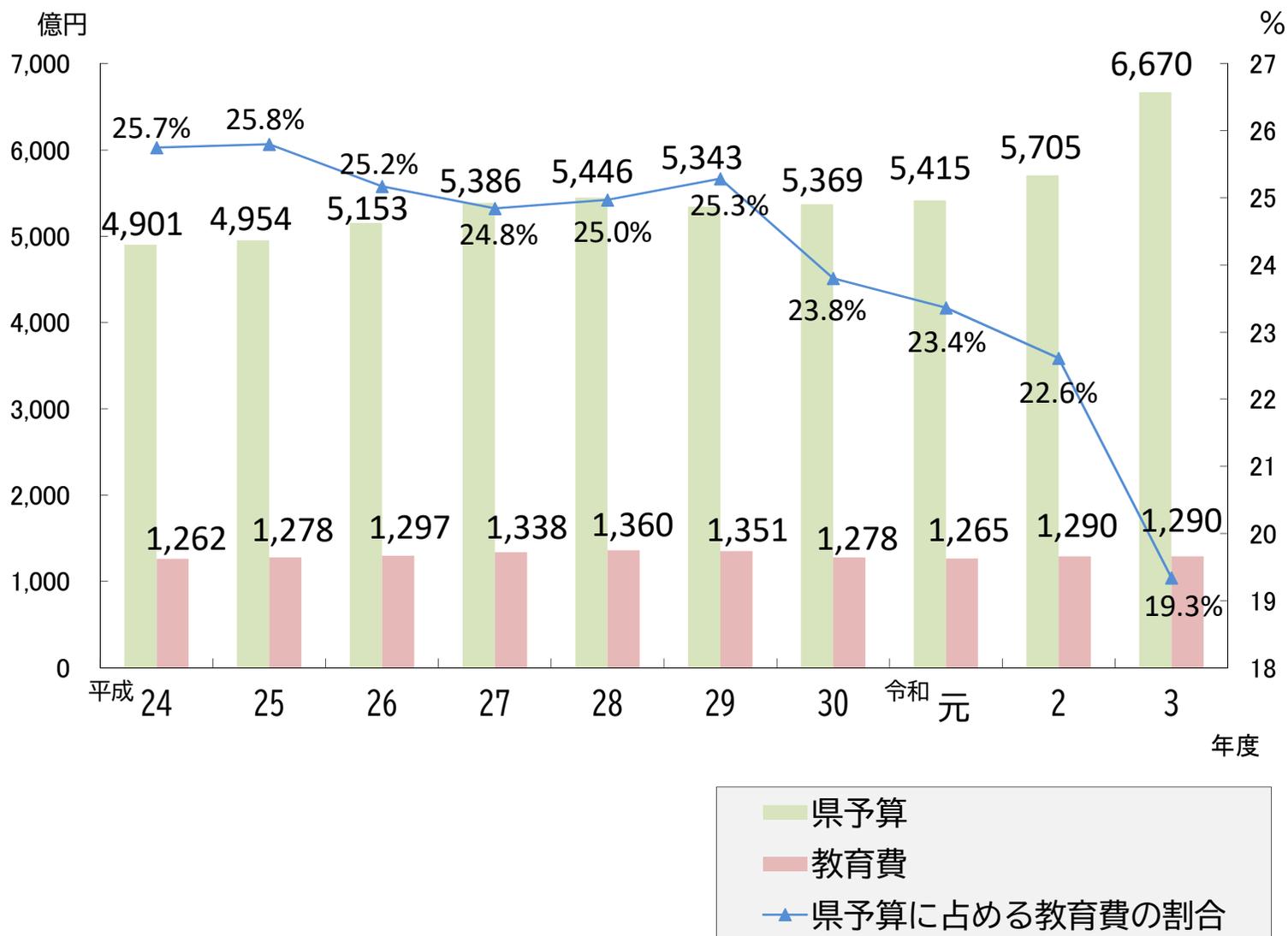


(教育費)
1,290億1,391万7千円

※四捨五入により、合計が100%にならない箇所があります。

(3) 教育予算

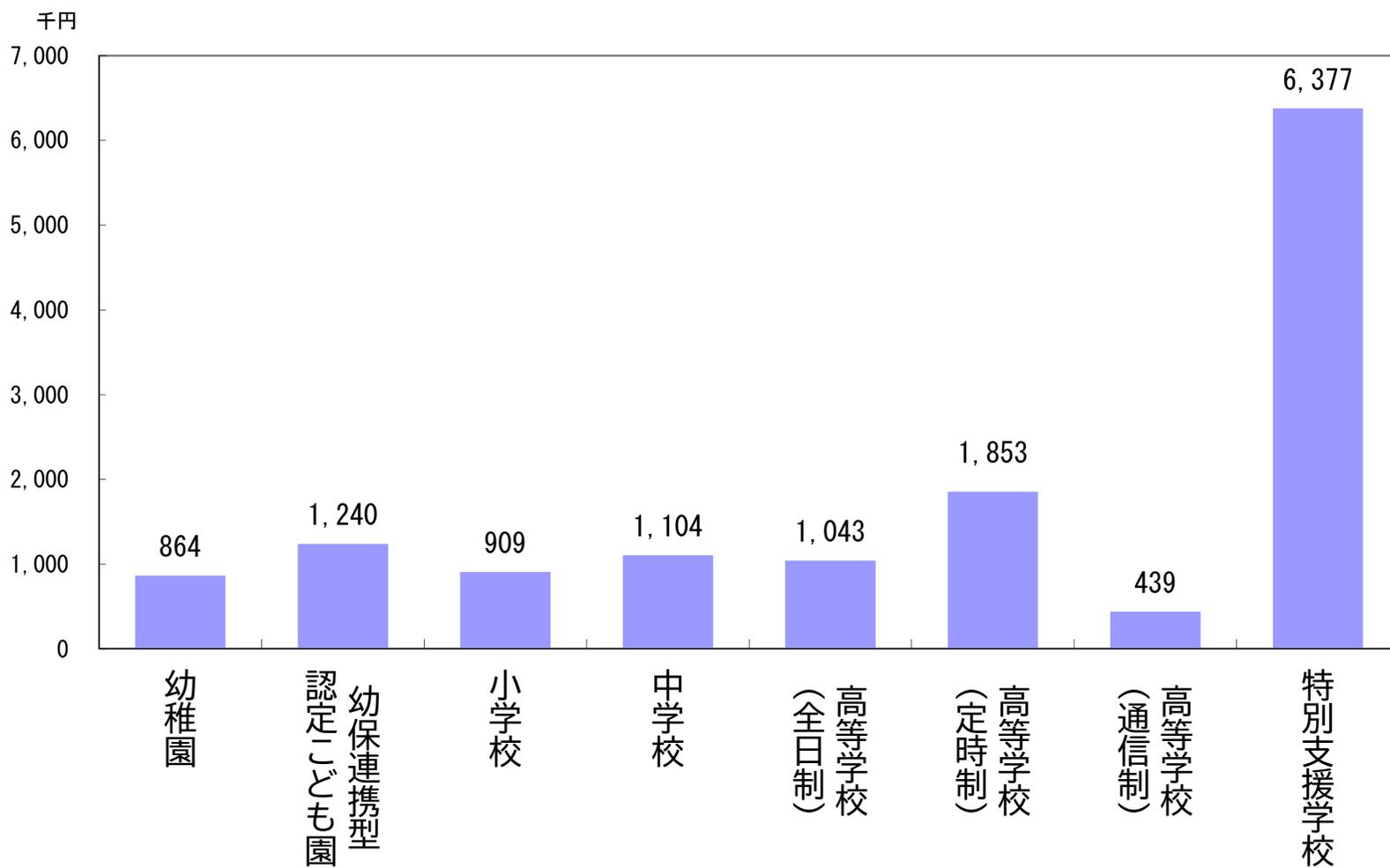
県予算と教育費推移



(3) 教育予算

幼児・児童・生徒1人当たり教育費

(令和元年度決算)



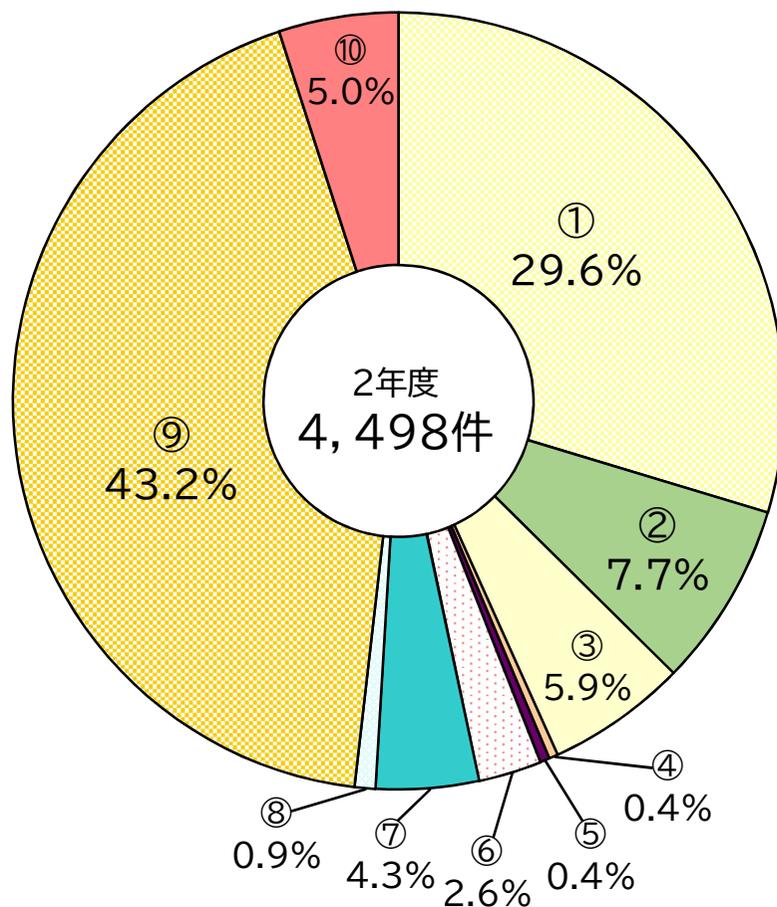
教育に関する相談窓口への相談件数および相談内容

令和2年4月1日～令和3年3月31日

○子ども・子育て応援センター

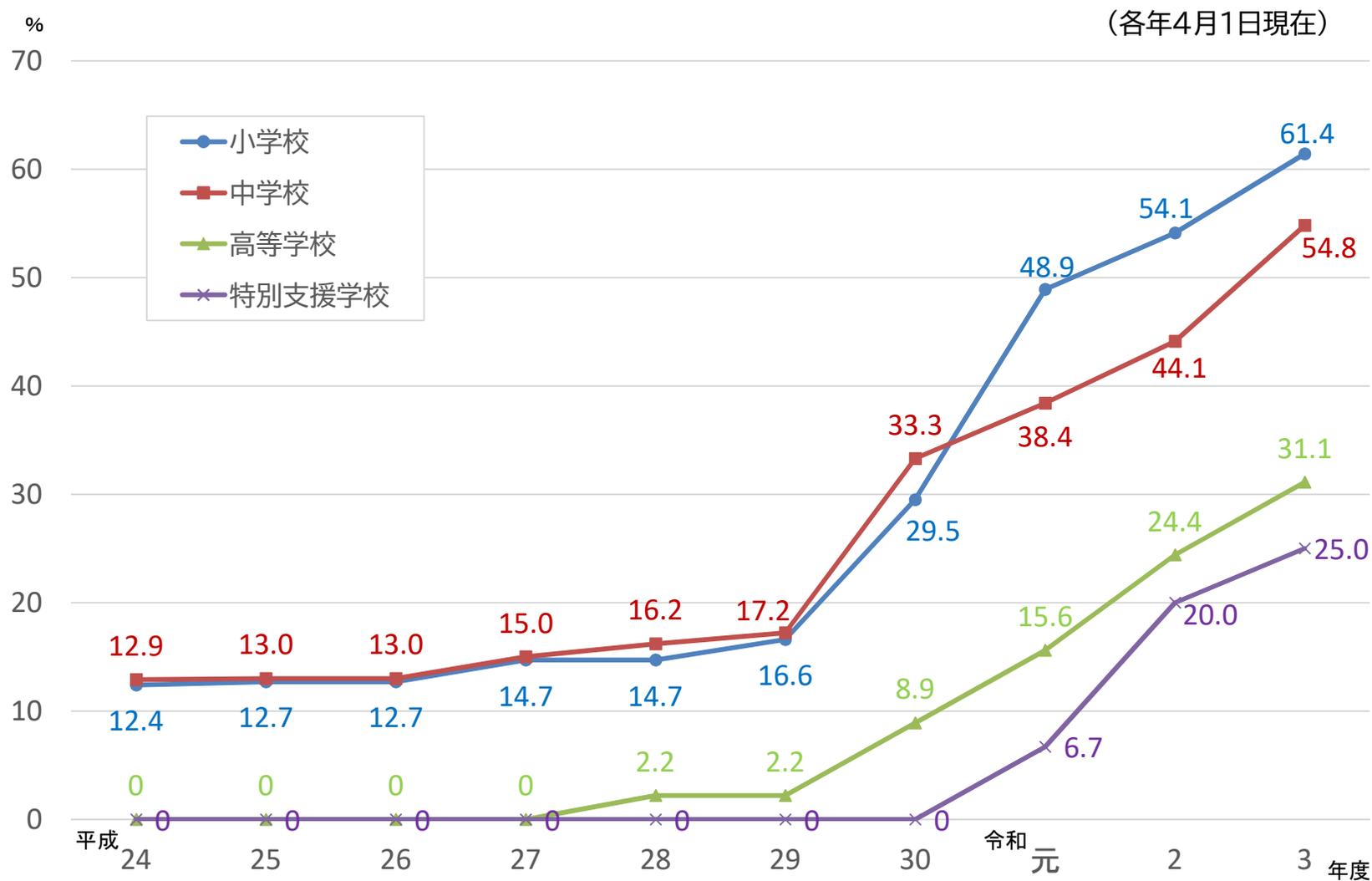
電話相談
(愛称:こころんだいやる)

(面接相談等を含みます。)



- ① 性格・行動 1,333 (29.6%)
- ② しつけ 347 (7.7%)
- ③ 適性 264 (5.9%)
- ④ 不登校 17 (0.4%)
- ⑤ 非行 18 (0.4%)
- ⑥ 養護 119 (2.6%)
- ⑦ 保健 194 (4.3%)
- ⑧ 障害 39 (0.9%)
- ⑨ 親自身の問題 1,942 (43.2%)
- ⑩ その他 225 (5.0%)

コミュニティ・スクール設置率の推移



※調査対象は公立学校です。
 ※小学校は義務教育学校を含みます。

※設置率は各公立学校の総数に対するコミュニティ・スクール設置校数の割合を表す。

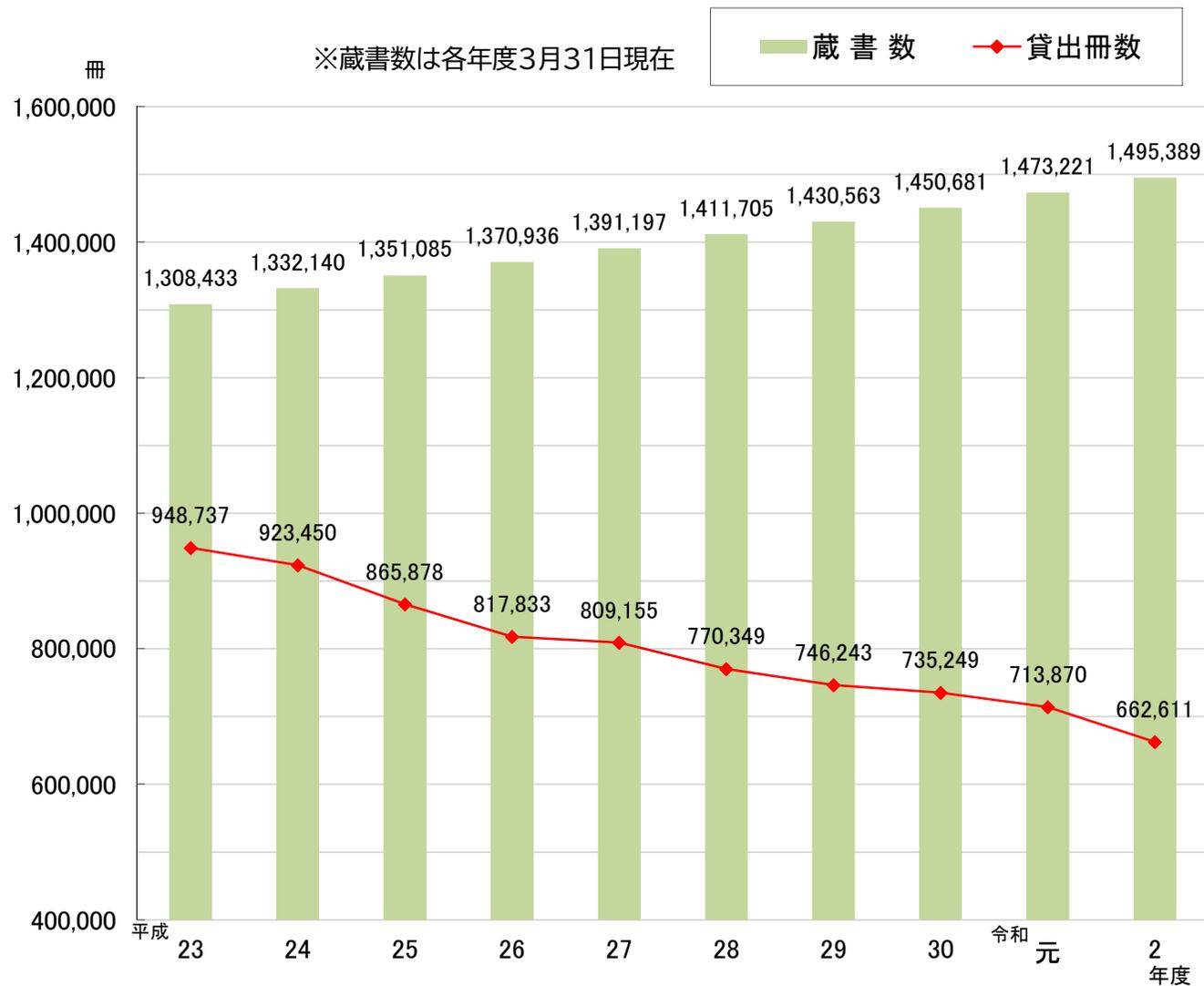
社会教育施設の設置状況

(令和3年4月1日現在)

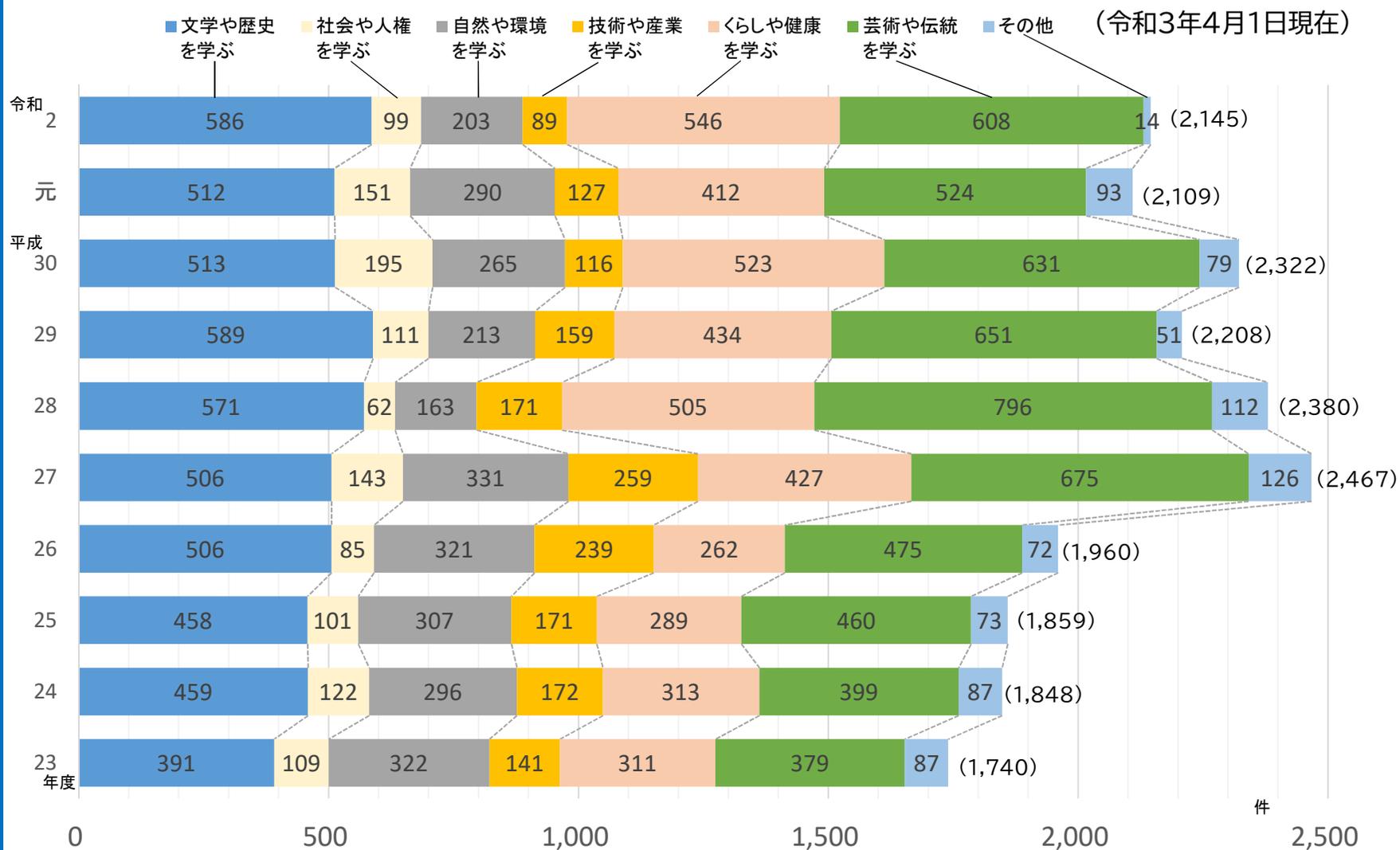
施設名	県立	市町立	私立	合計
公民館	-	82	-	82
公民館類似施設	-	1	-	1
図書館	1	49	1	51
博物館	3	6	6	15
青少年教育施設	3	10	2	15
女性教育施設	1	4	1	6
文化会館	2	34	-	36

(単位:施設)

県立図書館における蔵書冊数および貸出冊数の推移



滋賀県学習情報提供システム「におねっと」掲載講座等件数



「におねっと」とは・・・滋賀県内における生涯学習講座の検索や視聴覚教材の検索・貸し出し予約等ができるWEBサイト

※件数について ①開催日を基準にカウントしています。 ②情報の数を1件とカウントしており、講座の開催回数とは一致しません。

<例>3回シリーズをまとめた情報は1件とカウント。3回シリーズを別々に掲載すれば3件とカウント。

（6）県内教育施設一覽

県内の学校(市町立学校等除く)

	学校名	学科名等	全	定	通
1	河瀬中				
2	守山中				
3	水口東中				
4	膳所高	普通 理数	○		
5	堅田高	普通	○		
6	東大津高	普通	○		
7	北大津高	普通[国際文化コース]	○		
8	大津高	普通 家庭科学	○		
9	石山高	普通 音楽	○		
10	瀬田工業高	機械(全) 電気(全) 化学工業(全) 機械 電気(定)	○	○	
11	大津商業高	総合ビジネス 情報システム	○		
12	彦根東高	普通[SSコース]	○		
13	河瀬高	普通	○		
14	彦根工業高	機械(全・定) 電気(全) 建設(全)	○	○	
15	彦根翔西館高	総合	○		
16	長浜北高	普通	○		
17	虎姫高	普通	○		
18	伊香高	普通	○		
19	長浜農業高	農業 食品 園芸	○		
20	長浜北星高	総合(全・定)	○	○	
21	八幡高	普通	○		
22	八幡工業高	機械 電気 環境化学	○		
23	八幡商業高	商業 国際経済 情報処理	○		
24	草津東高	普通 体育	○		
25	草津高	普通	○		
26	玉川高	普通	○		
27	湖南農業高	農業 食品 花緑	○		
28	守山高	普通	○		
29	守山北高	普通	○		
30	栗東高	普通 美術	○		
31	国際情報高	総合	○		
32	水口高	普通[体育コース、国際文化コース]	○		
33	水口東高	普通	○		
34	甲南高	総合	○		
35	信楽高	総合	○		
36	野洲高	普通	○		
37	石部高	普通[福祉健康コース]	○		
38	甲西高	普通	○		
39	高島高	普通 文理探究	○		
40	安曇川高	総合	○		
41	八日市高	普通	○		
42	能登川高	普通(全・定)	○	○	
43	八日市南高	農業 食品 花緑デザイン	○		
44	伊吹高	普通[体育コース]	○		
45	米原高	普通[英語コース] 理数	○		
46	日野高	総合	○		
47	愛知高	普通[体育コース、音楽コース]	○		
48	大津清陵高	普通(定・通)	○	○	
49	//馬場分校	普通(定)	○		

50	盲	幼稚部、小学部、中学部、高等部(普通保健理療)、専攻科(保健理療 理療)			
51	聾 話	幼稚部、小学部、中学部、高等部(普通 情報印刷 産業技術)			
52	北大津養護	小学部、中学部、高等部(普通)			
53	北大津高等養護	高等部(しごと総合科)			
54	鳥居本養護	小学部、中学部、高等部(普通)			
55	長浜養護	小学部、中学部、高等部(普通) ※伊吹分教室を設置			
56	長浜北星高等養護	高等部(しごと総合科)			
57	草津養護	小学部、中学部、高等部(普通)			
58	守山養護	小学部、中学部 ※大津分教室を設置			
59	甲南高等養護	高等部(しごと総合科)			
60	野洲養護	小学部、中学部、高等部(普通) ※北桜校舎を設置			
61	三雲養護	小学部、中学部、高等部(普通) ※紫香楽校舎と石部分教室を設置			
62	新旭養護	小学部、中学部、高等部(普通)			
63	八日市養護	小学部、中学部、高等部(普通)			
64	愛知高等養護	高等部(しごと総合科)			
65	甲良養護	小学部、中等部、高等部(普通)			
66	滋賀大学教育学部附属	小学部、中学部、高等部(普通)			

1	比叡山高	普通	○		
2	滋賀短大附属高	普通 生活デザイン	○		
3	幸福の科学学園関西高	普通	○		
4	近江高	普通 商業	○		
5	彦根総合高	総合 フードクリエイティブ	○		
6	近江兄弟社高	普通 国際コミュニケーション	○		
7	光泉カトリック高	普通	○		
8	綾羽高	普通(全・定・通) 福祉(全) 食物調理(定)	○	○	○
9	立命館守山高	普通	○		
10	滋賀学園高	普通	○		
11	司学館高	普通(通)			○
12	ECC学園高	総合(通)			○
13	MIHO美学院	普通(中等教育学校)	○		

主な県立教育施設(番号は地図上の位置を示す)

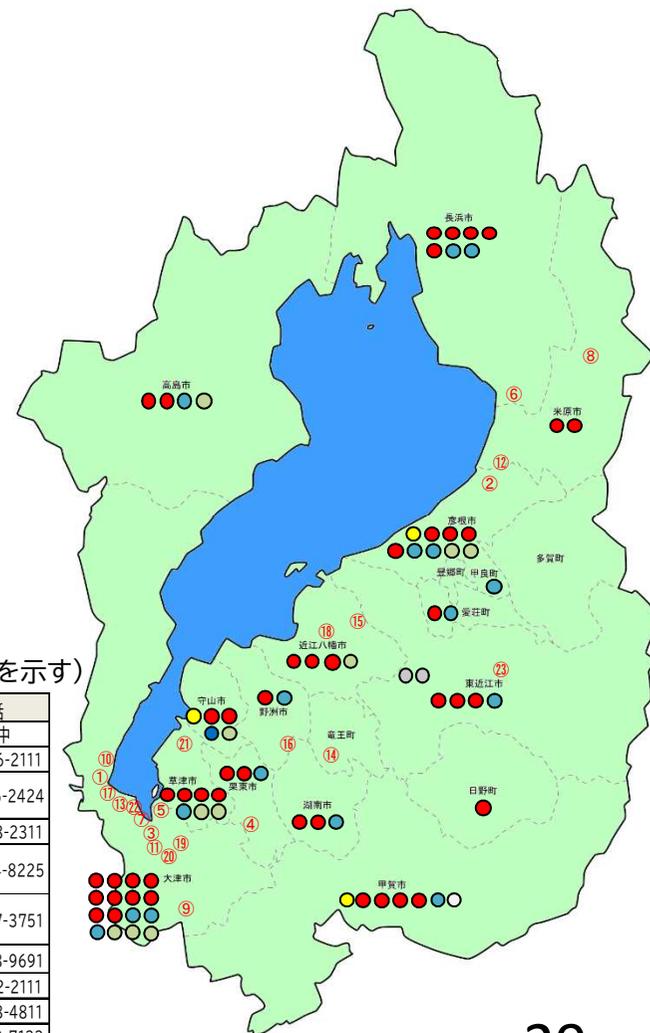
番号	施設名	電話	番号	施設名	電話
①	スポーツ会館	(077)522-0301	⑬	琵琶湖文化館	休館中
②	彦根総合運動場	(0749)23-4911	⑭	希望が丘文化公園	(077)586-2111
③	ウカルちゃんアリーナ(体育館)	(077)524-0221	⑮	安土城考古博物館	(0748)46-2424
④	栗東体育館	(077)551-1030	⑯	総合教育センター	(077)588-2311
⑤	関西みらいローイングセンター(琵琶湖湖東)	(077)545-2165	⑰	びわ湖フローティングスクール	(077)524-8225
⑥	長浜バイオ大学ドーム(長浜ドーム)	(0749)64-0808	⑱	男女共同参画センター	(0748)37-3751
⑦	武道館	(077)521-8311	⑲	図書館	(077)548-9691
⑧	伊吹運動場	(0749)58-1155	⑳	美術館	(077)522-2111
⑨	ライフル射撃場	(077)546-0983	㉑	琵琶湖博物館	(077)568-4811
⑩	柳が崎ヨットハーバー	(077)527-1141	㉒	芸術劇場びわ湖ホール	(077)523-7133
⑪	アイスアリーナ	(077)547-5566	㉓	平和記念館	(0749)46-0300
⑫	文化産業交流会館	(0749)52-5111			

滋賀の概要

面積	4017.38km ²
人口	1,409,448人
人口密度	350.8人/km ²
市町数	13市6町

<令和3年8月1日現在>

- 県立中学校
- 県立高校
- 特別支援学校
- 私立高校
- 私立中等教育学校



令和3年度の募集学科名等を掲載しています。[]内は普通科に設置されているコースを示しています。

(2) 教育委員会の機構

滋賀県教育委員会(教育長・教育委員)

